

一等水準点検測成果収録

第 37 卷

(平成4年度観測)

平成6年2月

建設省国土地理院

記

本収録は、平成4年度に、国土地理院が行った一等水準点検測の結果を収録、図示したものである。

平成6年2月

建設省国土地理院

一等水準点検測成果収録

第 37 卷

(平成4年度観測)

目 次

1. 観測器械及び観測法	3
(1) 観測器械	
(2) 観測法	
2. 検測区域及び期間	8
3. 水準点変動図の説明	13
付図 一等水準路線図	
一等水準点変動図	

1. 観測器械および観測法

平成3年度において使用した観測器械および観測法は次のとおりである。

(1) 観測器械

A 水準儀

水準儀名称	望遠鏡倍率	水準器感度
Wild 製N3型精密水準儀	42倍	10" / 2mm (合致式)
Carl Zeiss Jena 製NI 002型精密自動水準儀	40倍	公称視準精度 0.05

B 水準標尺

水準標尺名称	長さ	目盛部の状況	
		材質	目盛法
Wild 精密水準標尺	3m	インバール(巾2.6cm, 長さ3m)	インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。
Carl Zeiss Jena 製精密水準標尺	3m	〃	〃
測機舎製精密水準標尺	3m	ニュースーパーインバール(巾2.5cm, 長さ3m)	〃

(2) 観測法

観測に際しては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の円形水準器によって鉛直に立て、水準儀は、両標尺間の中央に整置し、後視-前視、更に前視-後視の順序に観測を行う。

整準ねじによってまず、円形水準器の気泡を中央に導き、第1回視準(後視-前視)は左側目盛分画線、第2回視準(前視-後視)は右側目盛分画線を視準する。

Wild 製N3型精密水準儀の場合は微傾動ねじによって主水準器気泡の映像を合致させ、測微装置によって、くさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の1mmまで読みとる。

Carl Zeiss Jena 製NI 002型精密自動水準儀の場合は第1回視準はコンペンセーターがIの

位置，第2回視準はコンベンセーターが，Ⅱの位置において測微装置によってくさび型十字糸で分画線を正しく挟んで10分の1 mmまで読みとる。

水準儀と標尺の距離は，平地で通常50 m以内とし，各水準点間2 km，（地点標に併設された水準点間は1 km）を往復観測を行い，その往復差は， $2.5\sqrt{S}$ mm（Sは片道の観測距離でkm単位）以内である。

なお，標尺の検定は，定期的にレーザー干渉計又は基準尺により比較測定して行い，観測値に所要の補正をする。

付 表

平成3年度以前において使用した観測器および観測法

(1) 観 測 器 械

A 水 準 儀

観 測 年 度	水 準 儀 名 称	望 遠 鏡 倍 率	水 準 器 感 度
大正13年 (1924) 以前	Carl Bamberg 製 一等水準儀 (Y型)	36 倍	4" ~ 5" / 2 mm
昭和27年 (1952) 以前	Carl Zeiss 製Ⅲ型精密水 準儀	36 倍	4" ~ 12" / 2 mm (合致式)
昭和30年 (1955) 以前	Carl Zeiss 製Ⅲ型精密水 準儀	36 倍	〃
	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	10" / 2 mm (合致式)
昭和42年 (1967) 以前	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	〃
昭和44年 (1969) 以前	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	〃
	Zeiss 製 N I 2 型精密自動水準儀	32 倍	円形水準器 8'
昭和53年 (1978) 以前	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	10" / 2 mm (合致式)
昭和54年 (1979) 以後	Wild 製N 3 型精密水準儀	42 倍	10" / 2 mm (合致式)
	Carl Zeiss Jena 製 N I 002 型精密自動水準儀	40 倍	公称視準精度 0.05

B 水 準 標 尺

観 測 年 度	水 準 標 尺 名 称	長 さ	目 盛 部 の 状 況	
			材 質	目 盛 法
大正13年以前 (1924)	Carl Bamberg 製 水準標尺	3 m	露国産自然乾燥赤 楊	木部の表面に直接 5 mmごとに目盛る
昭和27年以前 (1952)	Carl Zeiss 製 精密水準標尺	3 m	インパール (巾 2.6cm, 長さ 3 m のもの)	インパール帯の中 央線の両側に2.5 mmの差をもって5 mmごとに目盛る

観測年度	水準標尺名称	長さ	水準器感度	
			材質	目盛法
昭和30年以前 (1955)	Carl Zeiss 製精密水準標尺	3 m	インバール (巾 2.6cm, 長さ3 m のもの)	インバール帯の中 央線の両側に2.5 mmの差をもって5 mmごとに目盛る
	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	同上5mmの差をも って10mmごとに目 盛る
昭和42年以前 (1967)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
昭和44年以前 (1969)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
	Zeiss 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
昭和53年以前 (1978)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
平成元年以前 (1989)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
	Carl Zeiss Jena 製 精密水準標尺	3 m	〃	〃
平成2年以後 (1990)	Wild 製精密水準標尺	3 m	〃	〃
	Carl Zeiss Jena 製 精密水準標尺	3 m	〃	〃
	測機舎製精密水準標尺	3 m	ニュースーパーイン バール (巾2.5cm 長さ3 mもの)	〃

(2) 観測法

観測器械 区分	Carl Bamberg	Carl Zeiss	Wild N 3	Zeiss NI 2	Carl Zeiss Jena NI 002
視準順序	上方分画— 下方分画	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視	後視—前視 —前視—後視
読定単位	0.01mm	0.01mm	0.1mm 昭和35年以前 は0.01mm	0.1mm	0.1mm
標尺距離 (平坦地)	最大40m	最大40m	最大50m 昭和45年以前 は最大60m	最大50m	最大50m

観測器械 区分	Carl Bamberg	Carl Zeiss	Wild N3	Zeiss NI 2	Carl Zeiss Jena NI 002
往復差の制限 Sは片道の 観測距離で km単位	$1.5\sqrt{2S}$ mm	$1.5\sqrt{2S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm 昭和35年以前 は $1.5\sqrt{2S}$ mm 昭和36年から 昭和39年まで は $2.0\sqrt{2S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm	$2.5\sqrt{S}$ mm
環閉合の制限	$1.5\sqrt{S}$ mm	$1.5\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm	$2.0\sqrt{S}$ mm

2. 検測区域及び期間

変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ ロ 数	検 測 期 間	頁
4-1	自 北海道山越郡長万部町 B. M 7170 至 北海道白老郡白老町 B. M 7223	B. M 7170	99	自 平成4年5月 至 平成4年7月	
4-2	自 青森県青森市 B. M 附15 至 青森県青森市 B. M 007-467 自 青森県青森市 B. M 交6052 至 青森県青森市 B. M 6122	B. M 附15 B. M 附15	20 8	自 平成4年5月 至 平成4年5月 自 平成4年5月 至 平成4年5月	
4-3	自 青森県八戸市 B. M 6956 至 青森県八戸市 B. M 準基528	B. M 6956	18	自 平成4年9月 至 平成4年9月	
4-4	自 宮城県岩沼市 B. M 2168 至 宮城県仙台市 B. M 交2179 自 宮城県仙台市 B. M 004-352 至 宮城県宮城郡利府町 B. M 5655	B. M 2168 B. M 2168	24 17	自 平成4年8月 至 平成4年8月 自 平成4年8月 至 平成4年8月	
4-5	自 長野県塩尻市 B. M 交627 至 群馬県山田郡大間々町 B. M 4135 自 群馬県高崎市 B. M 交522 至 群馬県児玉郡上里町 B. M 515	B. M 交627 B. M 交627	180 15	自 平成4年7月 至 平成4年8月 自 平成4年7月 至 平成4年7月	
4-6	自 茨城県古河市 B. M 2028 至 茨城県古河市 B. M 2028 自 埼玉県北葛飾郡栗橋町 B. M 2025 至 茨城県古河市 B. M 2028	B. M 2028 B. M 2028	21 44	自 平成4年11月 至 平成4年12月 自 平成4年12月 至 平成4年12月	
4-7	自 東京都千代田区 B. M 甲 至 千葉県船橋市 B. M 3825	B. M 甲	166	自 平成4年11月 至 平成4年12月	
4-8	自 東京都千代田区 B. M 甲 至 千葉県千葉市 B. M 千葉県水準原点 自 東京都中央区 B. M 交無号 至 東京都千代田区 B. M 交4	B. M 甲 B. M 甲	80 6	自 平成4年11月 至 平成4年12月 自 平成4年11月 至 平成4年11月	

変動図 番 号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
4-9	自 東京都千代田区 B. M 甲 至 神奈川県三浦市 B. M 5367-2 自 神奈川県横浜市 B. M 基25 至 神奈川県藤沢市 B. M 交36-1	B. M 甲 B. M 甲	88 14	自 平成4年11月 至 平成5年2月 自 平成4年12月 至 平成5年1月	
4-10	自 東京都西多摩郡瑞穂町 B. M 016-035 至 埼玉県入間市 B. M 10586	B. M 016-035	5	自 平成5年3月 至 平成5年3月	
4-11	自 静岡県熱海市 B. M 交52 至 神奈川県三浦市 B. M 油壺験潮場固定点 自 神奈川県足柄下郡真鶴町 B. M 49-1 至 神奈川県足柄下郡真鶴町 B. M 真鶴験潮場附4307 自 静岡県沼津市 B. M 9400 至 静岡県熱海市 B. M 交52 自 静岡県静岡市 B. M 128-1 至 静岡県沼津市 B. M 交60	B. M 交52 B. M 交52 B. M 9400 B. M 128-1	98 2 48 72	自 平成4年12月 至 平成5年1月 自 平成4年12月 至 平成4年12月 自 平成4年6月 至 平成4年6月 自 平成4年6月 至 平成4年7月	
4-12	自 静岡県熱海市 B. M 交52 至 静岡県伊東市 B. M 伊東験潮場固定点 自 静岡県沼津市 B. M 9400 至 静岡県伊東市 B. M 9341 自 静岡県田方郡中伊豆町 B. M 48-003-012 至 静岡県伊東市 B. M 48-003-000 自 静岡県沼津市 B. M 9400 至 静岡県沼津市 B. M 内浦験潮所球分体 自 静岡県伊東市 B. M 9341 至 静岡県賀茂郡河津町 B. M 9353 自 静岡県田方郡修善寺町 B. M 48-136-012 至 静岡県賀茂郡河津町 B. M 9353 自 静岡県熱海市 B. M 交52 至 静岡県伊東市 B. M 伊東験潮場固定点 自 静岡県伊東市 B. M 9341 至 静岡県賀茂郡河津町 B. M 9353	B. M 交52 B. M 9400 B. M 9400 B. M 9400 B. M 9341 B. M 9400 B. M 交52 B. M 9341	40 42 14 1 25 41 41 25	自 平成4年6月 至 平成4年7月 自 平成4年6月 至 平成4年7月 自 平成4年6月 至 平成4年7月 自 平成4年6月 至 平成4年6月 自 平成4年7月 至 平成4年7月 自 平成4年6月 至 平成4年7月 自 平成4年12月 至 平成4年12月 自 平成4年12月 至 平成4年12月	
4-13	自 東京都大島町 B. M 10232 至 東京都大島町 B. M 10232	B. M 10232	22	自 平成5年1月 至 平成5年1月	

変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
4-14	自 静岡県掛川市 B. M 140-1	B. M 140-1	48	自 平成4年7月 至 平成4年7月	
	至 静岡県静岡市 B. M 128-1				
	自 静岡県藤枝市 B. M 132	B. M 140-1	43	自 平成4年6月 至 平成4年7月	
	至 静岡県榛原郡相良町 B. M 準基1354				
	自 静岡県焼津市 B. M 2569	B. M 140-1	2	自 平成4年7月 至 平成4年7月	
	至 静岡県焼津市 B. M 焼津験潮場固定点				
4-15	自 静岡県掛川市 B. M 140-1	B. M 140-1	35	自 平成4年4月 至 平成4年5月	
	至 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 御前崎験潮所固定点				
	自 静岡県小笠原郡浜岡町 B. M 旧2595	B. M 140-1	12	自 平成4年5月 至 平成4年5月	
	至 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 御前崎験潮所標石				
	自 静岡県榛原郡相良町 B. M 2594	B. M 140-1	6	自 平成4年5月 至 平成4年5月	
	至 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 水管固定				
	自 静岡県掛川市 B. M 140-1	B. M 140-1	30	自 平成4年7月 至 平成4年7月	
	至 静岡県榛原郡相良町 B. M 準基1354				
	自 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 御前崎測候所水準標石	B. M 御前崎測候所水準標石	2	自 平成4年7月 至 平成4年7月	
	至 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 水管東補助点				
	自 静岡県掛川市 B. M 140-1	B. M 140-1	35	自 平成4年10月 至 平成4年10月	
	至 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 御前崎験潮所固定点				
	自 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 御前崎測候所水準標石	B. M 御前崎測候所水準標石	2	自 平成4年10月 至 平成4年10月	
	至 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 水管東補助点				
	自 静岡県掛川市 B. M 140-1	B. M 140-1	30	自 平成5年1月 至 平成5年1月	
	至 静岡県榛原郡相良町 B. M 準基1354				
自 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 御前崎測候所水準標石	B. M 御前崎測候所水準標石	2	自 平成5年1月 至 平成5年1月		
至 静岡県榛原郡御前崎町 B. M 水管東補助点					
4-16	自 静岡県掛川市 B. M 140-1	B. M 140-1	58	自 平成4年6月 至 平成4年6月	
	至 静岡県引佐郡三ヶ日町 B. M 基38				
	自 静岡県小笠原郡浜岡町 B. M 2597	B. M 2597	57	自 平成4年6月 至 平成4年7月	
	至 静岡県浜名郡舞阪町 B. M 舞阪験潮場球分点				
4-17	自 山梨県甲府市 B. M 交92-1	B. M 交92-1	103	自 平成4年6月 至 平成4年8月	
	至 長野県上伊那郡南箕輪村 B. M 5346				
	自 山梨県甲府市 B. M 交92-1	B. M 交92-1	86	自 平成4年7月 至 平成4年8月	
	至 東京都八王子市 B. M 基24				
	自 東京都八王子市 B. M 交116	B. M 交116	51	自 平成4年6月 至 平成4年7月	
	至 神奈川県横浜市 B. M 交35-7				

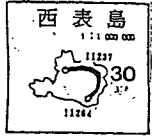
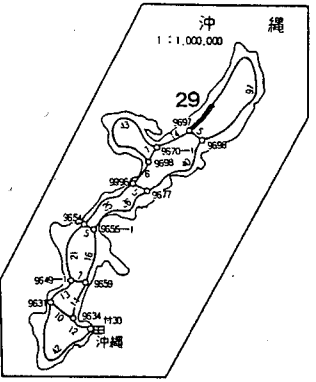
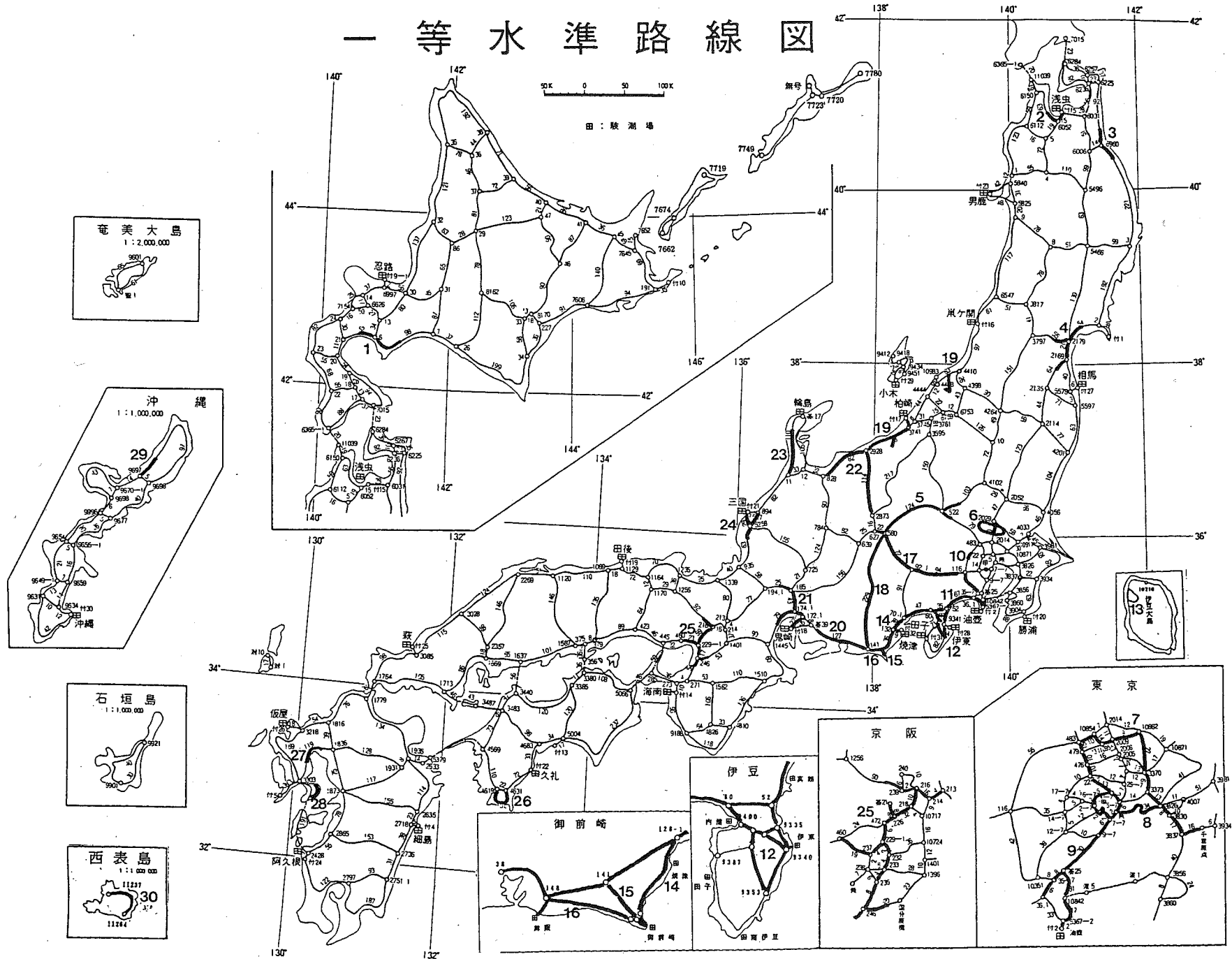
変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
4-18	自 長野県上伊那郡南箕輪村 B. M 5346 至 静岡県掛川市 B. M 交141	B. M 5346	201	自 平成4年7月 至 平成4年8月	
4-19	自 新潟県新潟市 B. M 4420 至 新潟県新潟市 B. M II2163 自 新潟県上越市 B. M 建No.0 至 新潟県上越市 B. M T-6 自 新潟県糸魚川市 B. M 交2928 至 新潟県柏崎市 B. M 柏崎験潮場付属水準点	B. M 4420 B. M 建No.0 B. M 交2928	29 15 78	自 平成4年8月 至 平成4年9月 自 平成4年9月 至 平成4年9月 自 平成4年10月 至 平成4年12月	
4-20	自 静岡県引佐郡三ヶ日町 B. M 基38 至 愛知県岡崎市 B. M 167	B. M 基38	56	自 平成4年8月 至 平成4年9月	
4-21	自 愛知県常滑市 B. M 鬼崎験潮場付属水準点 至 岐阜県不破郡垂井町 B. M 191 自 岐阜県羽島郡笠松町 B. M 184 至 岐阜県羽島市 B. M II3357 自 愛知県海部郡弥富町 B. M 1471 至 愛知県名古屋市 B. M 交174-1 自 岐阜県大垣市 B. M 191 至 三重県四日市市 B. M 1458 自 岐阜県大垣市 B. M III4674 至 岐阜県養老郡養老町 B. M III4676 自 愛知県名古屋市 B. M 基39 至 愛知県名古屋市 B. M 172-1	B. M 鬼崎験潮場付属水準点 B. M 鬼崎験潮場付属水準点 B. M 鬼崎験潮場付属水準点 B. M 191 B. M 191 B. M 基39	108 8 24 90 4 4	自 平成4年10月 至 平成4年11月 自 平成4年11月 至 平成4年11月 自 平成4年10月 至 平成4年11月 自 平成4年10月 至 平成4年11月 自 平成4年10月 至 平成4年10月 自 平成4年11月 至 平成4年11月	
4-22	自 新潟県糸魚川市 B. M 交2928 至 富山県富山市 B. M 交828 自 新潟県糸魚川市 B. M 交2928 至 長野県松本市 B. M 交2873	B. M 交2928 B. M 交2928	83 113	自 平成4年7月 至 平成4年9月 自 平成4年7月 至 平成4年9月	
4-23	自 石川県羽咋郡富来町 B. M 9253 至 石川県河北郡津幡町 B. M 交11	B. M 9253	63	自 平成4年7月 至 平成4年11月	
4-24	自 福井県坂井郡金津町 B. M 基15 至 福井県鯖江市 B. M 910-1 自 福井県福井市 B. M 交5258 至 福井県福井市 B. M 3249	B. M 基15 B. M 基15	40 8	自 平成4年9月 至 平成4年10月 自 平成4年10月 至 平成4年10月	

変動図 番号	検 測 区 間	不動とした水準点番号	キ 口 数	検 測 期 間	頁
4-25	自 滋賀県大津市 B. M 基20 至 兵庫県西宮市 B. M 交460 自 大阪府茨木市 B. M 226 至 大阪府茨木市 B. M 基21 自 京都府京都市 B. M 交216 至 京都府京都市 B. M 1296 自 大阪府大阪市 B. M 交229 至 大阪府堺市 B. M 249 自 大阪府堺市 B. M 交246 至 大阪府柏原市 B. M 国分原標	B. M 基20 B. M 基20 B. M 基20 B. M 基20 B. M 基20 B. M 基20	95 7 11 27 19	自 平成4年10月 至 平成5年2月 自 平成4年10月 至 平成4年10月 自 平成5年1月 至 平成5年2月 自 平成4年10月 至 平成4年11月 自 平成4年10月 至 平成4年10月	
4-26	自 高知県宿毛市 B. M 交4619 至 高知県中村市 B. M 交4631	B. M 交4619 B. M 交4631	91	自 平成4年10月 至 平成5年1月	
4-27	自 佐賀県杵島郡有明町 B. M 基52 至 福岡県柳川市 B. M 3356 自 佐賀県佐賀市 B. M 3346 至 佐賀県佐賀郡大和町 B. M 佐賀県基盤水準点 自 佐賀県杵島郡有明町 B. M 3332 至 佐賀県鹿島市 B. M 3331 自 佐賀県杵島郡有明町 B. M 3332 至 佐賀県佐賀郡諸富町 B. M 3350 自 佐賀県佐賀郡久保田町 B. M 3342 至 佐賀県小城郡芦刈町 B. M II2000	B. M 基52 B. M 基52 B. M 基52 B. M 基52 B. M 基52 B. M 基52	50 10 2 46 4	自 平成5年1月 至 平成5年2月 自 平成5年1月 至 平成5年1月 自 平成5年1月 至 平成5年1月 自 平成5年1月 至 平成5年2月 自 平成5年2月 至 平成5年2月	
4-28	自 長崎県南高来郡西有家町 B. M 4297 至 長崎県南高来郡南国見町 B. M 4280 自 長崎県島原市 B. M 4285 至 長崎県南高来郡小浜町 B. M No.25	B. M 4297 B. M 4297	34 25	自 平成4年5月 至 平成4年6月 自 平成4年6月 至 平成4年6月	
4-28	自 長崎県南高来郡愛野町 B. M 4271 至 長崎県南高来郡南串山町 B. M T126(補)	B. M 4271	22	自 平成4年5月 至 平成4年5月	
4-29	自 沖縄県国頭郡大宜味町 B. M 9697 至 沖縄県国頭郡国頭町 B. M 9709	B. M 9697	23	自 平成4年6月 至 平成4年6月	
4-30	自 沖縄県八重郡竹富町 B. M 11237 至 沖縄県八重郡竹富町 B. M 11264	B. M 11237	54	自 平成4年10月 至 平成4年11月	

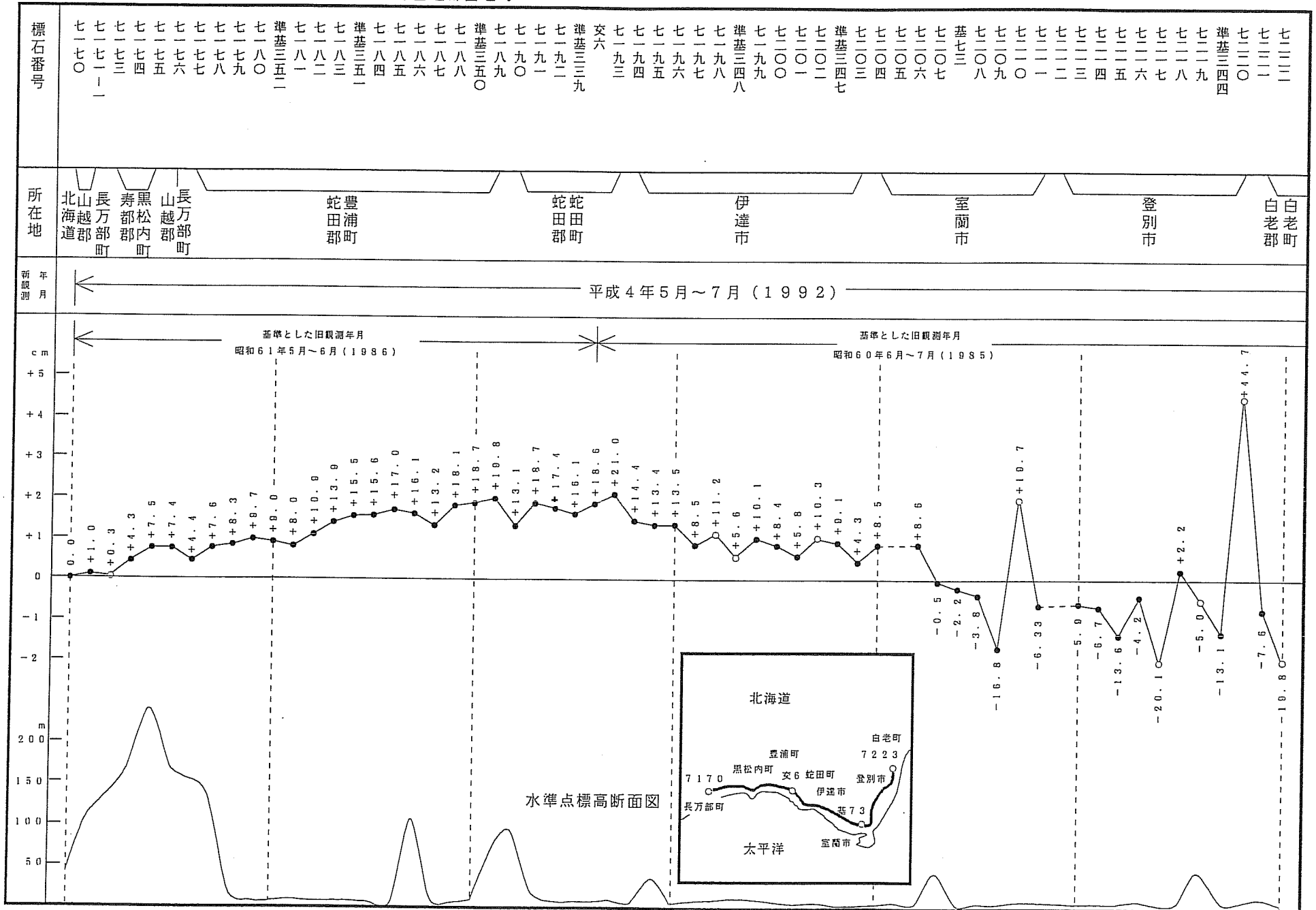
3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量はすべて水準点間の新観測比高から、旧観測比高を減じた値を、仮不動点を基準にして累加したものである。
- (2) 変動図中、再設、傾斜改埋等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらが図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 前回観測から今回観測の間に移転改埋をした点は白ぬきで表示した。
- (4) 昭和39年度から、建設省道路局長と国土地理院長との覚書により、道路管理者の設けた地点標の1 km毎に、併設した一等水準点（道路水準点）には、001-181のような番号をつけている。

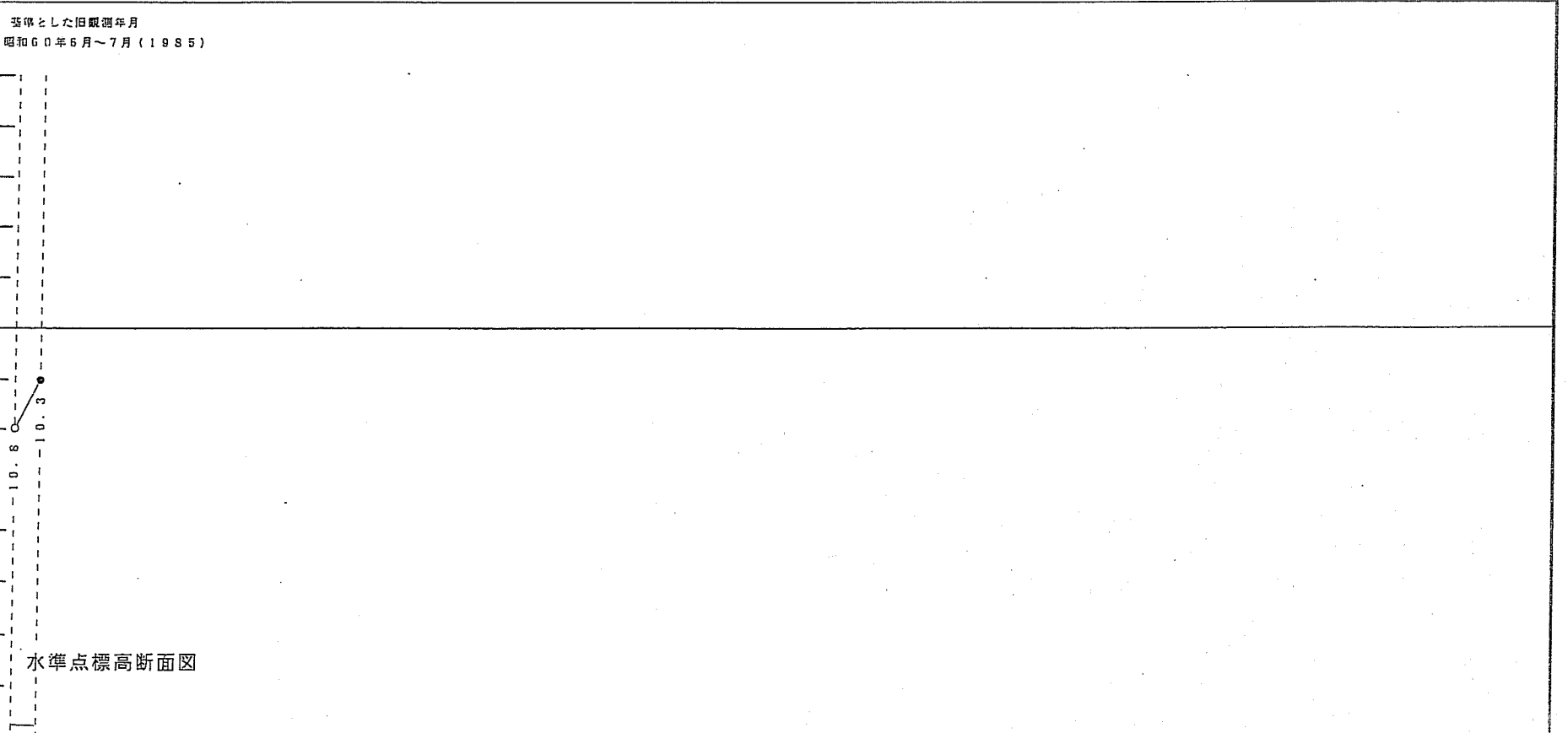
一等水準路線図

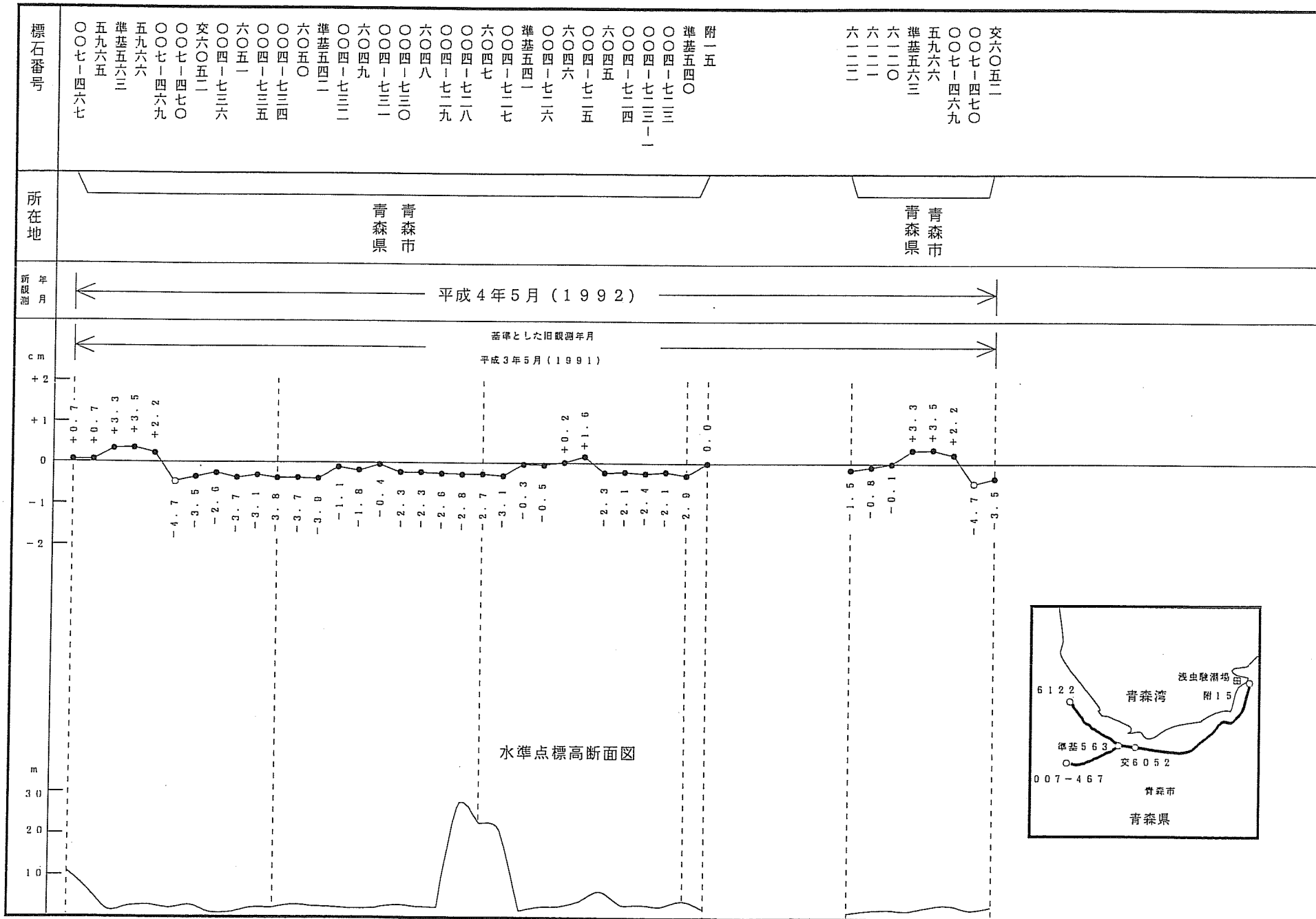


4-1 自 北海道山越郡長万部町 至 北海道白老郡白老町

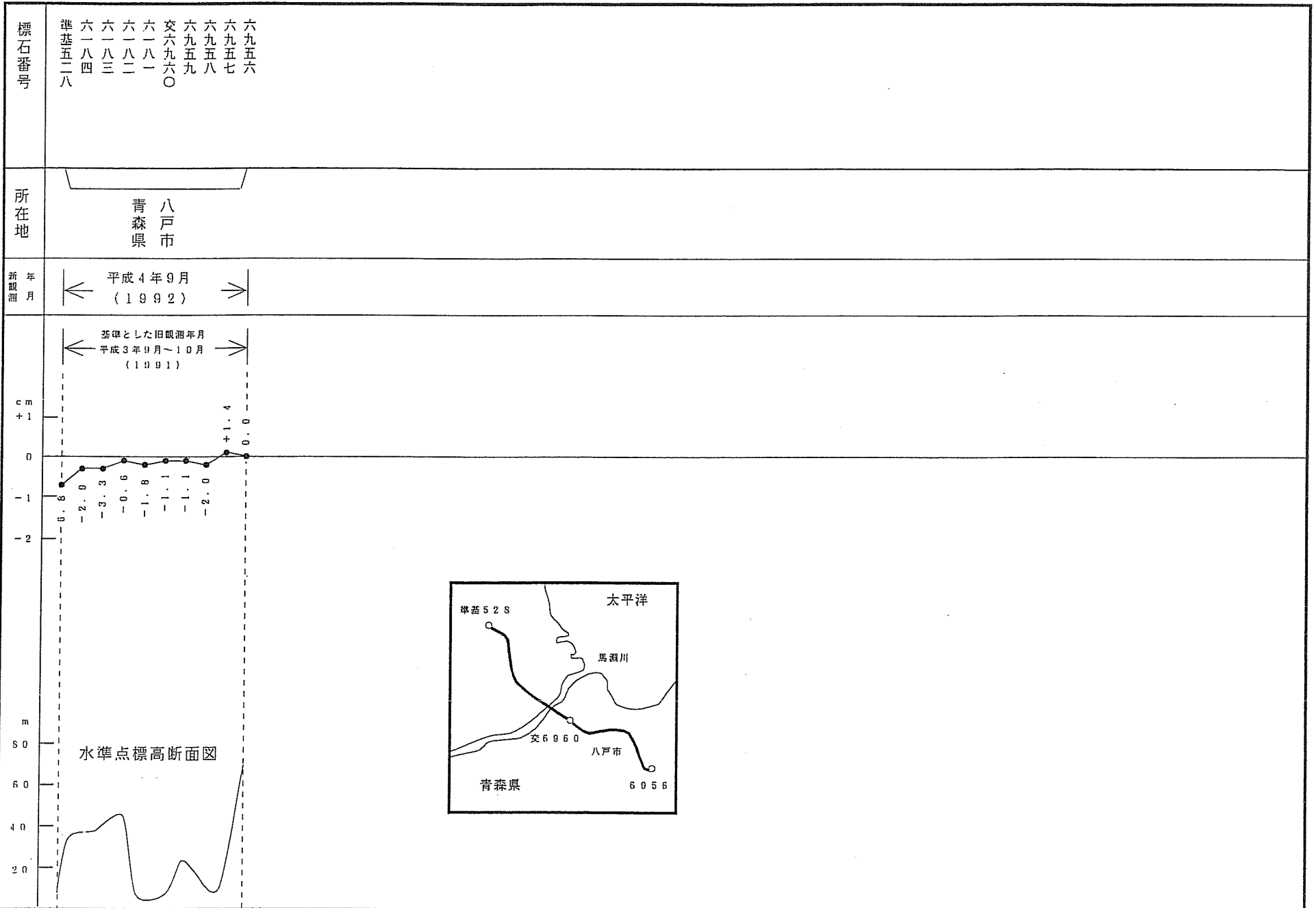


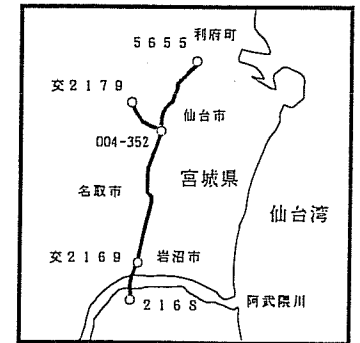
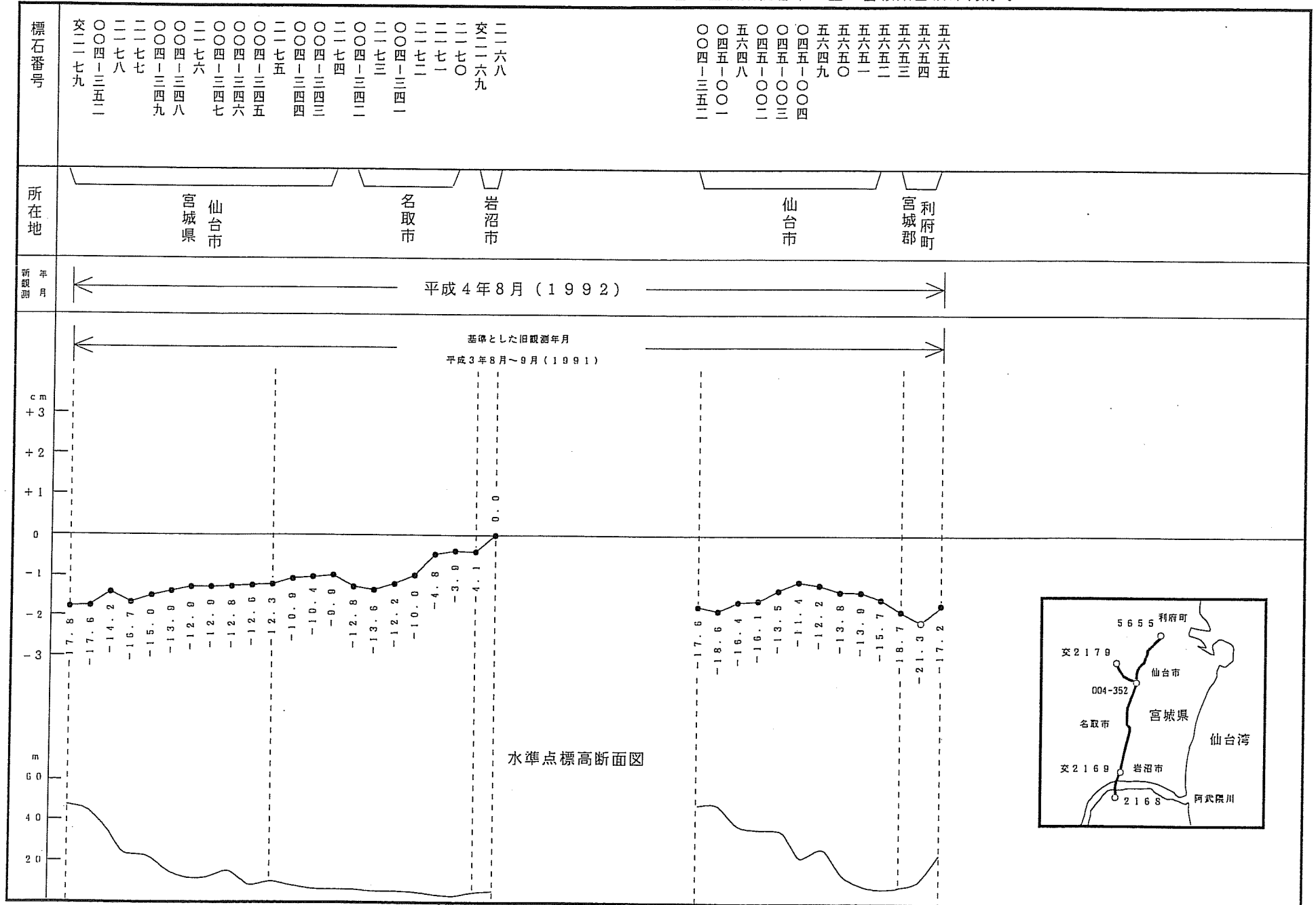
4-1 自 北海道山越郡長万部町 至 北海道白老郡白老町

標石番号	七 二 三 二 三
所在地	白老郡白老町
新観測 年月	平成4年5月～7月(1992)
新観測 年月 旧観測 年月 cm +5 +4 +3 +2 +1 0 -1 -2 m 200 150 100 50	変更とした旧観測年月 昭和60年6月～7月(1985)  <p>水準点標高断面図</p>

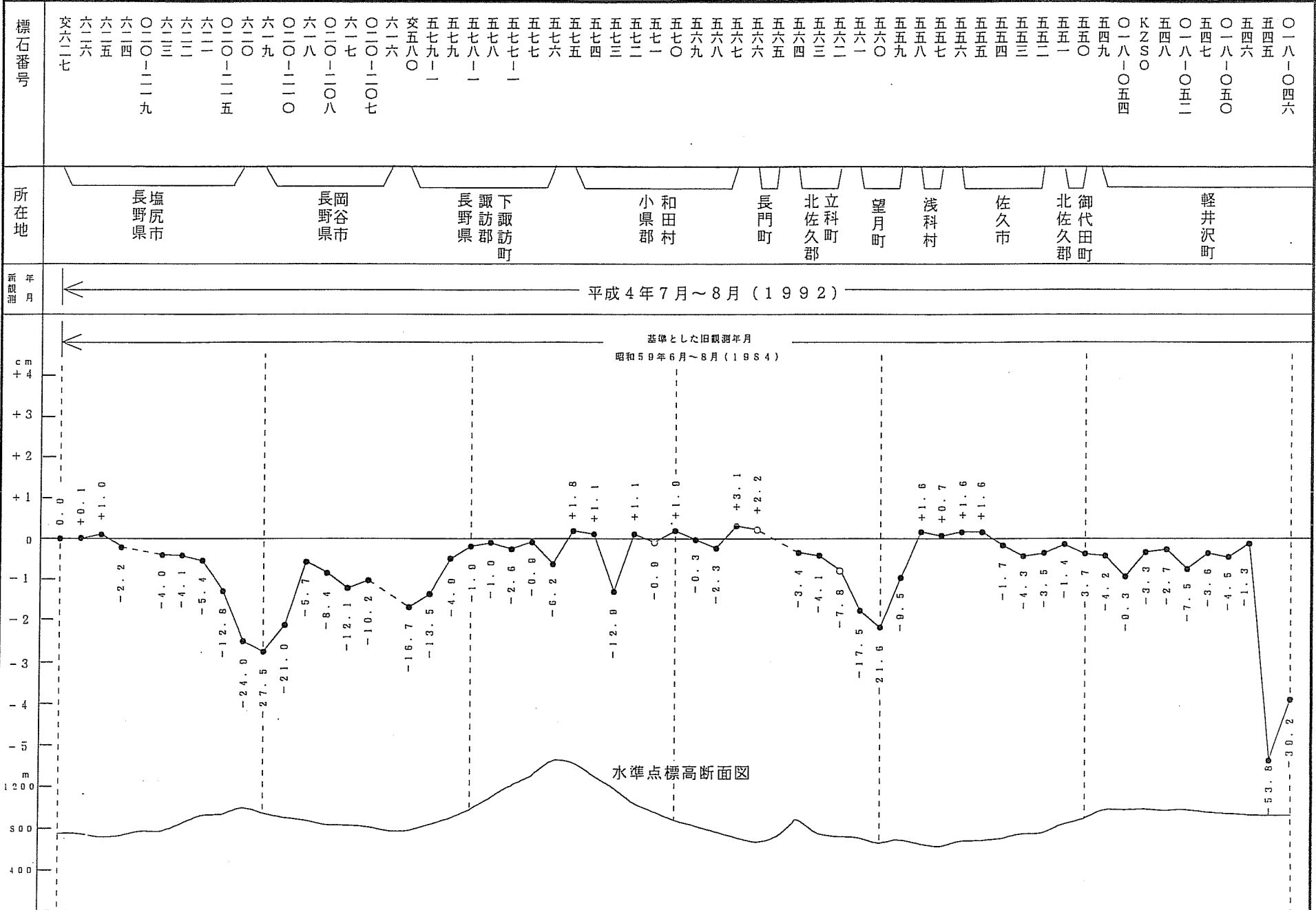


4-3 青森県八戸市

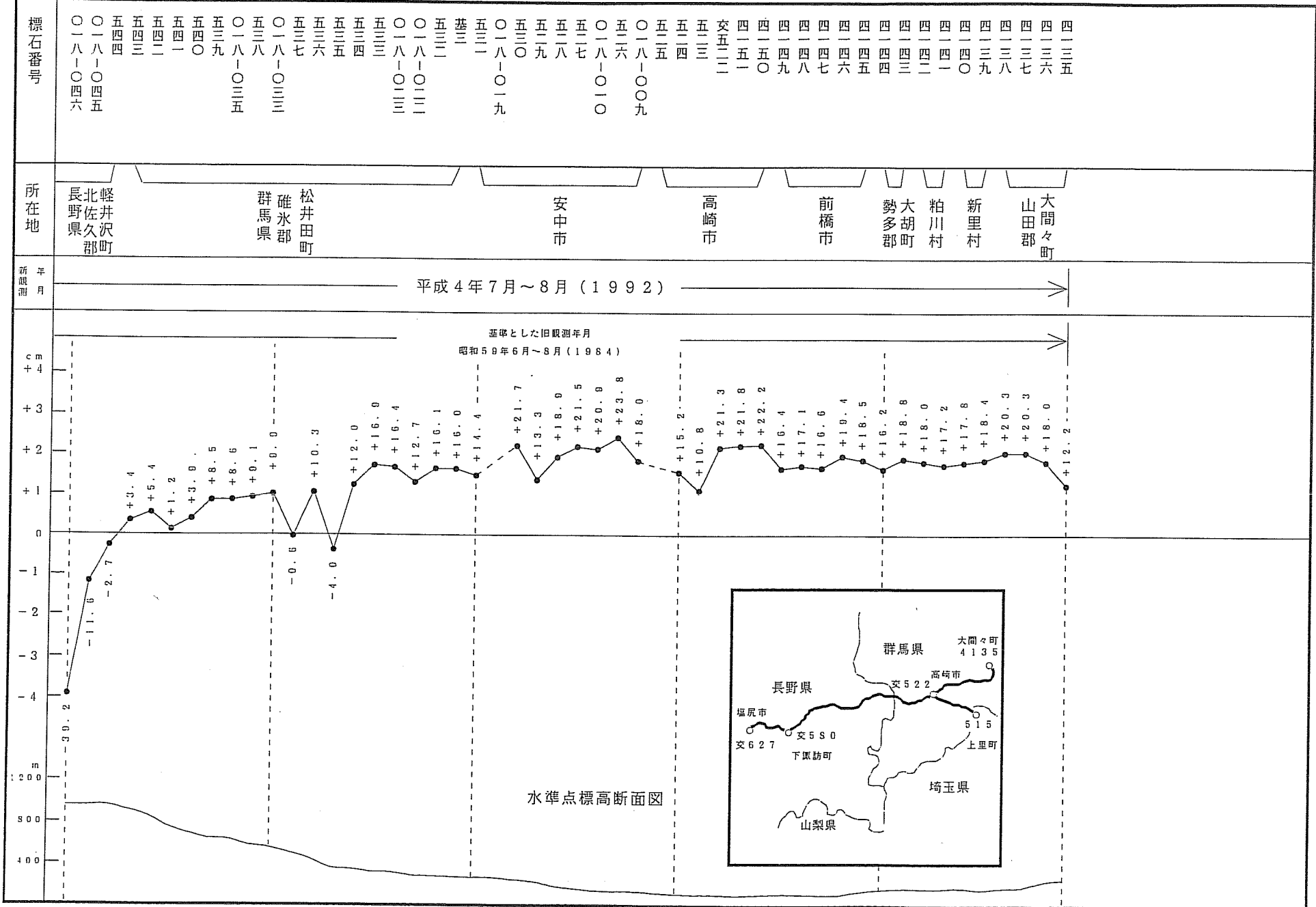




4-5-I 自 長野県塩尻市 至 群馬県山田郡大間々町

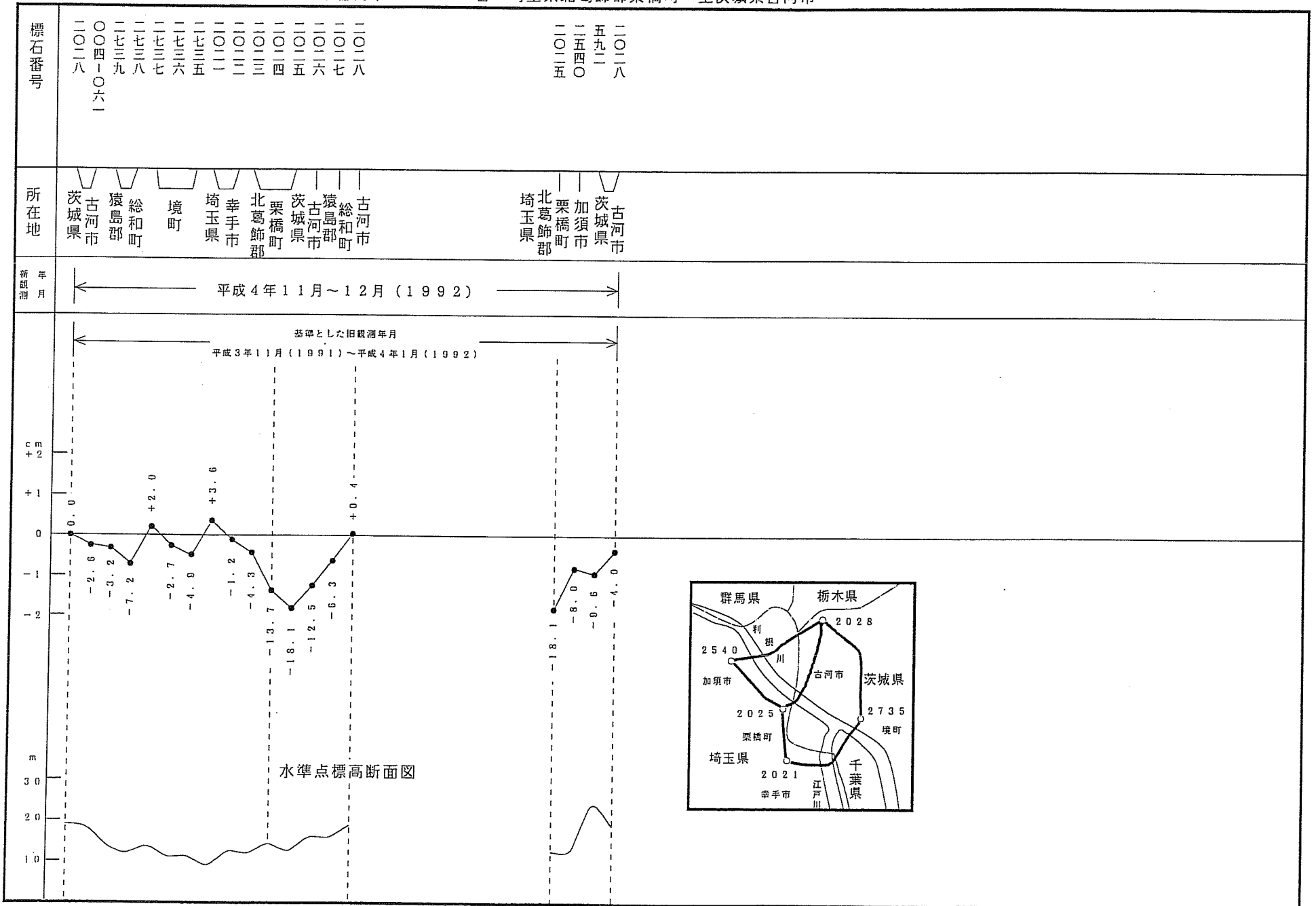


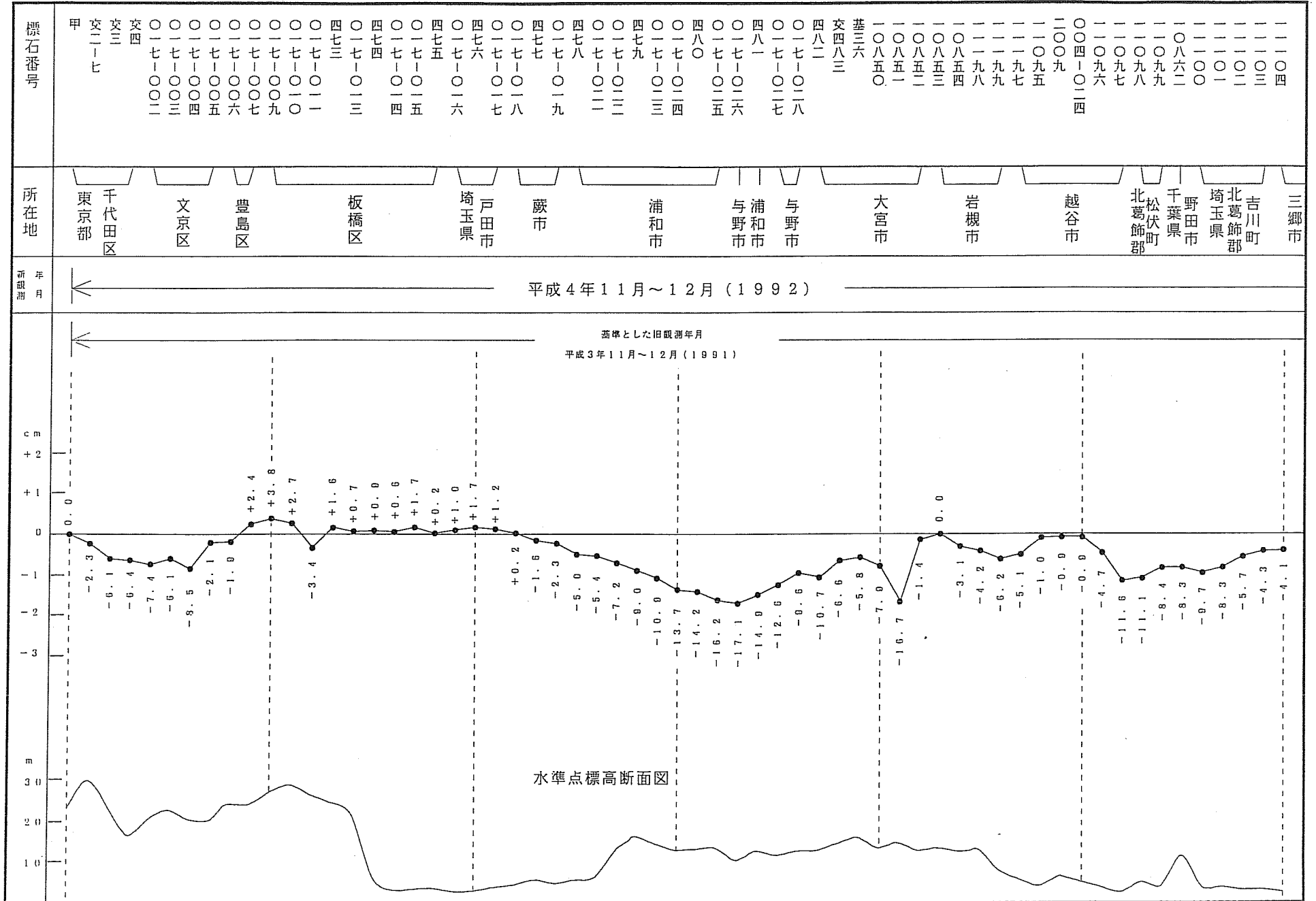
4-5-I 自 長野県塩尻市 至 群馬県山田郡大間々町



4-5-II 自 群馬県高崎市 至 埼玉県児玉郡上里町

標石番号 交五二二 五二二 五二〇 〇一七 五一九 五一八 五一七 五一六 〇一七 五一五																							
所在地 群馬県 高崎市 藤岡市 多野郡 新町 埼玉県 児玉郡 上里町																							
新観測 年月 平成4年7月(1992)																							
基準とした旧観測年月 昭和59年6月(1984)	<table border="1"> <caption>観測点の変位データ (cm)</caption> <thead> <tr> <th>標石番号</th> <th>変位 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>交五二二</td><td>+21.3</td></tr> <tr><td>五二二</td><td>+15.8</td></tr> <tr><td>五二〇</td><td>+10.1</td></tr> <tr><td>〇一七</td><td>+12.5</td></tr> <tr><td>五一九</td><td>+11.7</td></tr> <tr><td>五一八</td><td>+8.3</td></tr> <tr><td>五一七</td><td>+6.0</td></tr> <tr><td>五一六</td><td>+11.0</td></tr> <tr><td>〇一七</td><td>+6.7</td></tr> <tr><td>五一五</td><td>+7.5</td></tr> </tbody> </table>	標石番号	変位 (cm)	交五二二	+21.3	五二二	+15.8	五二〇	+10.1	〇一七	+12.5	五一九	+11.7	五一八	+8.3	五一七	+6.0	五一六	+11.0	〇一七	+6.7	五一五	+7.5
標石番号	変位 (cm)																						
交五二二	+21.3																						
五二二	+15.8																						
五二〇	+10.1																						
〇一七	+12.5																						
五一九	+11.7																						
五一八	+8.3																						
五一七	+6.0																						
五一六	+11.0																						
〇一七	+6.7																						
五一五	+7.5																						
水準点標高断面図 m 100 50	<p>群馬県 大岡々町 413.5 高崎市 522 埼玉県 児玉郡 上里町 515 長野県 塩尻市 627 下原町 580 山梨県</p>																						



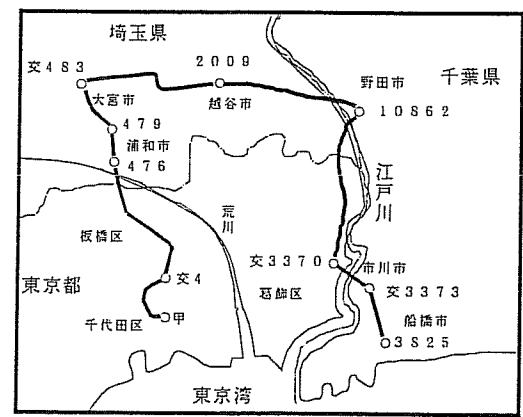
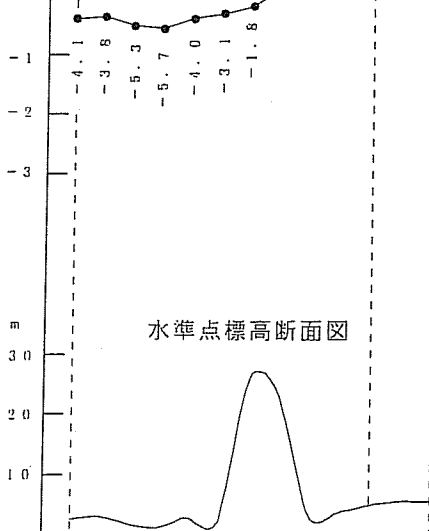
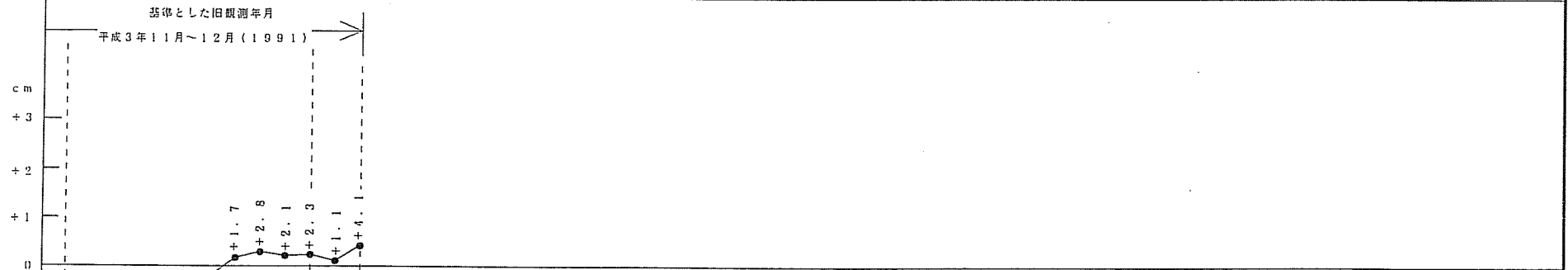


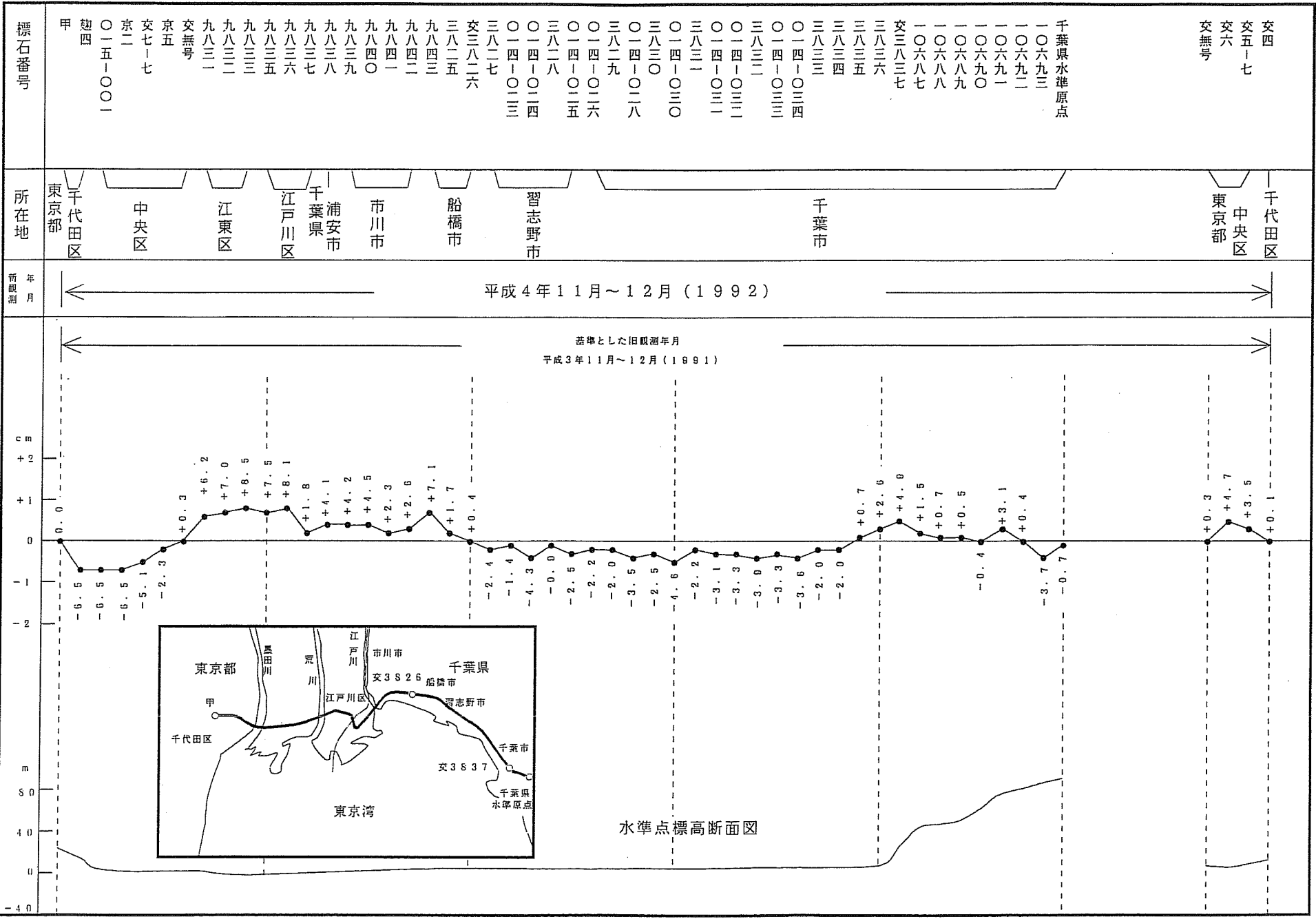
4-7 自 東京都千代田区 至 千葉県船橋市

標石番号	三 三 三 三 交 三 三 三 三 三 三 三 交 三 三 三 三 三
一 一	
〇 〇	
四 五 六 七 八 〇 一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五	

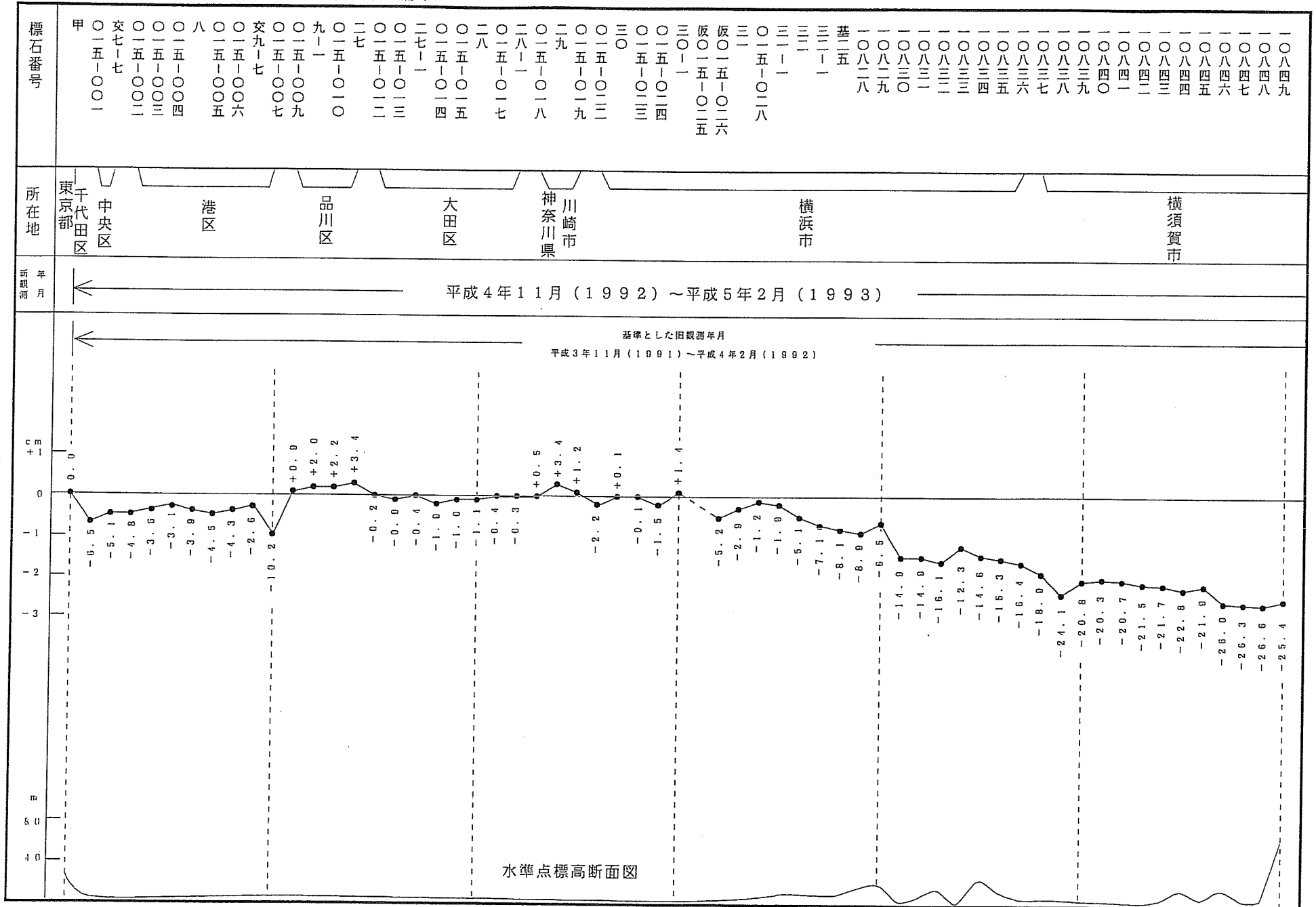
所在地	埼玉 三 郷 市 都 縣	東京 都	葛 飾 区	千 葉 県	松 戸 市	市 川 市	船 橋 市
-----	-----------------------------	---------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

新設測 年月 平成4年11月~12月(1992)





4-9 自 東京都千代田区 至 神奈川県三浦市

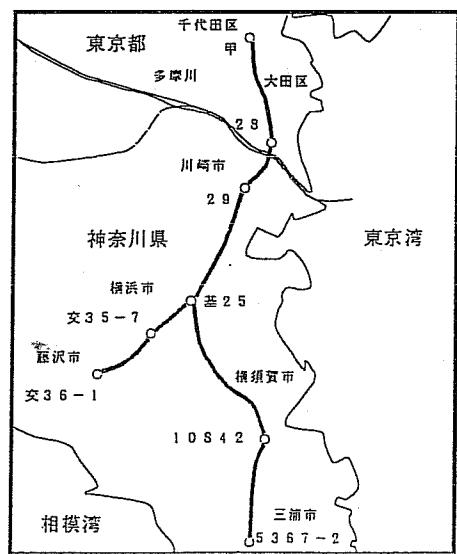
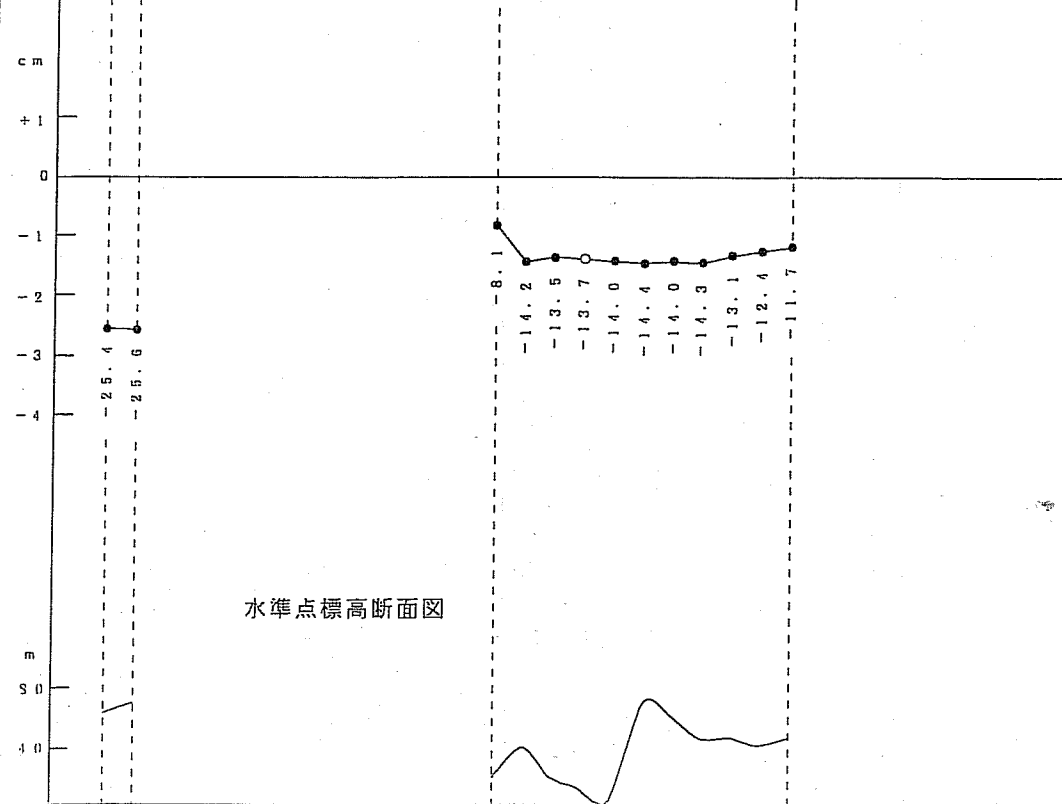
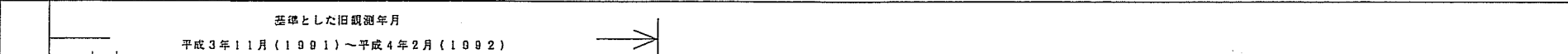


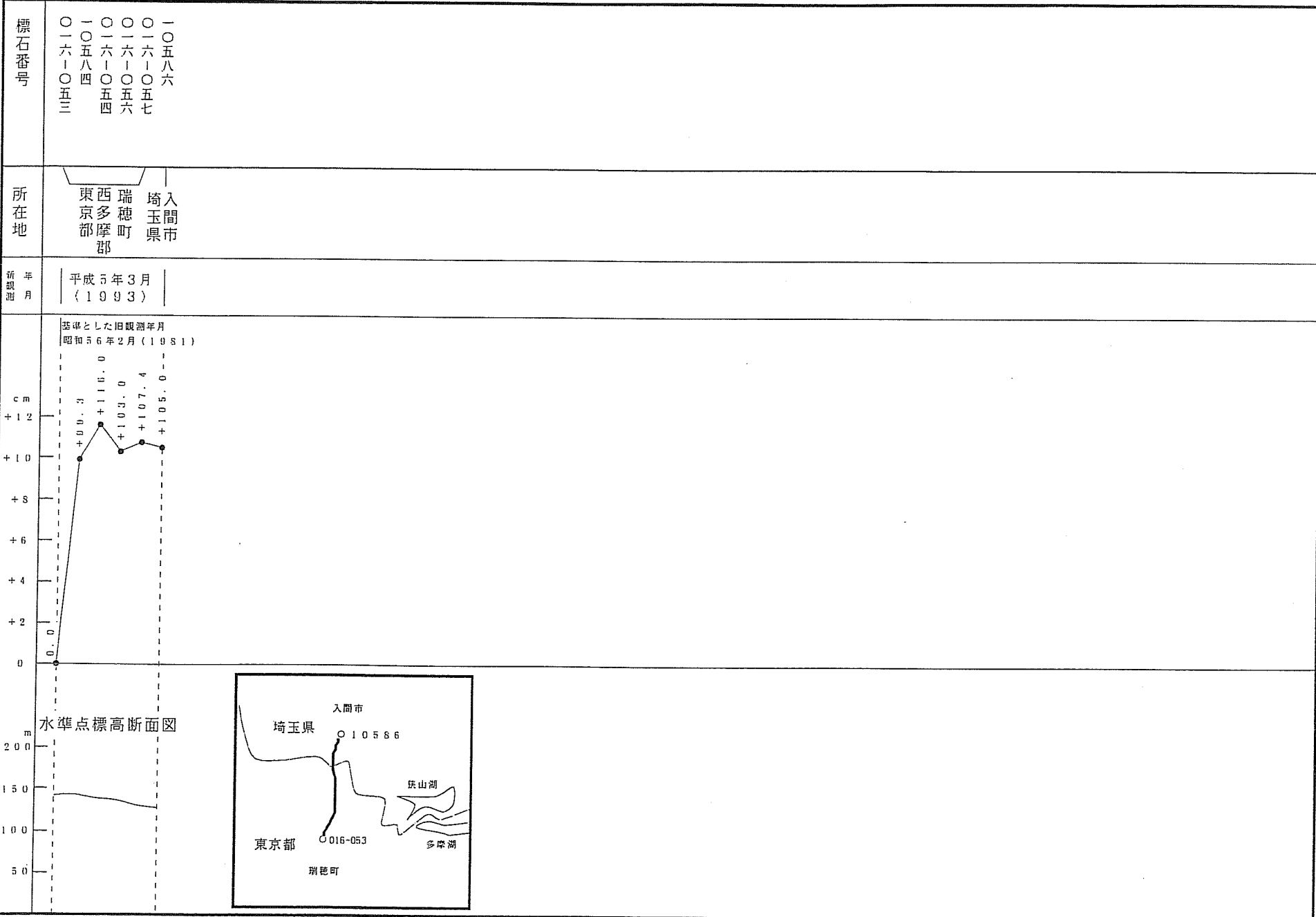
4 - 9 自 東京都千代田区
至 神奈川県三浦市

自 神奈川県横浜市
至 神奈川県藤沢市

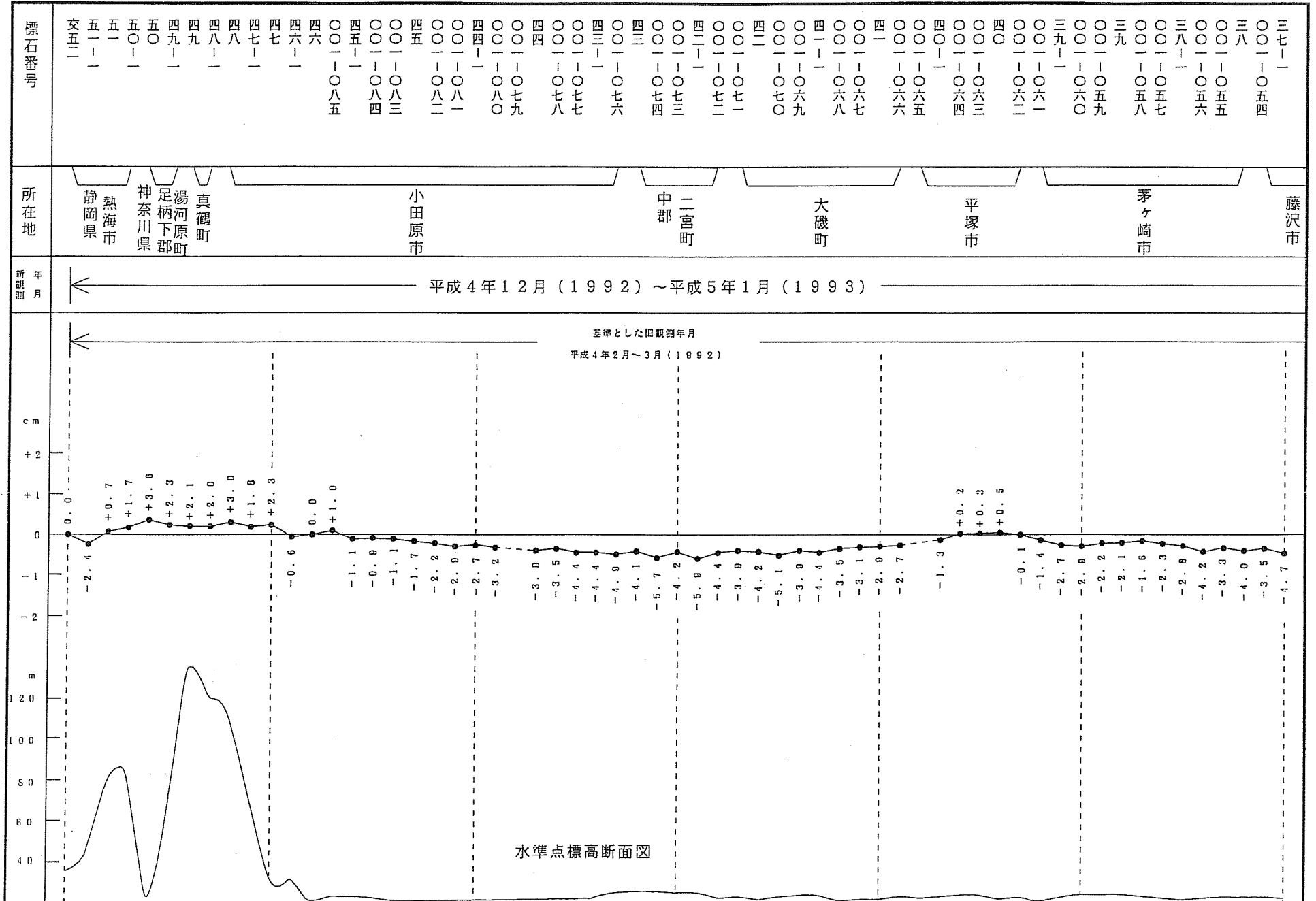
標石番号	一〇八四九 五三六七―二		基二五 三三一 三四一 三四一 交三五―七 三五―一 〇〇一―〇四六 〇〇一―〇四七 〇〇一―〇四八 〇〇一―〇四九	交三六一―
------	-----------------	--	---	-------

所在地	神奈川県三浦市	横浜市	藤沢市
-----	---------	-----	-----



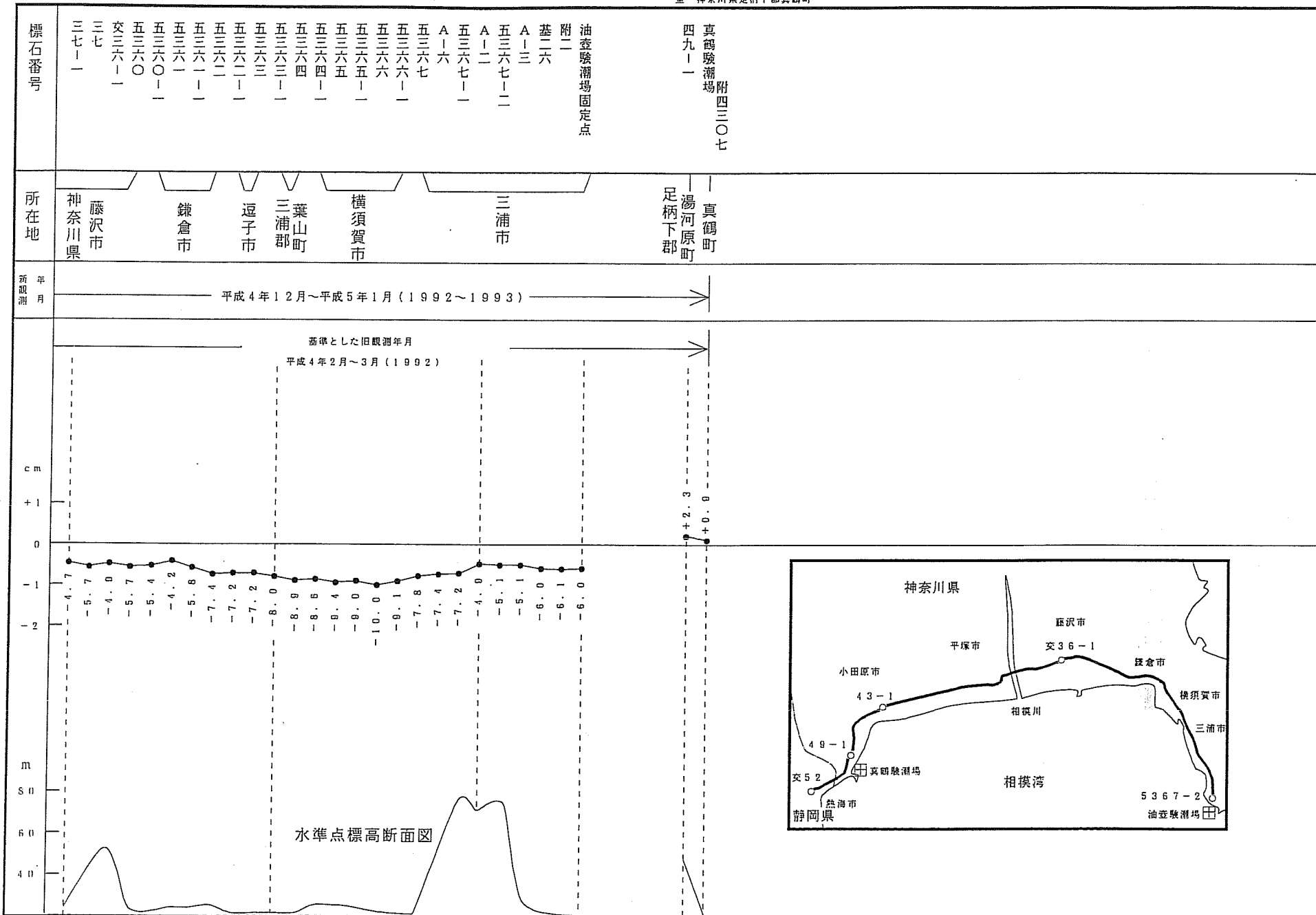


4-11-I 自 静岡県熱海市 至 神奈川県三浦市

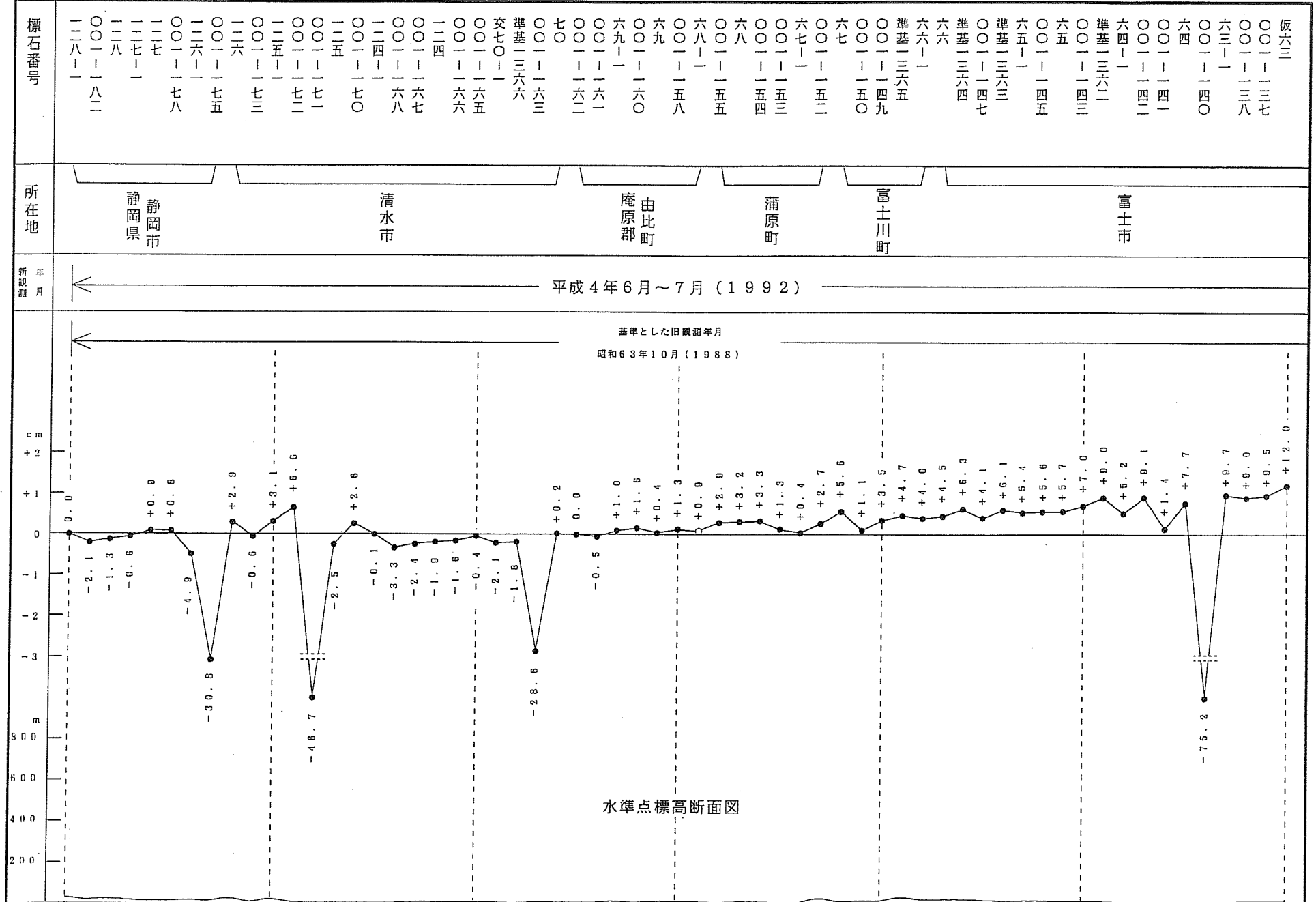


4-11-I 自 静岡県熱海市 至 神奈川県三浦市

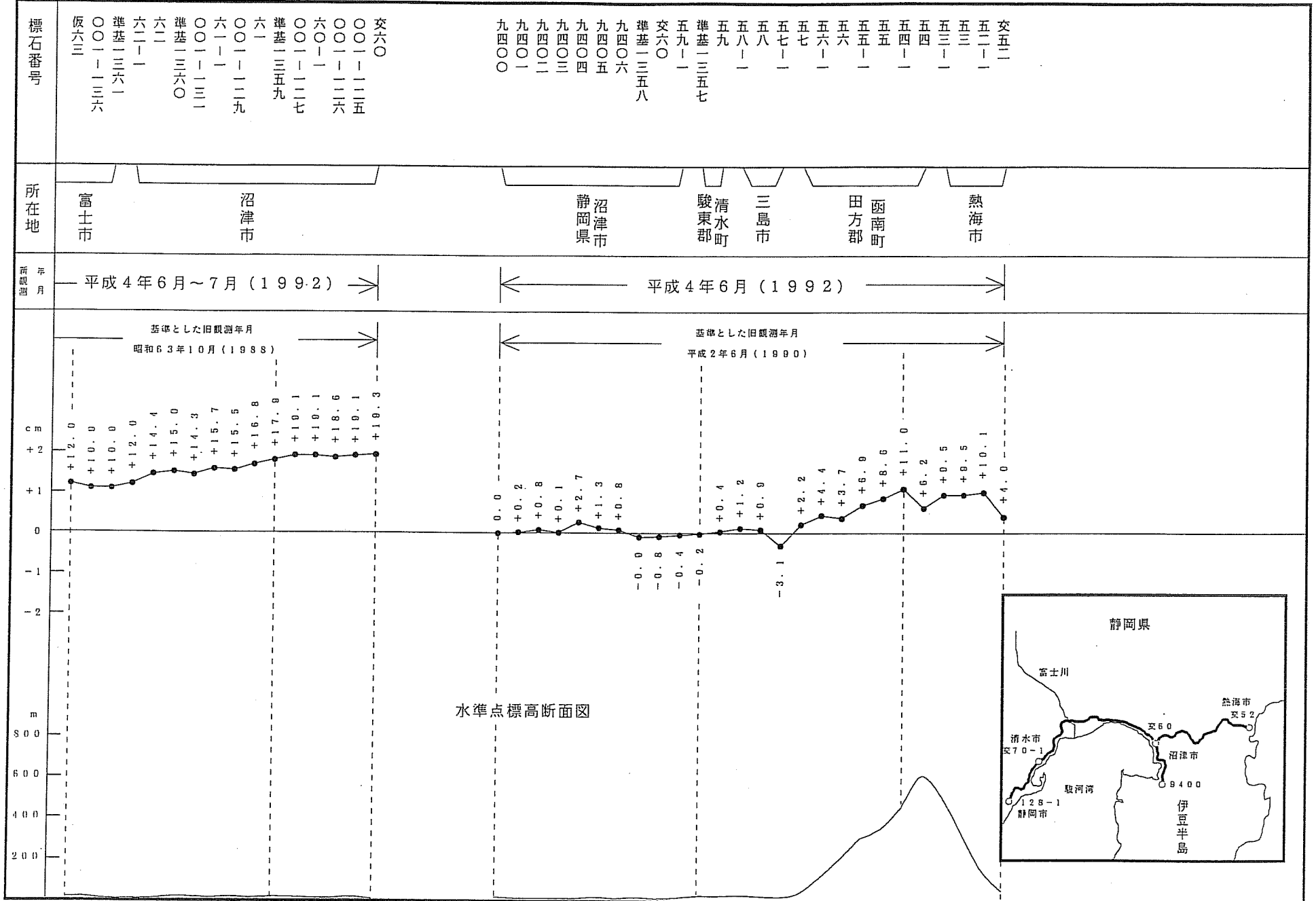
自 神奈川県足柄下郡湯河原町
至 神奈川県足柄下郡真鶴町



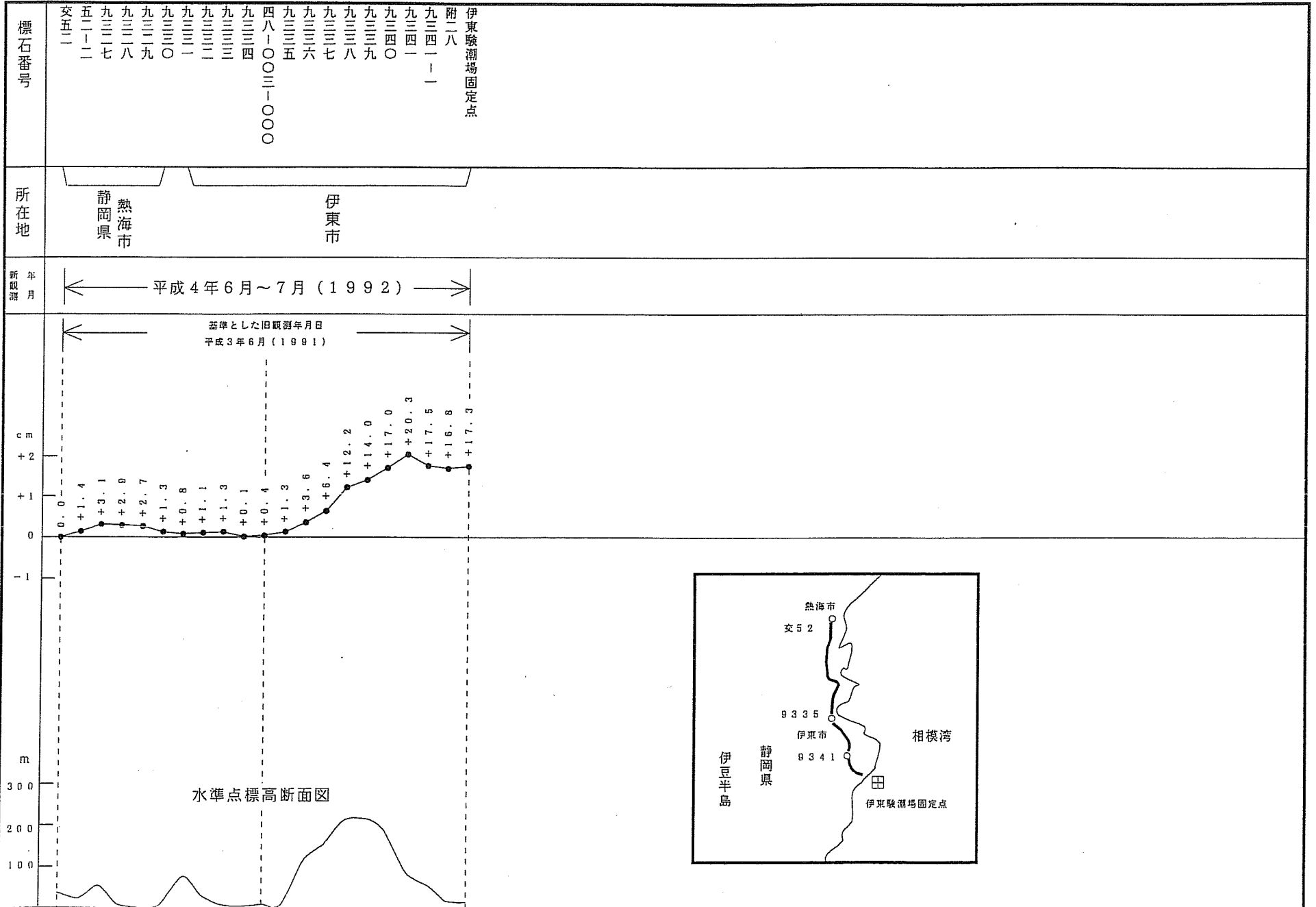
4-11-II 自 静岡県静岡市 至 静岡県沼津市



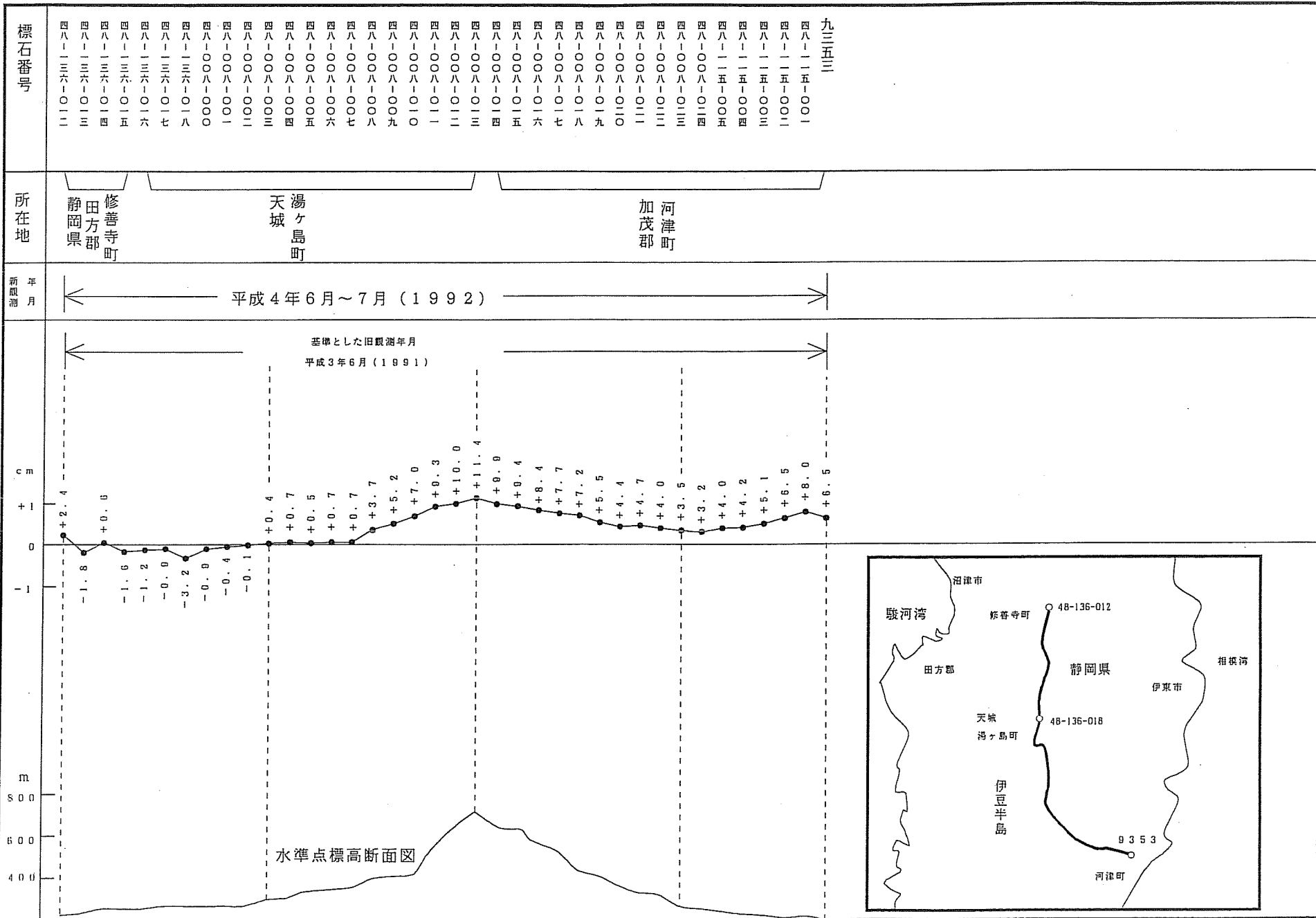
4-11-II 自 静岡県静岡市 至 静岡県沼津市 自 静岡県沼津市 至 静岡県熱海市



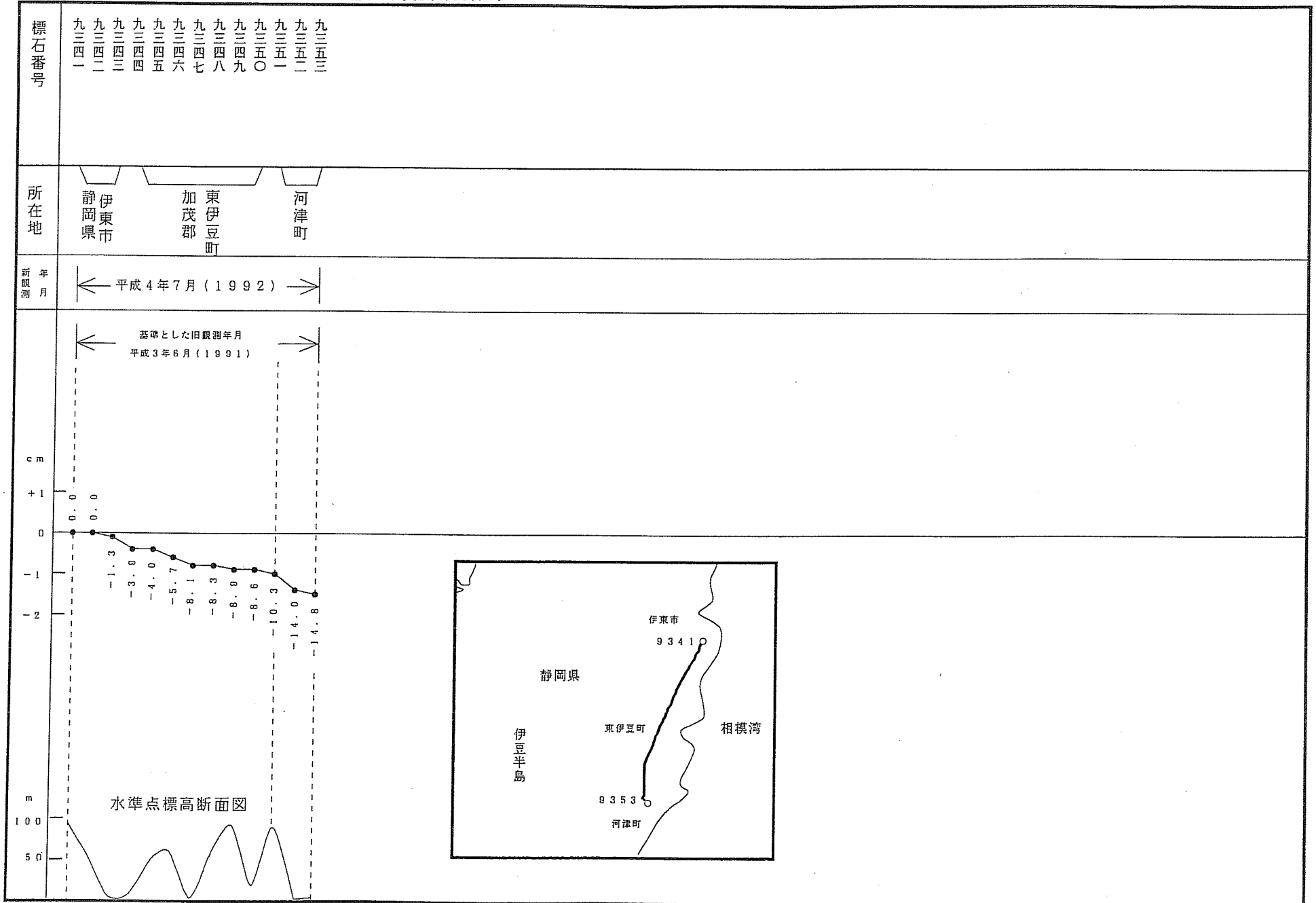
4-12-I 自 静岡県熱海市 至 静岡県伊東市



4-12-III 自 静岡県田方郡市修善寺町 至 静岡県賀茂郡河津町

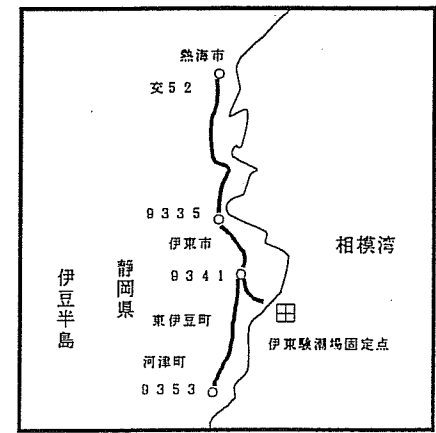
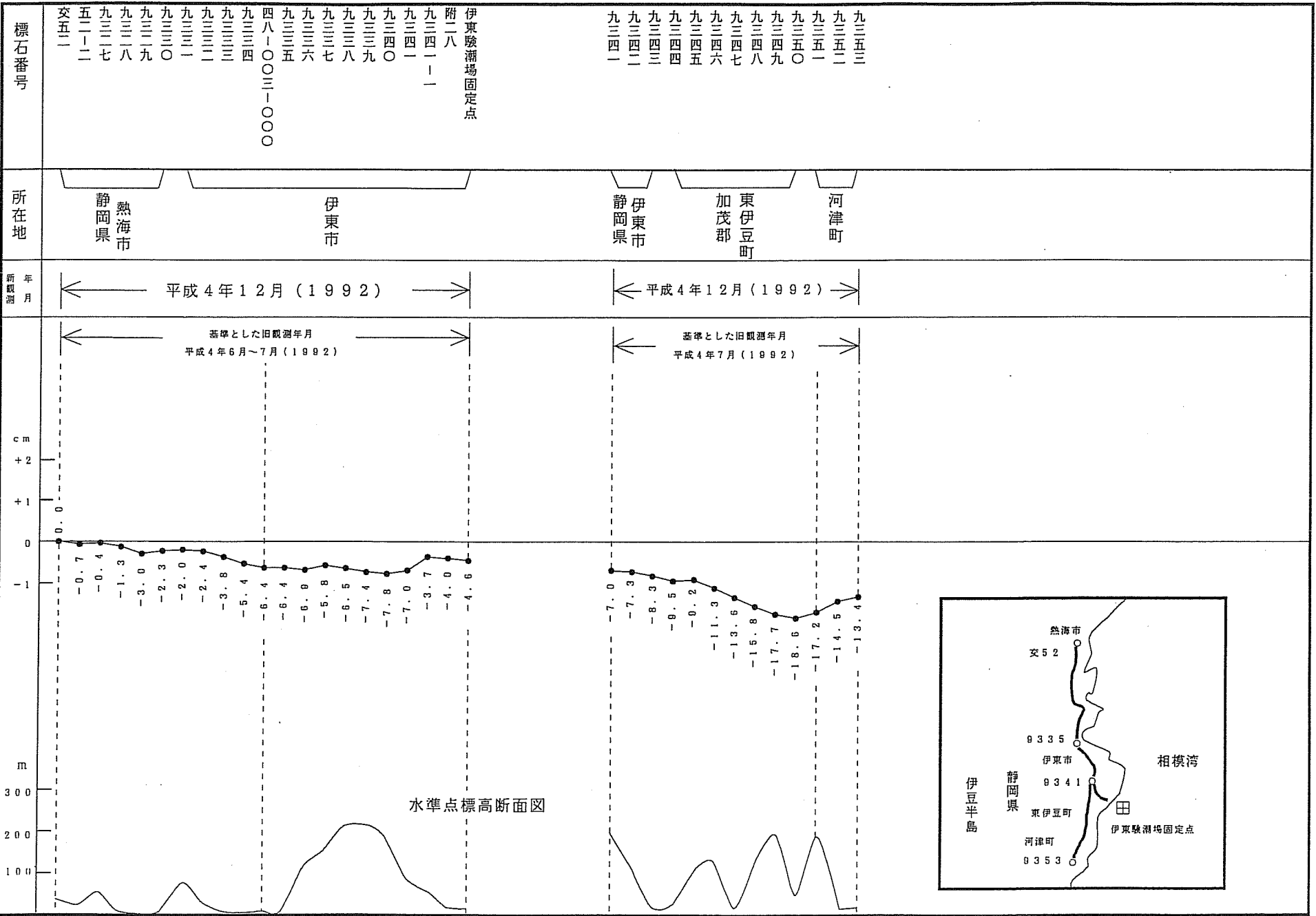


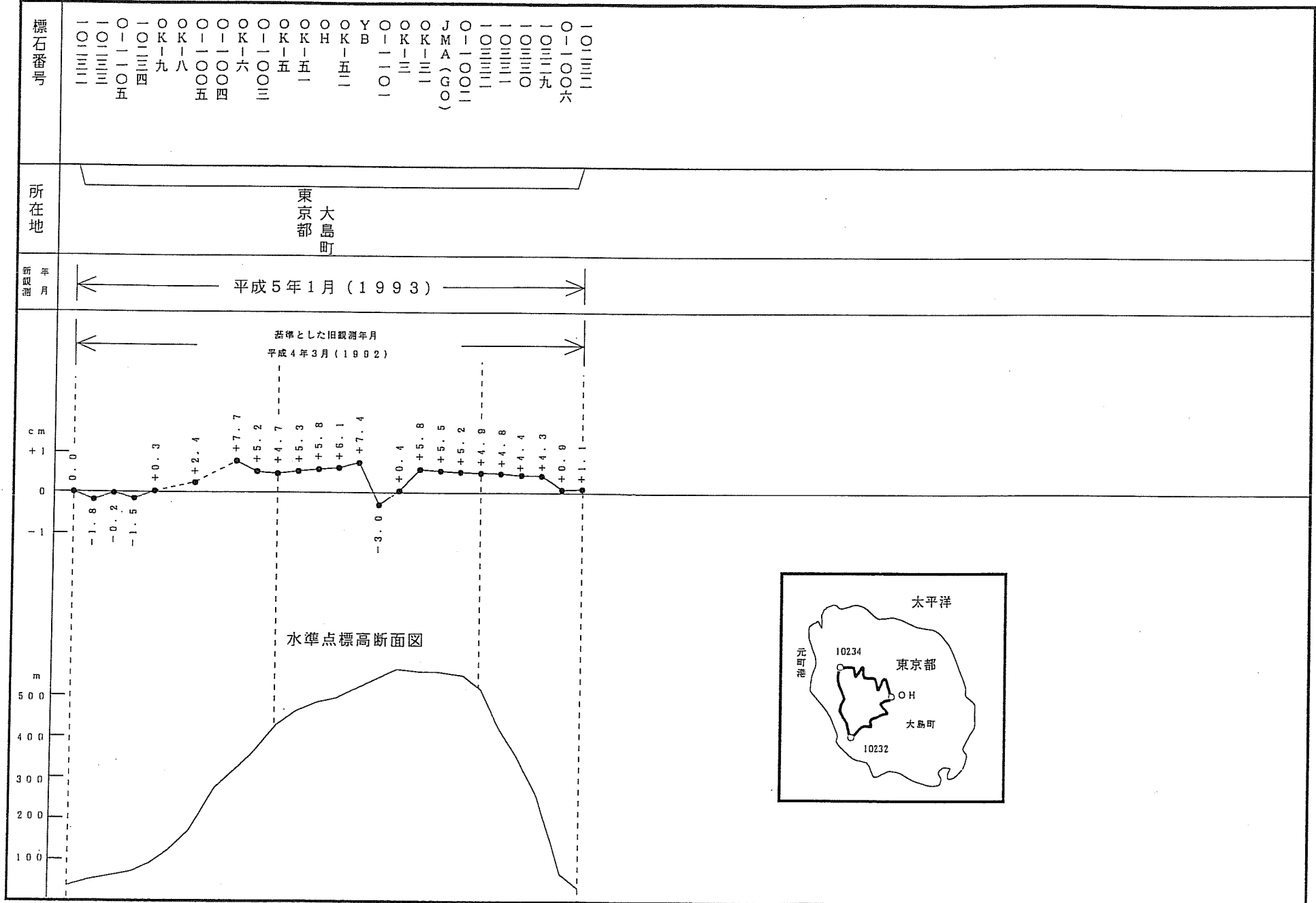
4-12-IV 自 静岡県伊東市 至 静岡県賀茂郡河津町



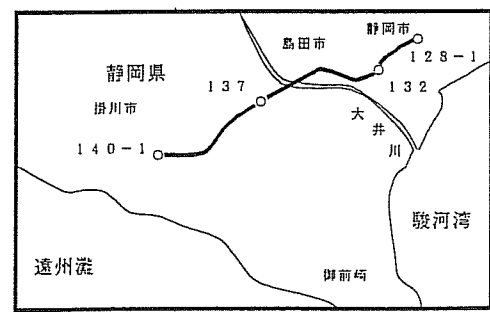
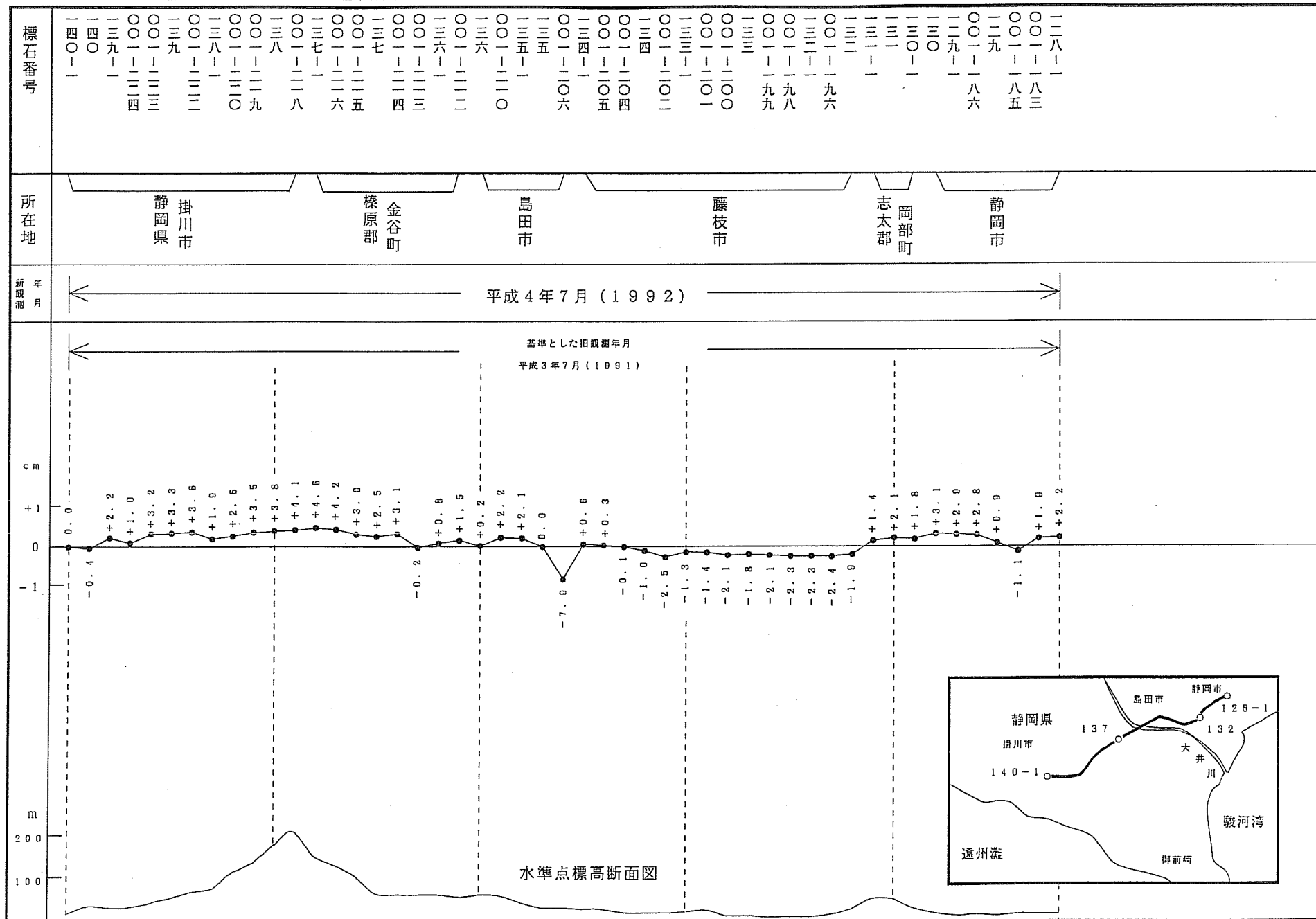
4-12-V 自 静岡県熱海市 至 静岡県伊東市

自 静岡県伊東市 至 静岡県賀茂郡河津町



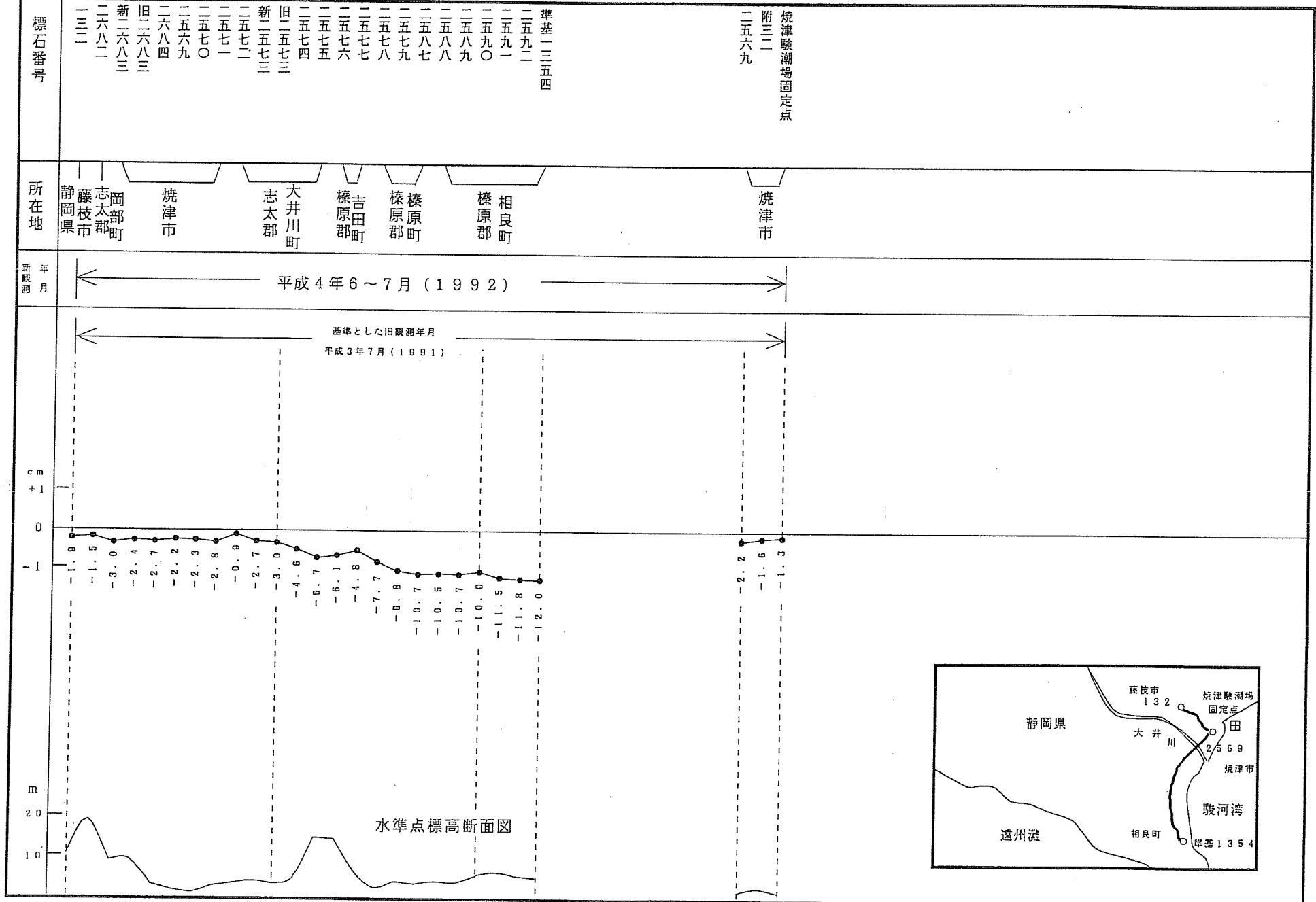


4-14-I 自 静岡県掛川市 至 静岡県静岡市



4-14-II 自 静岡県藤枝市 至 静岡県榛原郡相良町

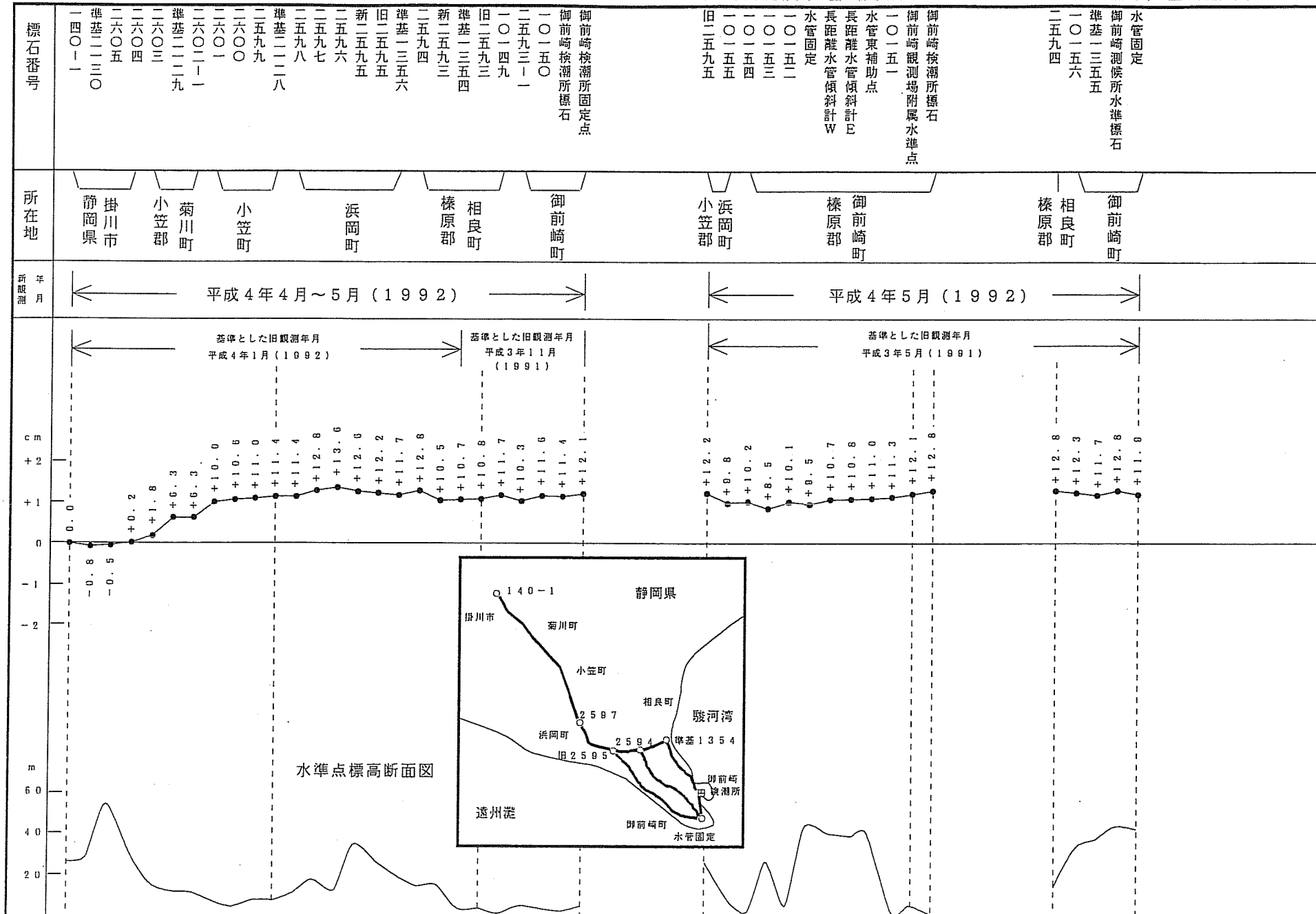
静岡県焼津市



4-15-I 自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡御前崎町

自 小笠郡浜岡町 至 榛原郡御前崎町

自 榛原郡相良町 至 御前崎町

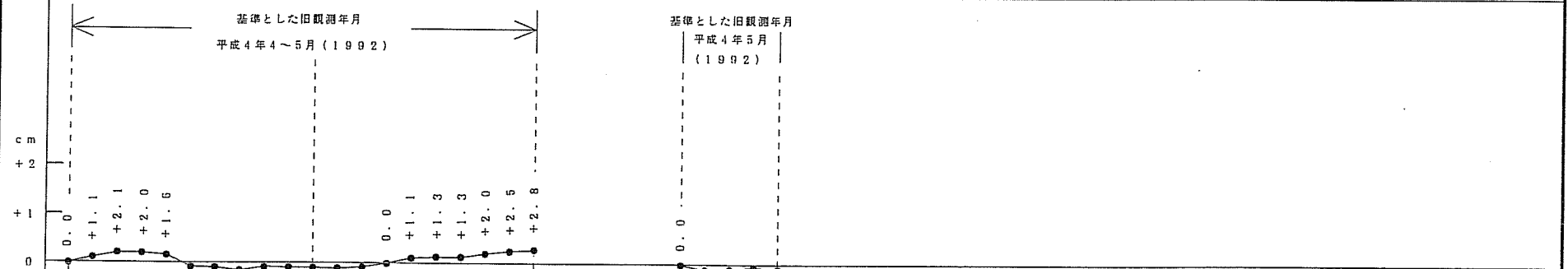


4-15-II 自 静岡県掛川市 至 榛原郡相良町 静岡県榛原郡御前崎町

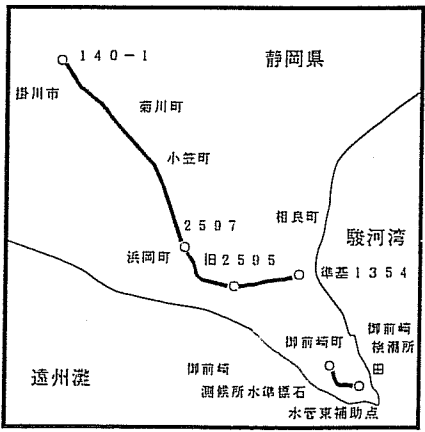
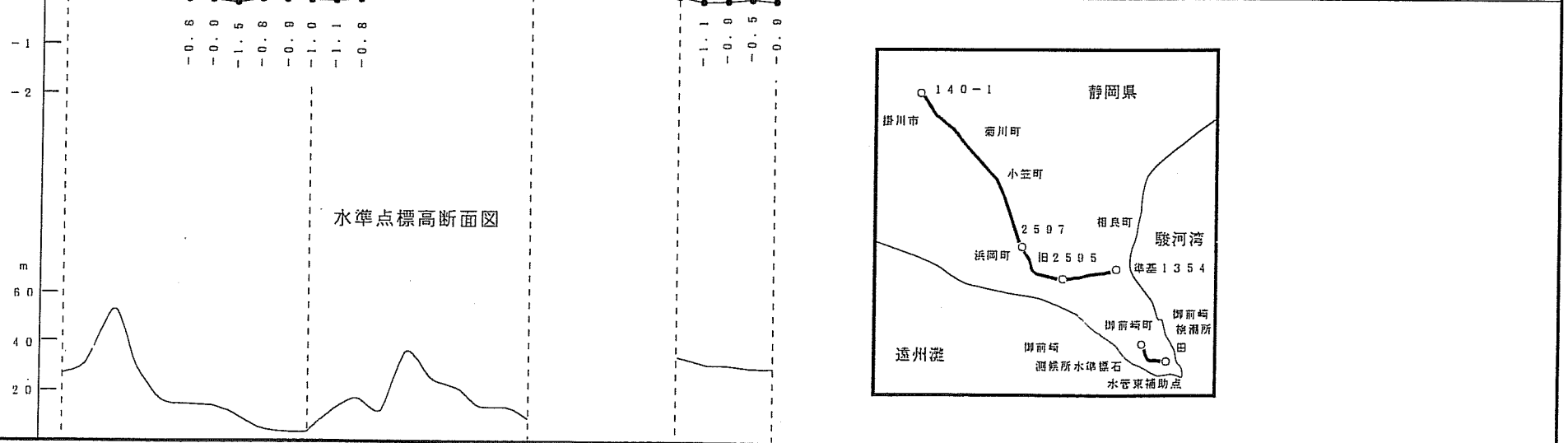
標石番号	進基一三五四 新二五九三 二五九四 進基一三五六 旧二五九五 新二五九五 二五九六 二五九七 二五九八 進基二二二八 二五九九 二六〇〇 二六〇一 二六〇二 進基二二二九 二六〇三 二六〇四 二六〇五 進基一一三〇 一四〇一一	水管東補助点 長距離水管傾斜計E 長距離水管傾斜計W 水管固定 御前崎測候所水準標石
------	--	--

所在地	静岡県 掛川市 小笠郡 菊川町 小笠町 浜岡町 榛原郡 相良町 御前崎町 榛原郡
-----	---

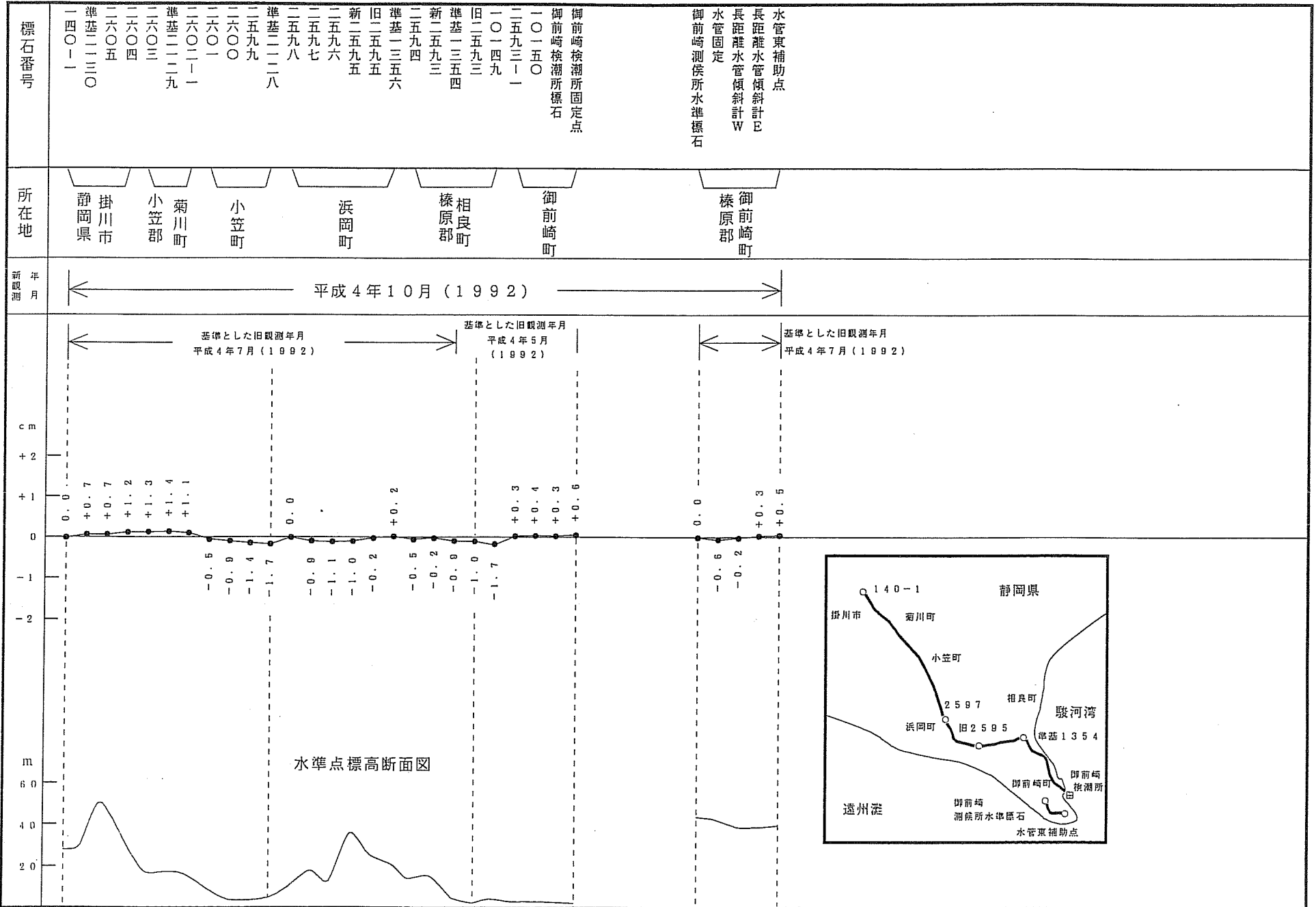
新設年月	平成4年7月(1992)	平成4年7月(1992)
------	--------------	--------------



水準点標高断面図



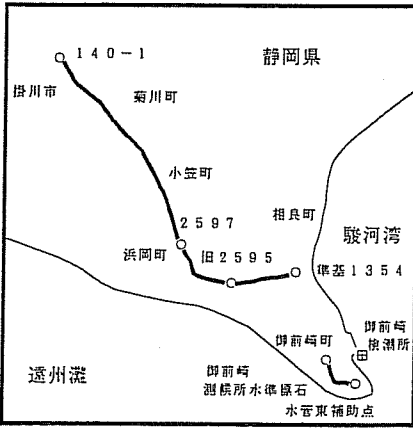
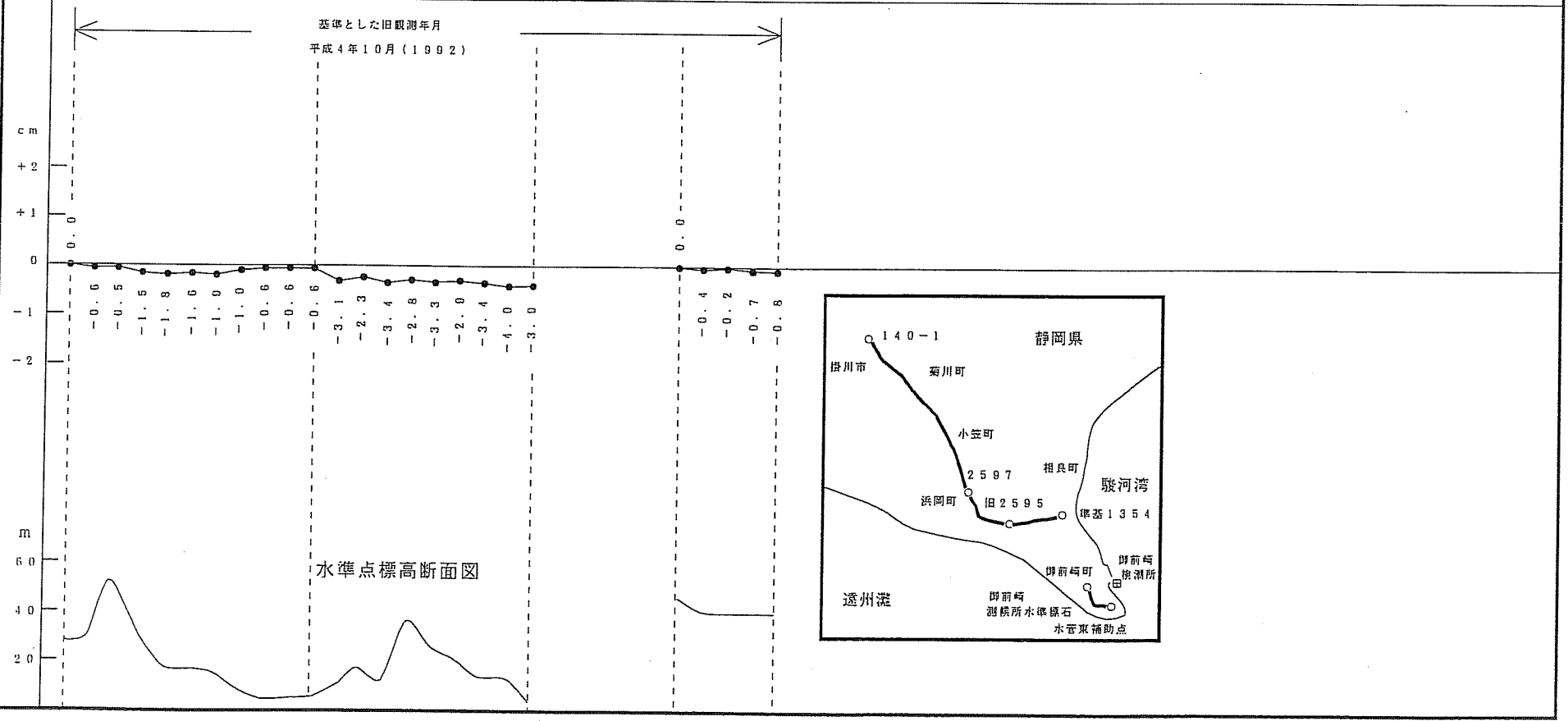
4-15-Ⅲ 自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡御前崎町 静岡県榛原郡御前崎町



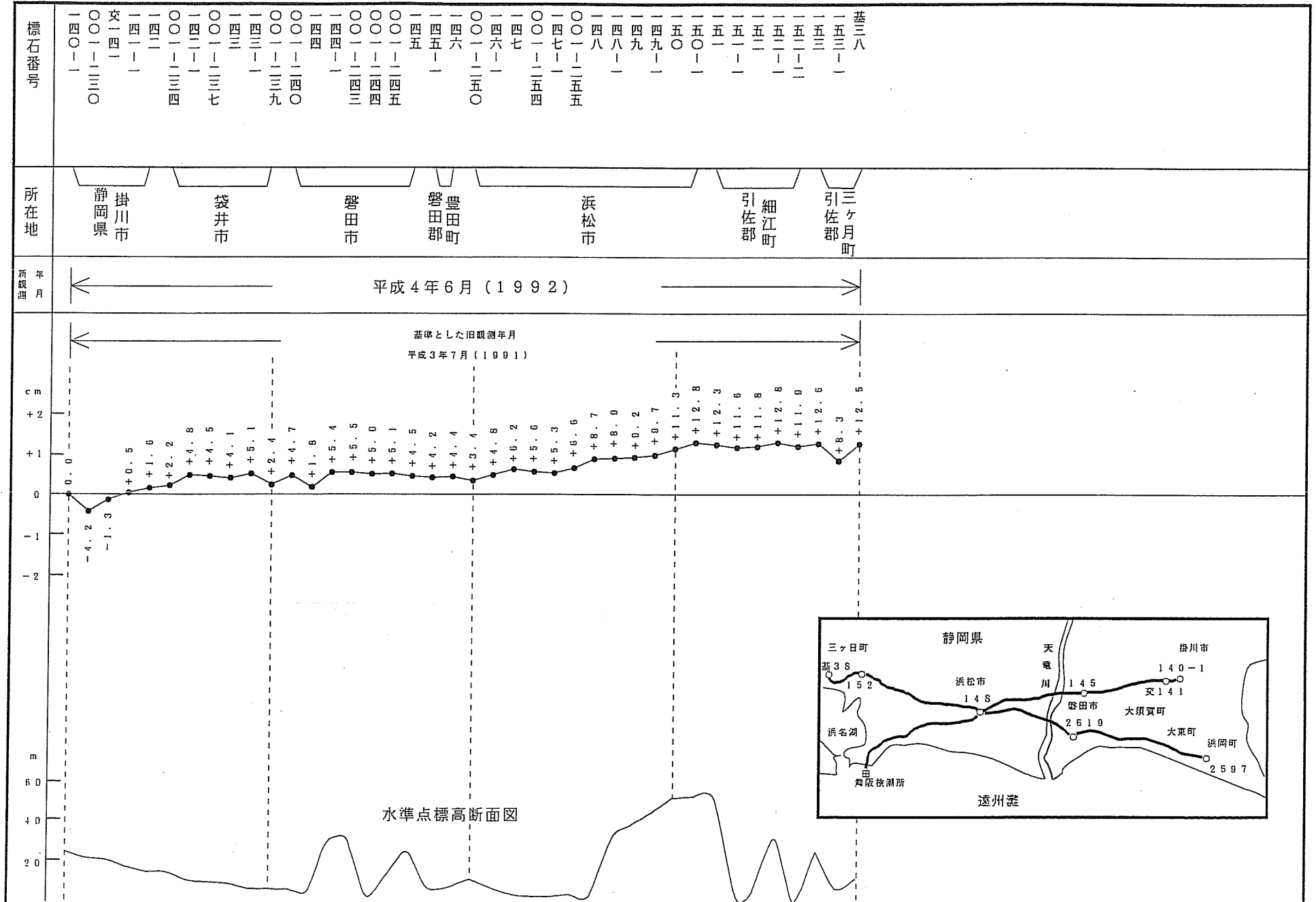
4-15-IV 自 静岡県掛川市 至 静岡県榛原郡相良町 静岡県榛原郡御前崎町

標石番号	一四〇一一 進基二一三〇	一六〇四 二六〇五	進基二二二九 二六〇三 二六〇四	二六〇〇 二六〇一 二五九九 二五九八 二五九七 二五九六 新二五九五	進基二二二八 二五九九 二五九八 新二五九五	進基一三五四 新二五九三 二五九四 進基一三五六 旧二五九五	水管東補助点 長距離水管傾斜計E 長距離水管傾斜計W 水管固定 御前崎測候所水準標石
所在地	静岡県 掛川市	小笠郡 菊川町	小笠町	浜岡町	相良町 榛原郡	御前崎町 榛原郡	

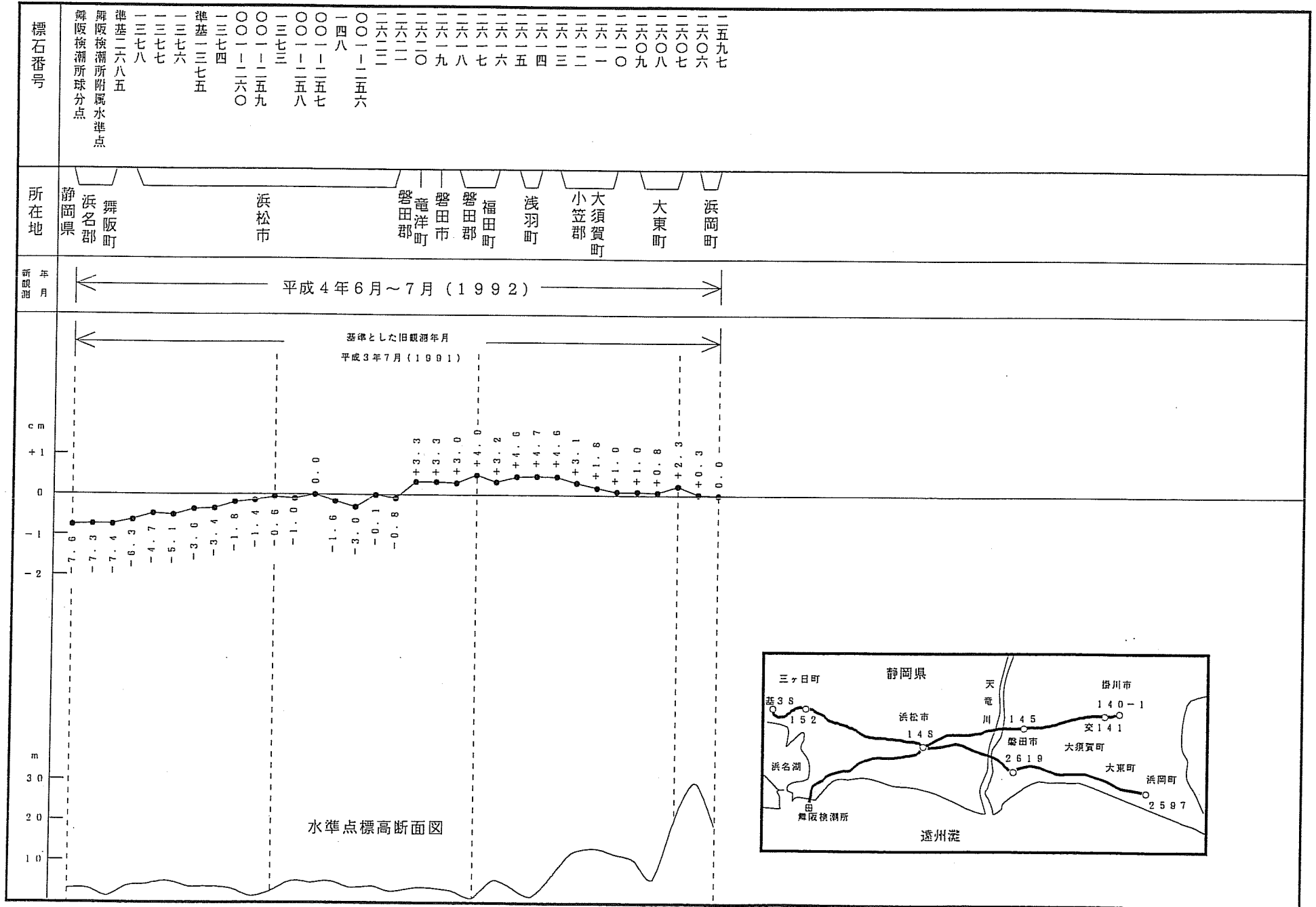
新設年月 平成5年1月(1993)



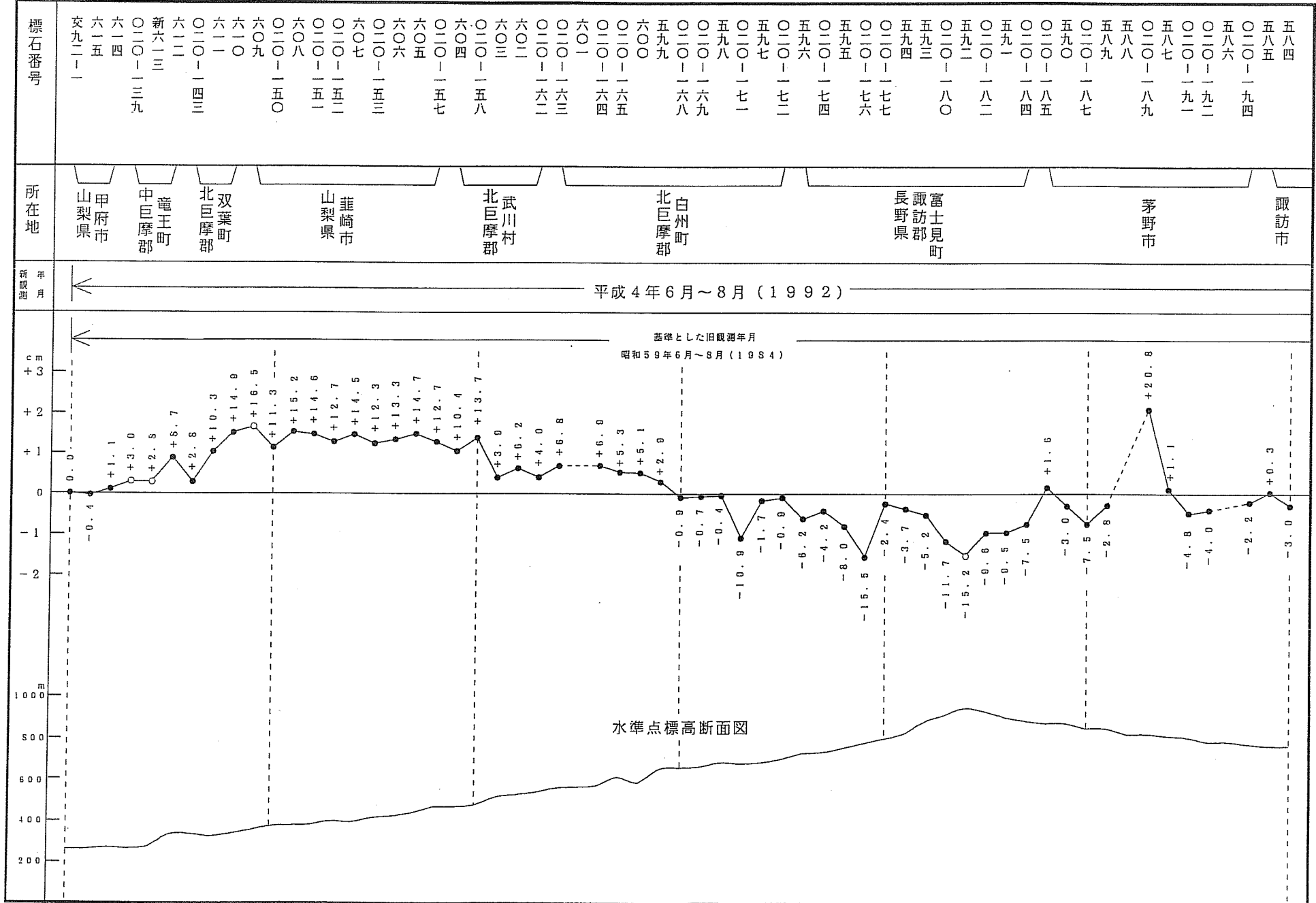
4-16-I 自 静岡県掛川市 至 引佐郡三ヶ日町



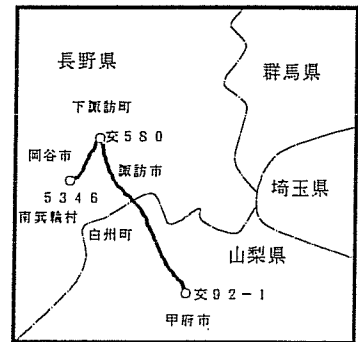
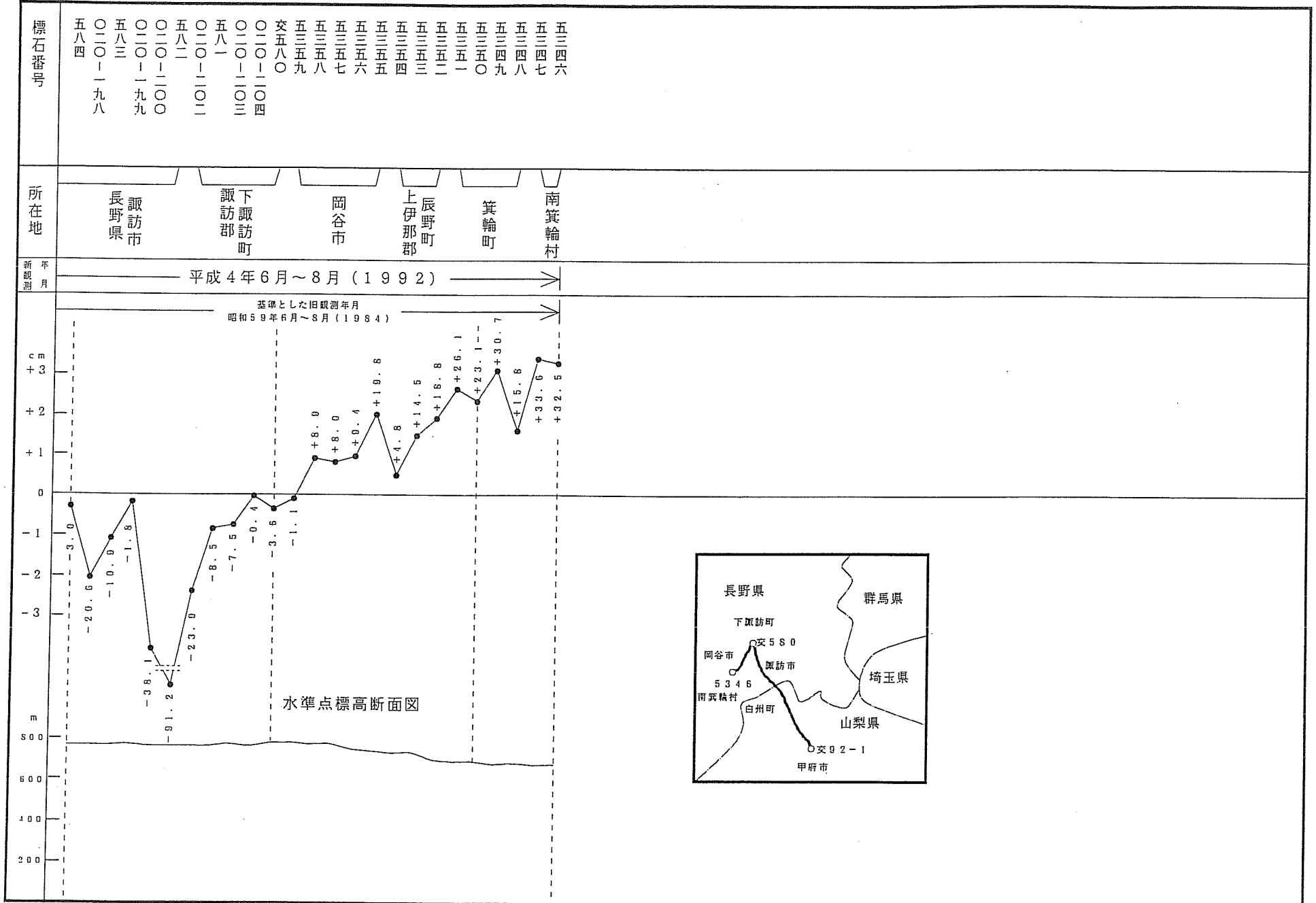
4-16-II 自 静岡県浜名郡舞阪町 至 静岡県小笠郡浜岡町



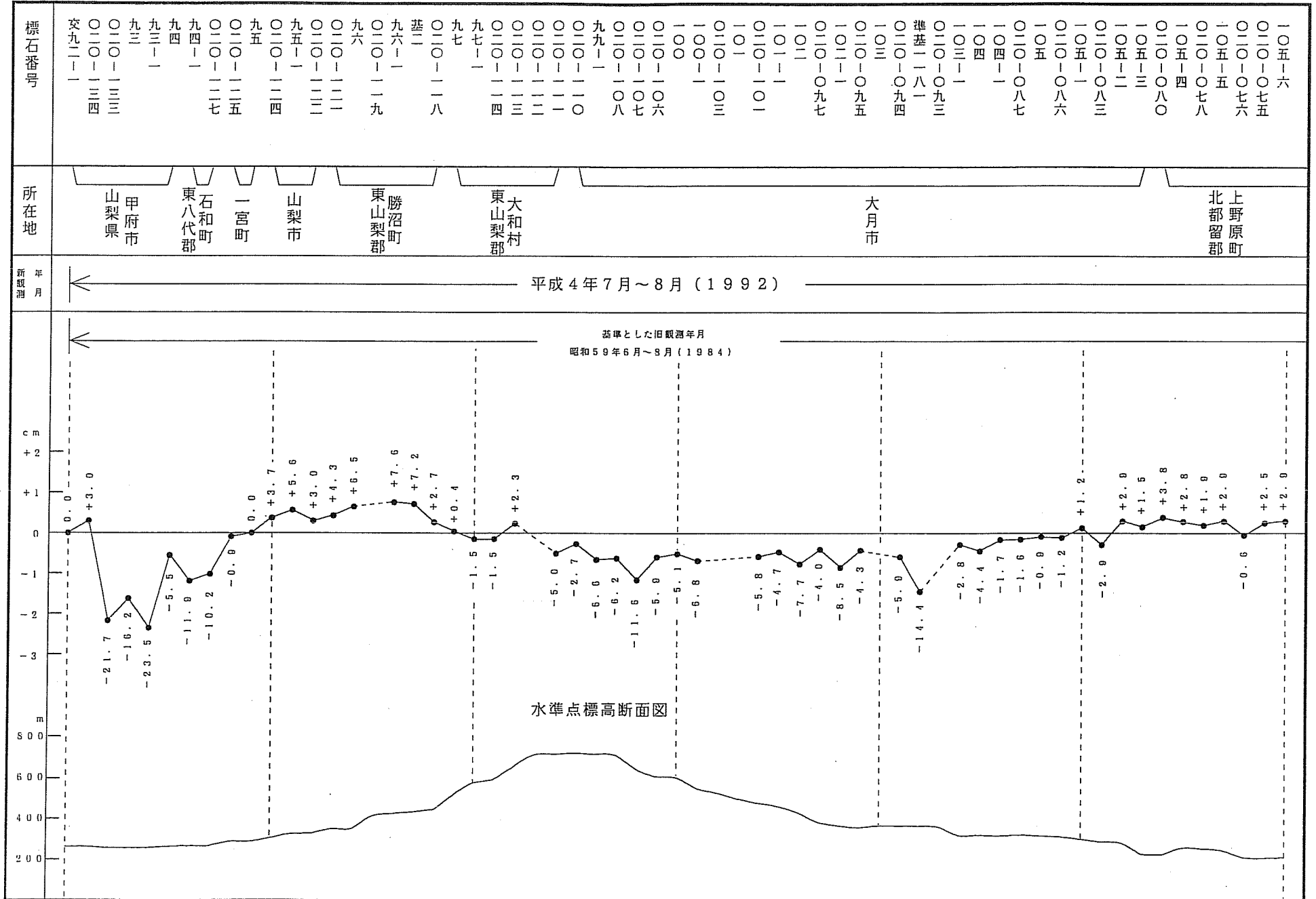
4-17-I 自 山梨県甲府市 至 長野県諏訪郡下諏訪町



4-17-I 自 山梨県甲府市 至 長野県諏訪郡下諏訪町



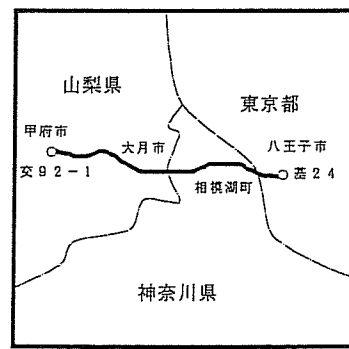
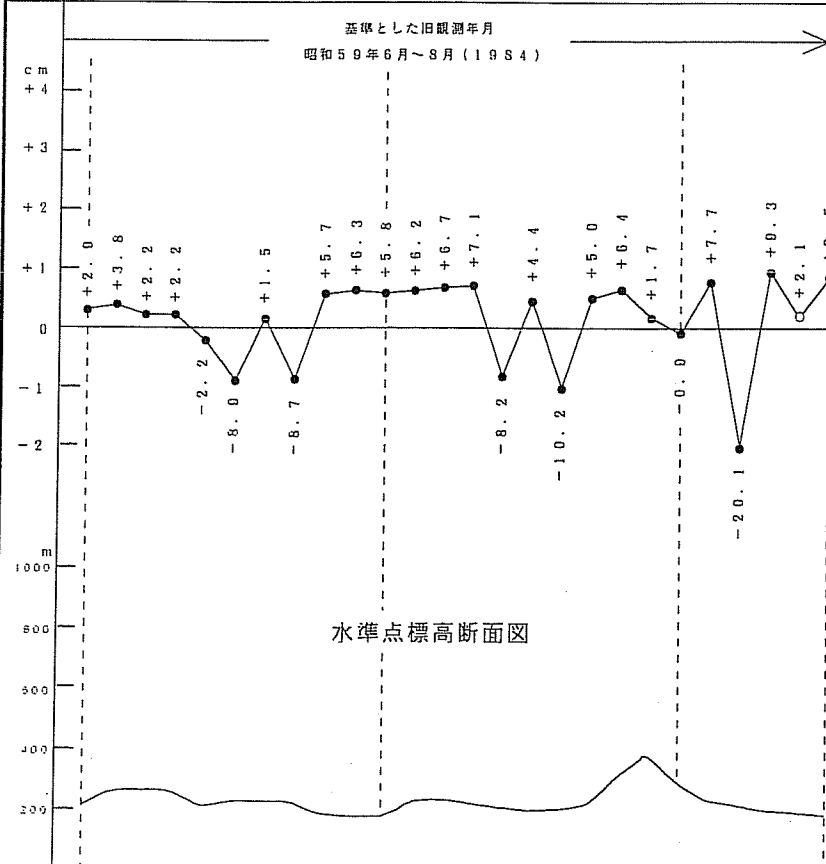
4-17-II 自 山梨県甲府市 至 東京都八王子市



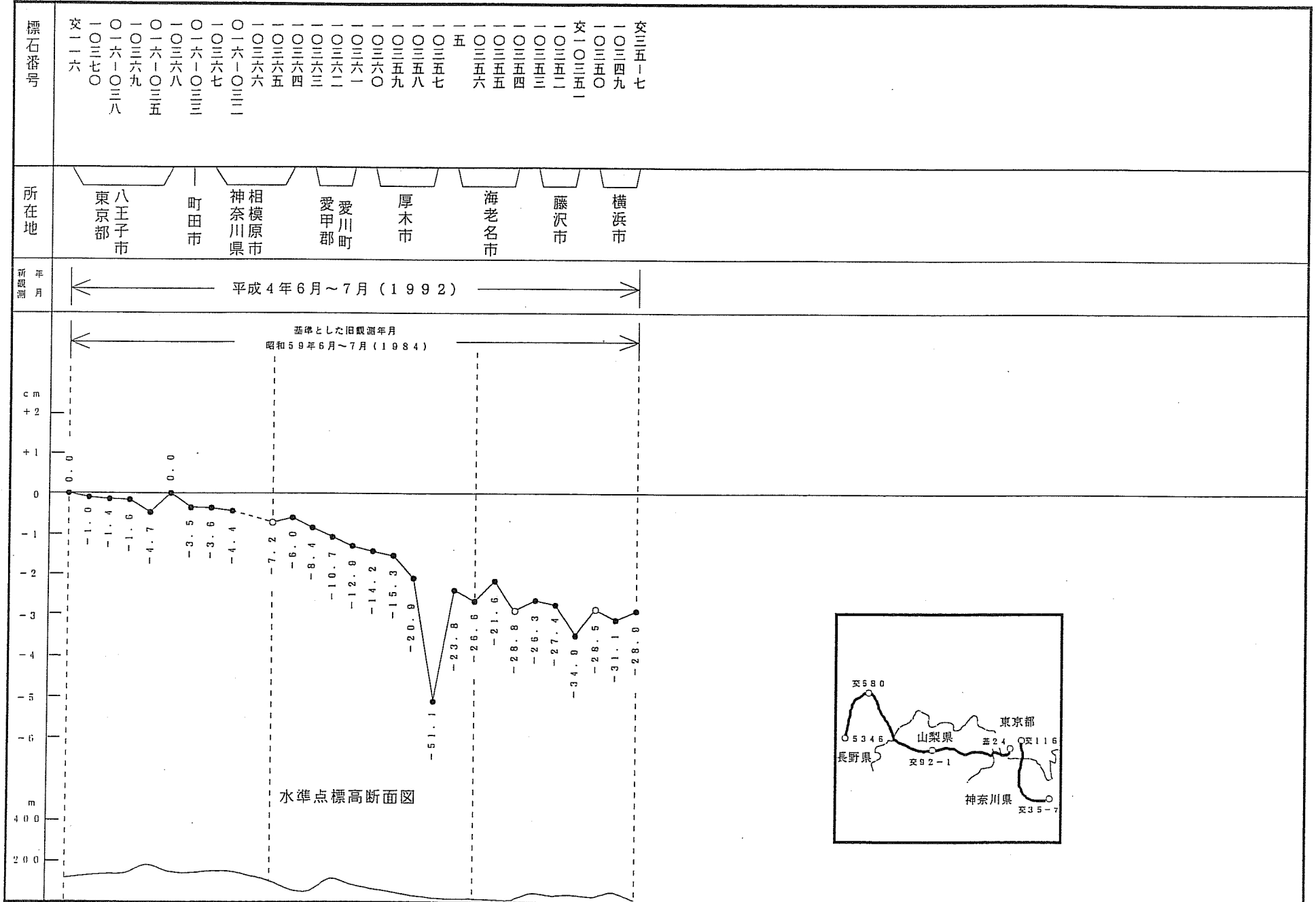
4-17-II 自 山梨県甲府市 至 東京都八王子市

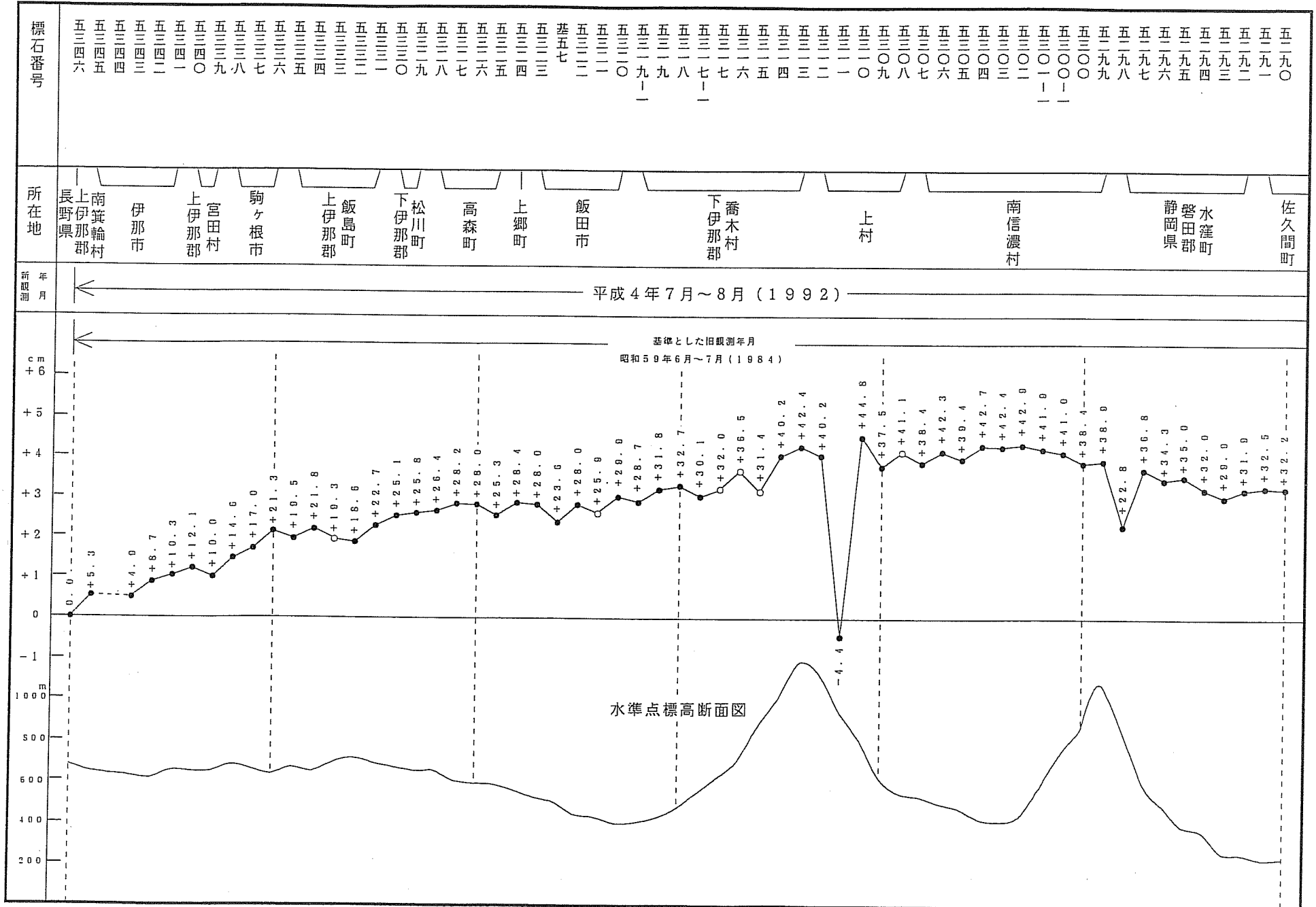
標石番号	一〇五—六 二〇一—七 一〇五—七 二〇二—七 一〇五—八 二〇二—七 一〇五—九 一〇一—〇 二〇二—六 一〇一—一 二〇二—六 一〇一—二 一〇一—三 二〇二—三 一〇一—六 一〇一—四 二〇二—六 一〇一—五 一〇一—六 一〇一—七 一〇一—八 〇二〇—五 〇二〇—三	八王子基準点	基一四 一一〇一九	
所在地	北上都野留原郡	神津藤奈久野川井町	相模湖町	東京都八王子市

新設測 年月 平成4年7月~8月(1992)

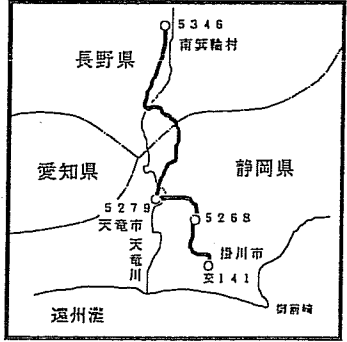
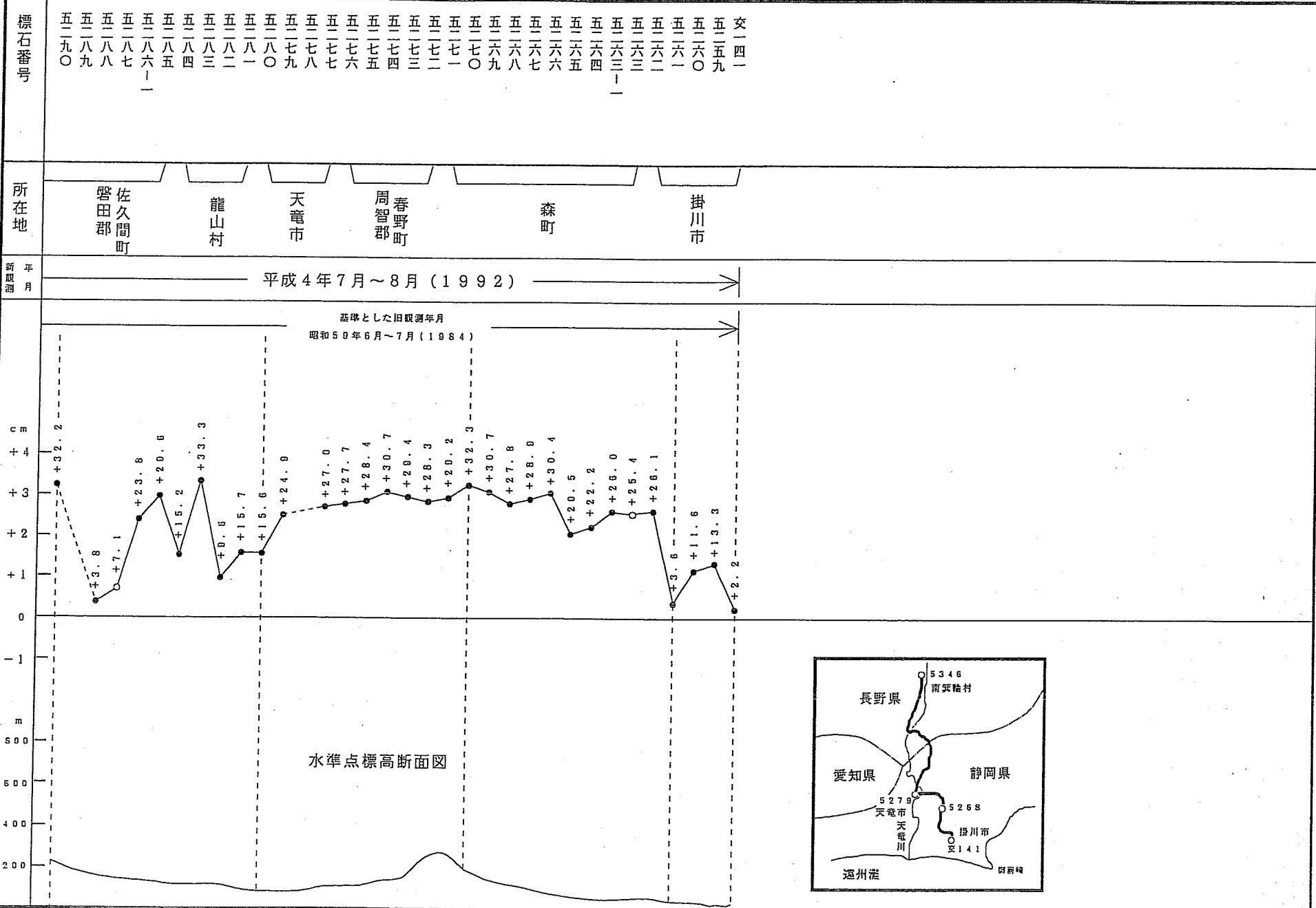


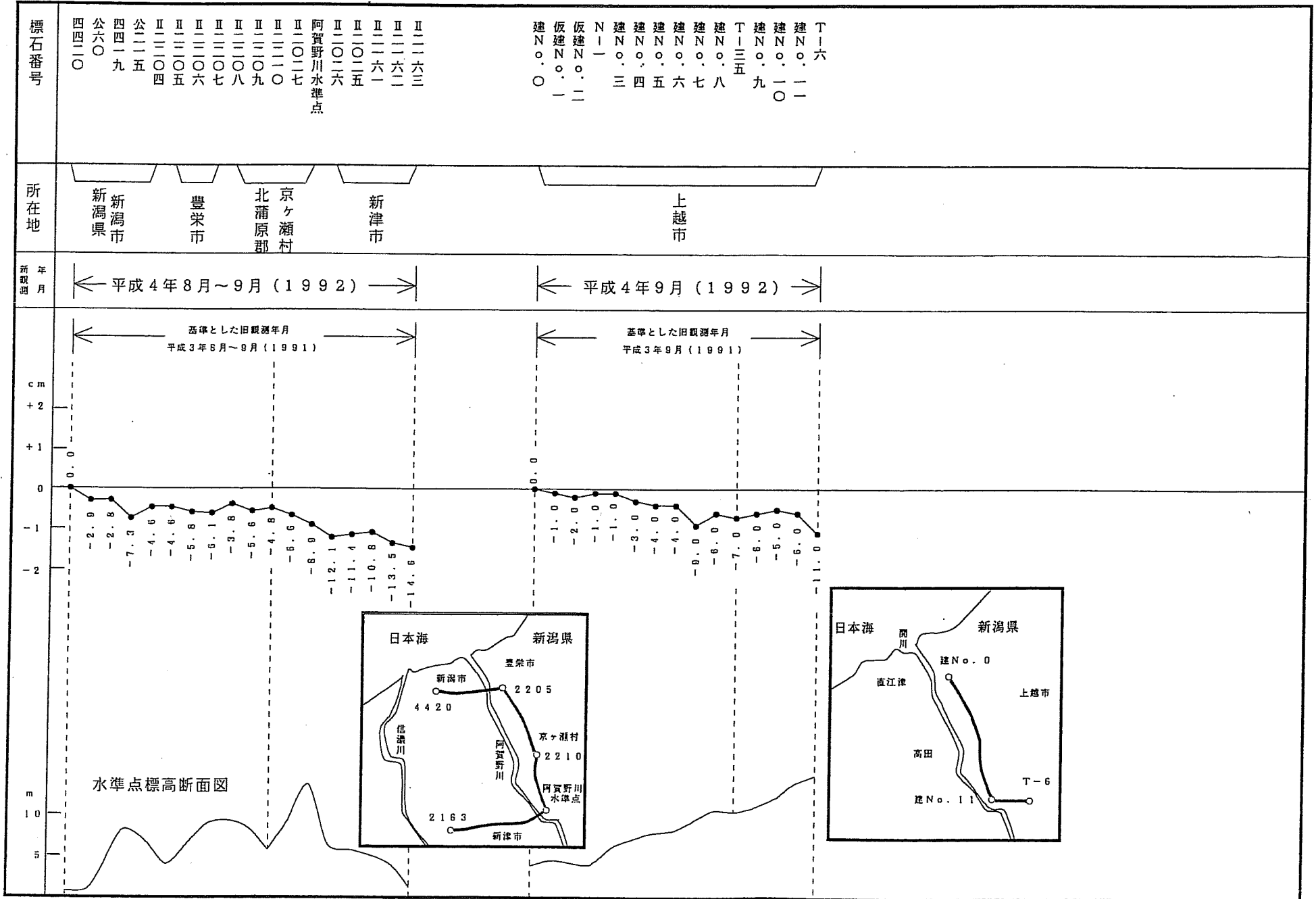
4-17-III 自 東京都八王子市 至 神奈川県横浜市

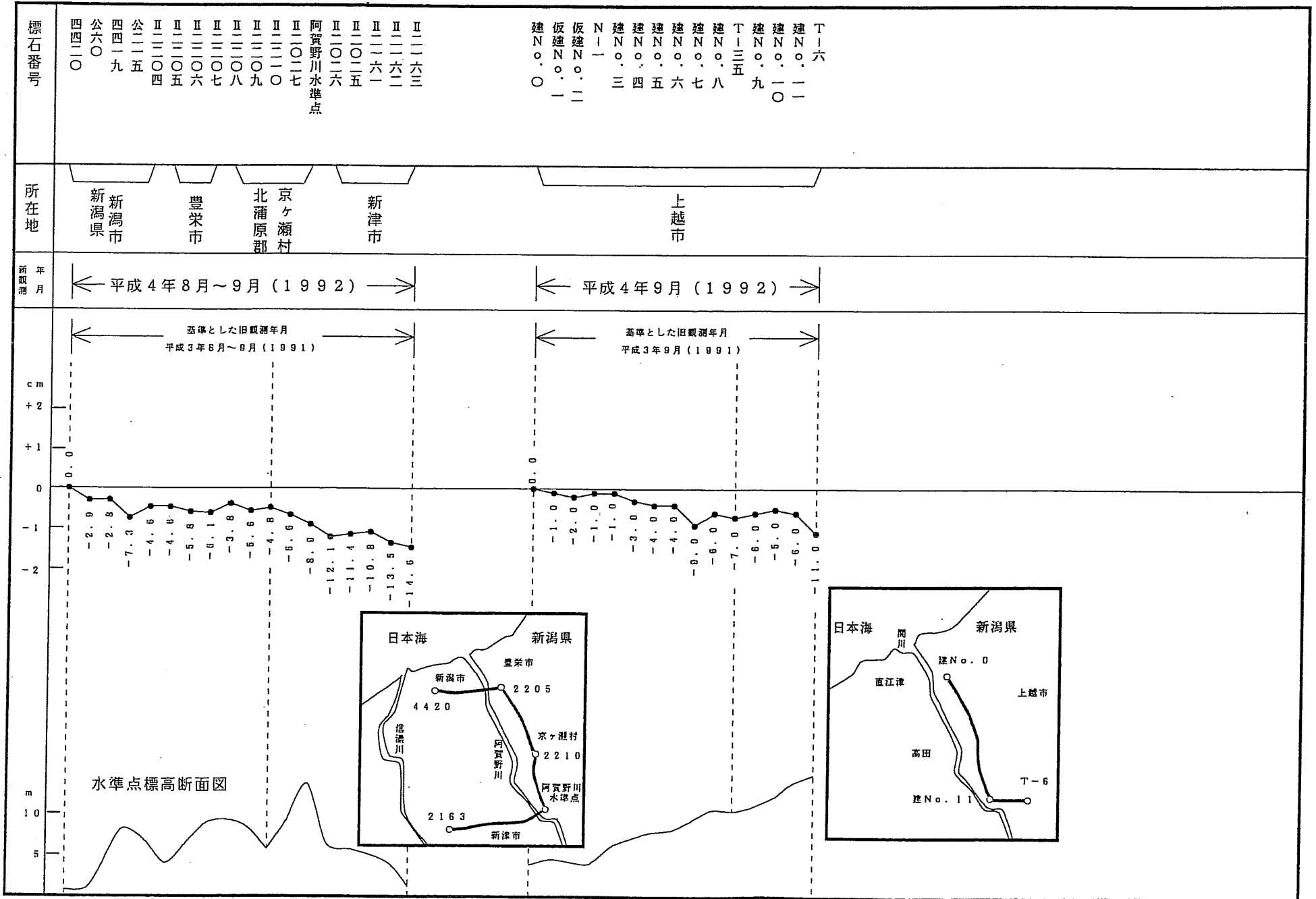




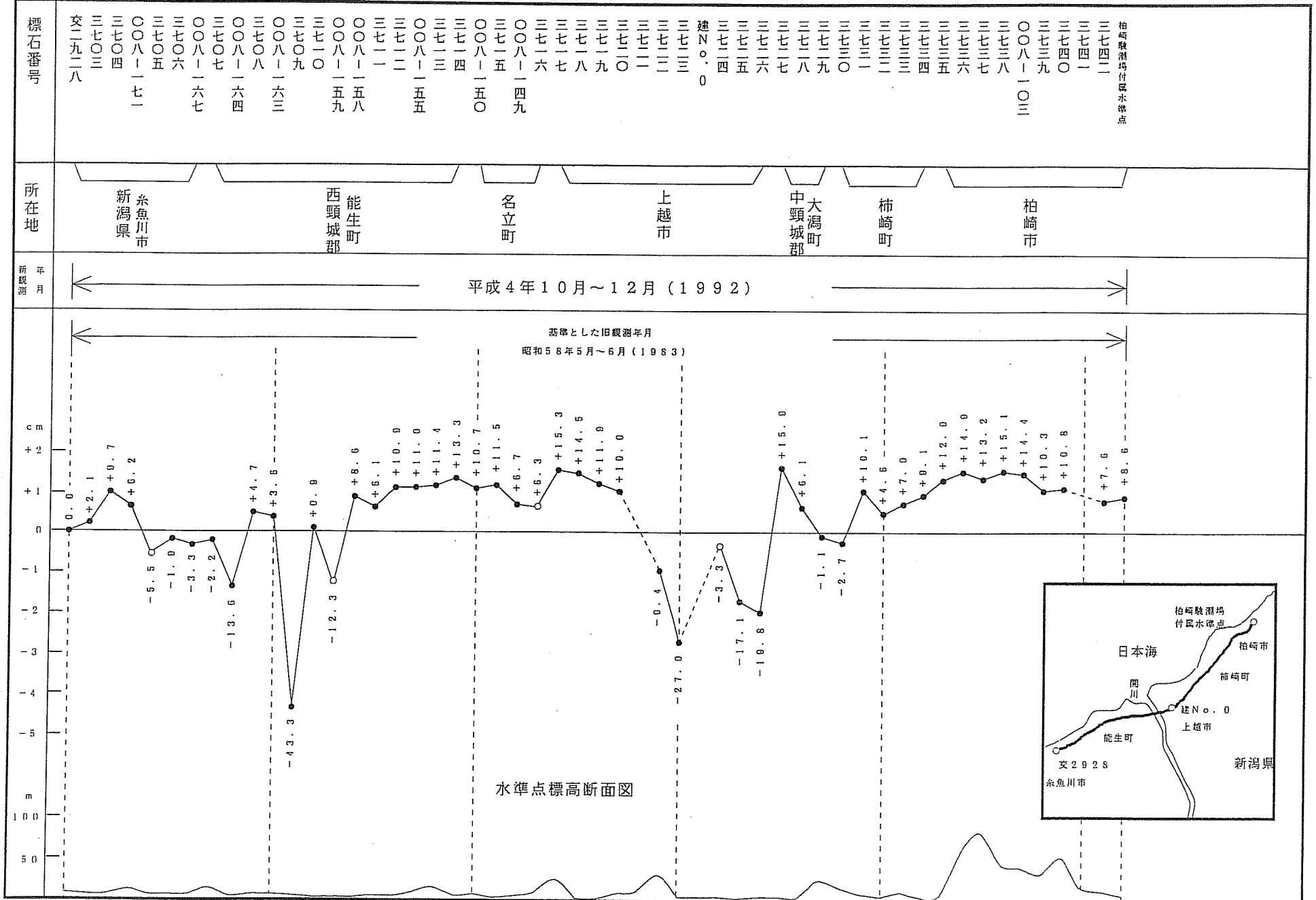
4-18 自 長野県上伊那郡南箕輪村 至 静岡県掛川市



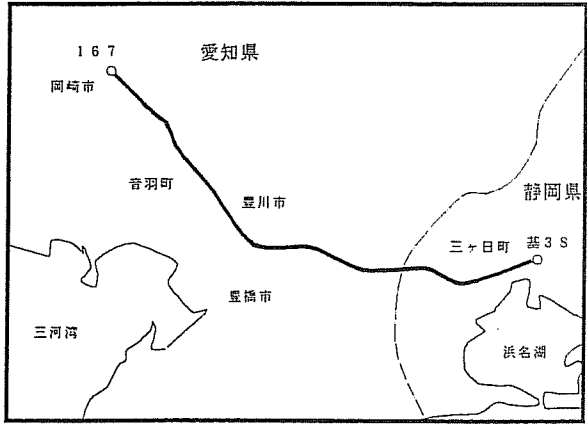
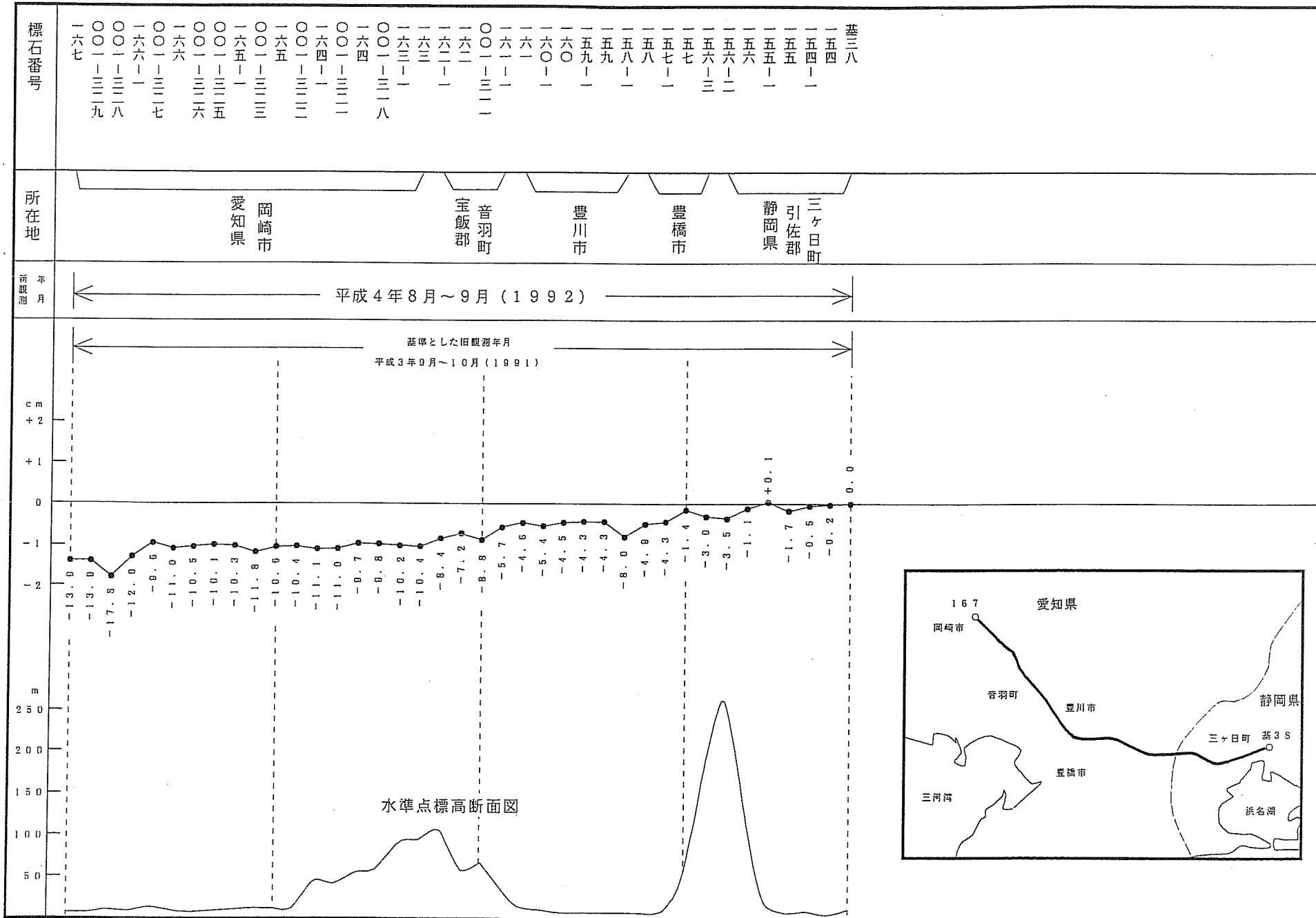


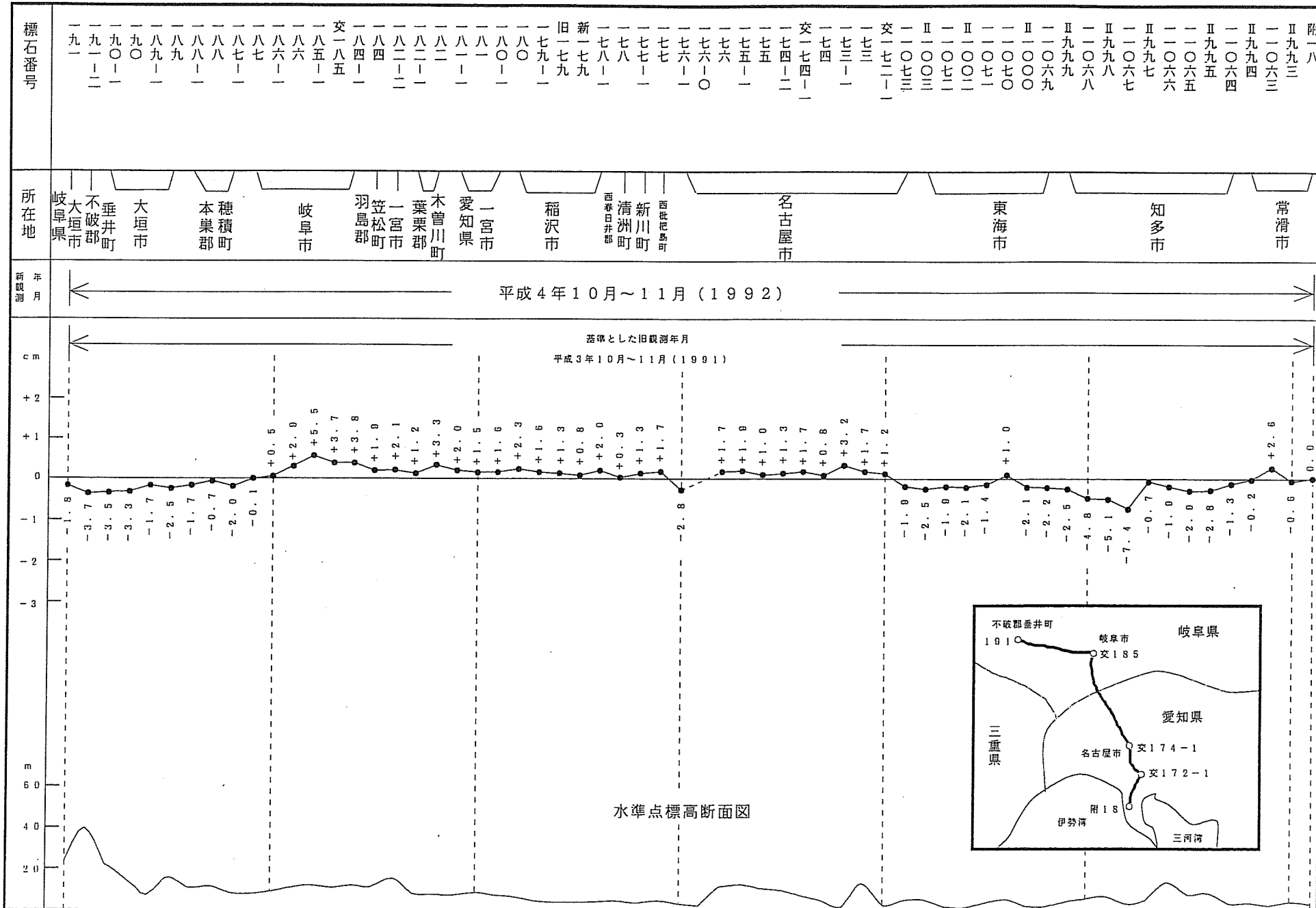


4-19-II 自 新潟県糸魚川市 至 新潟県柏崎市

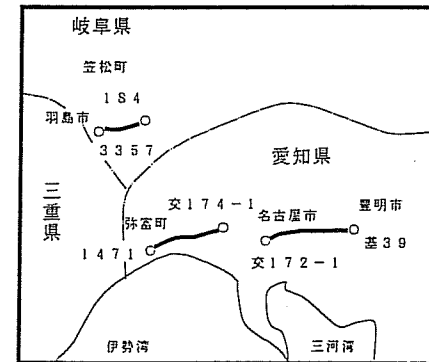
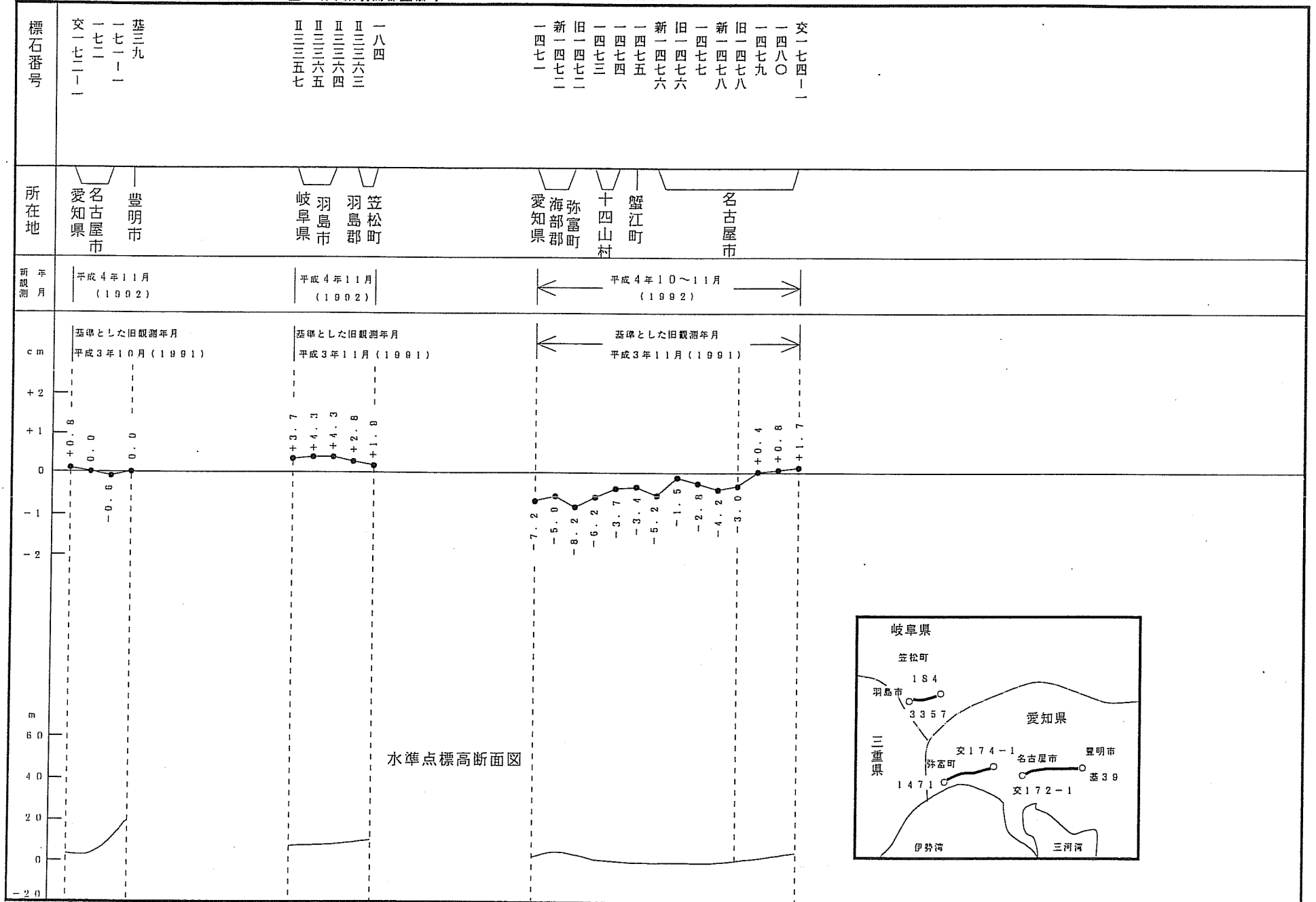


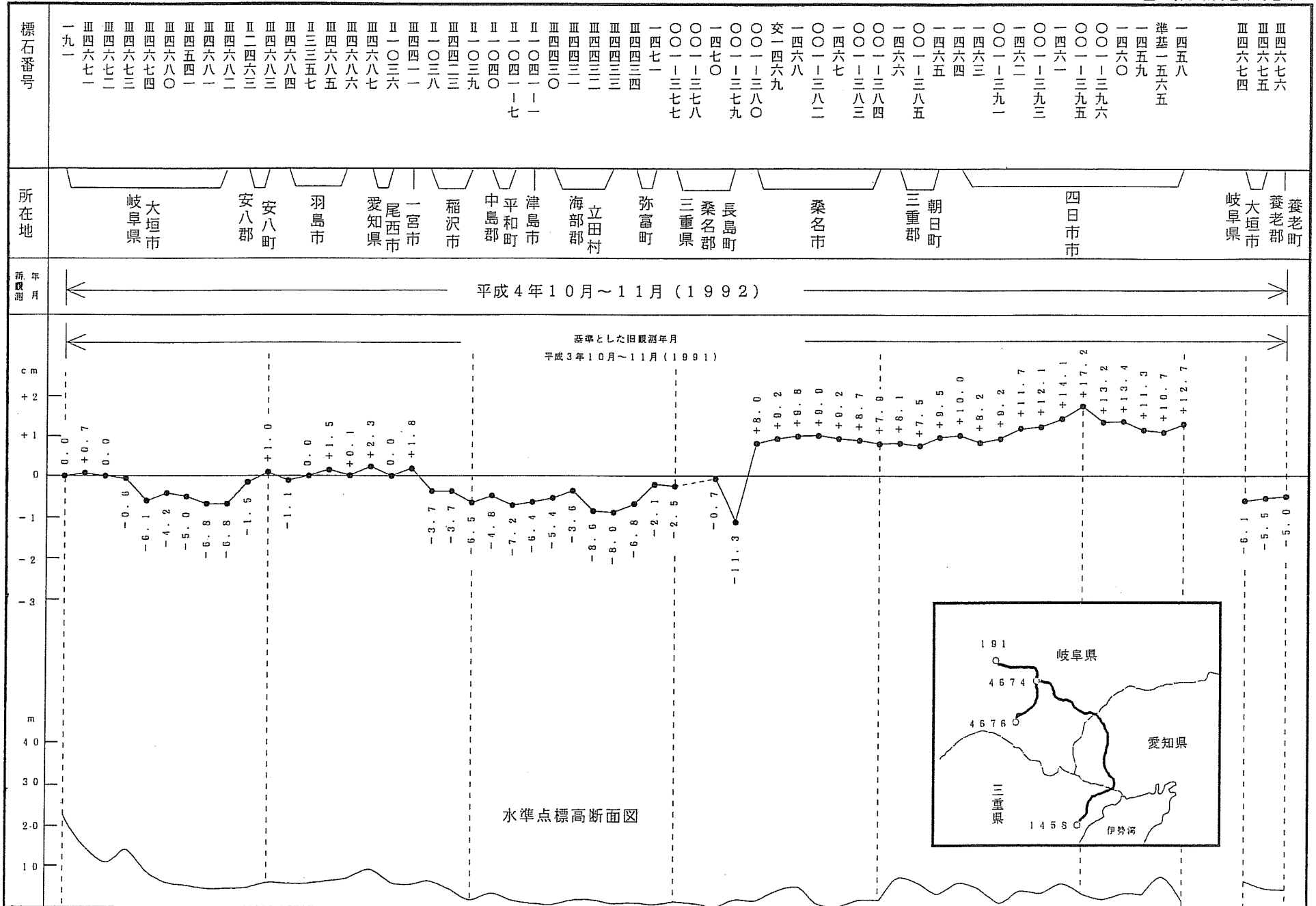
4-20 自 愛知県岡崎市 至 静岡県引佐郡三ヶ日町



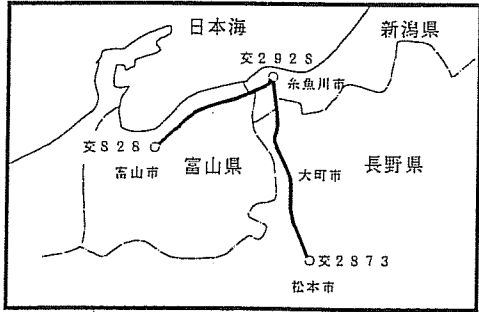
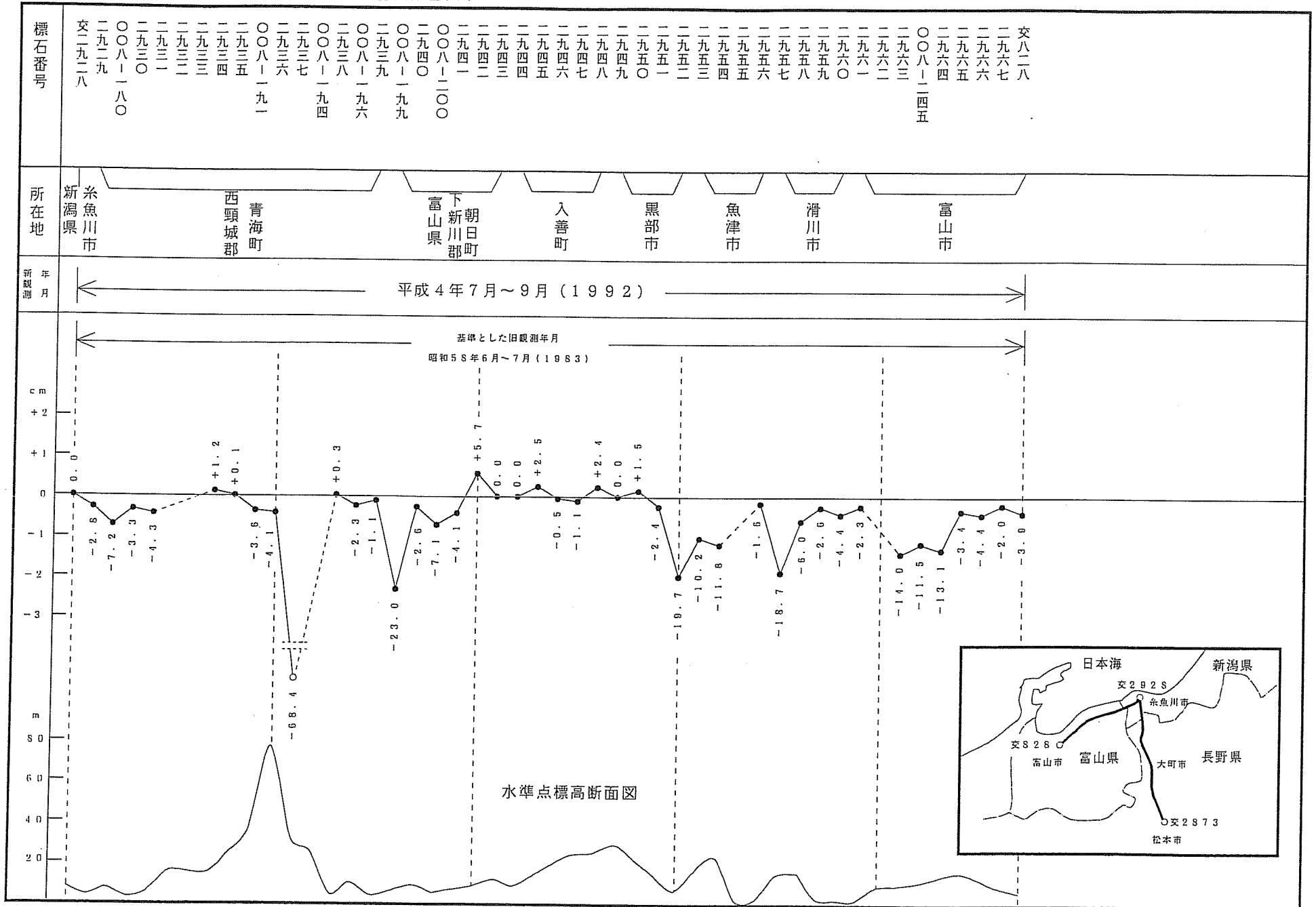


4-21-II 自 愛知県名古屋市 豊明市 自 岐阜県羽島市 笠松町 自 愛知県海部郡弥富町 愛知県名古屋市

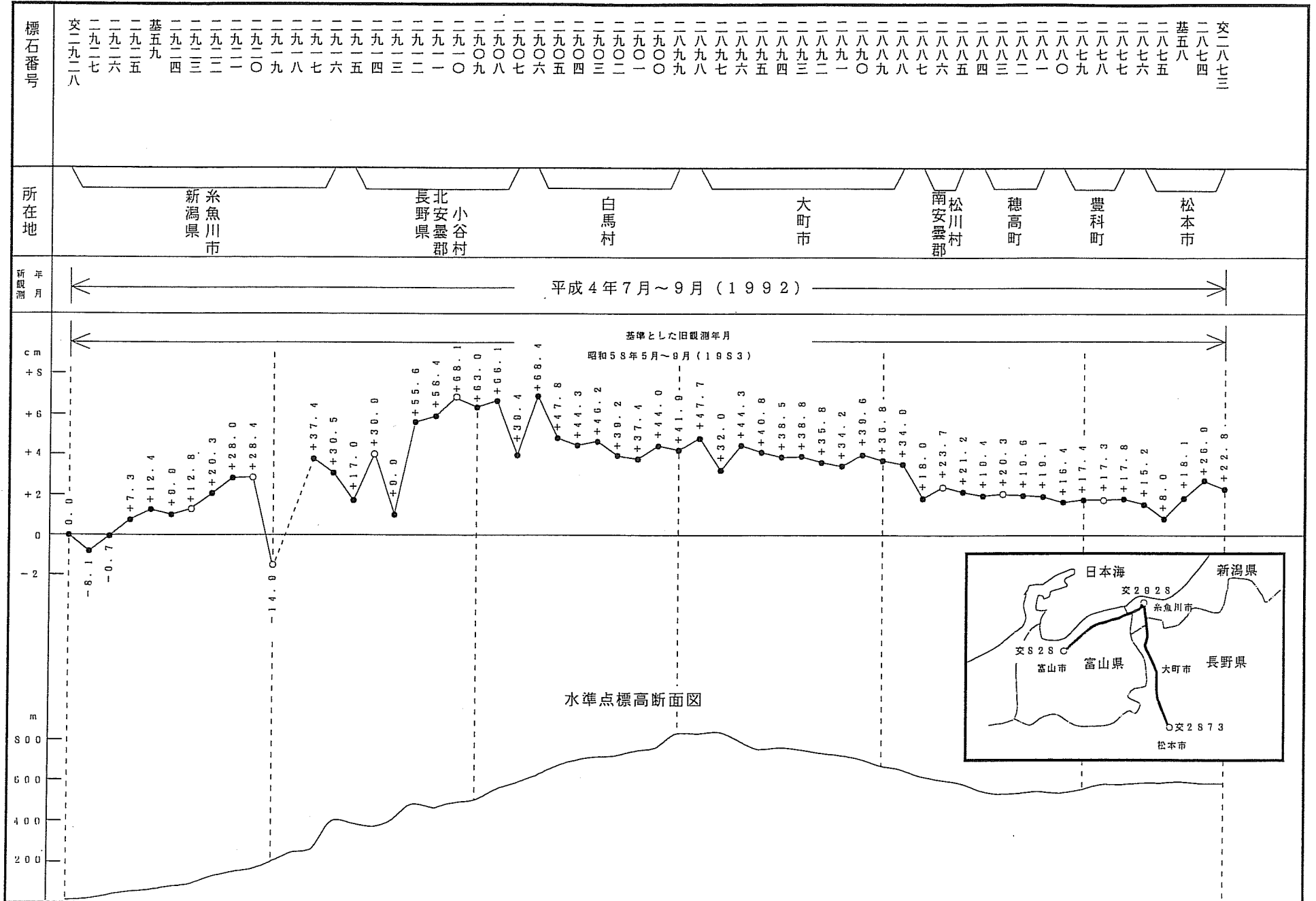




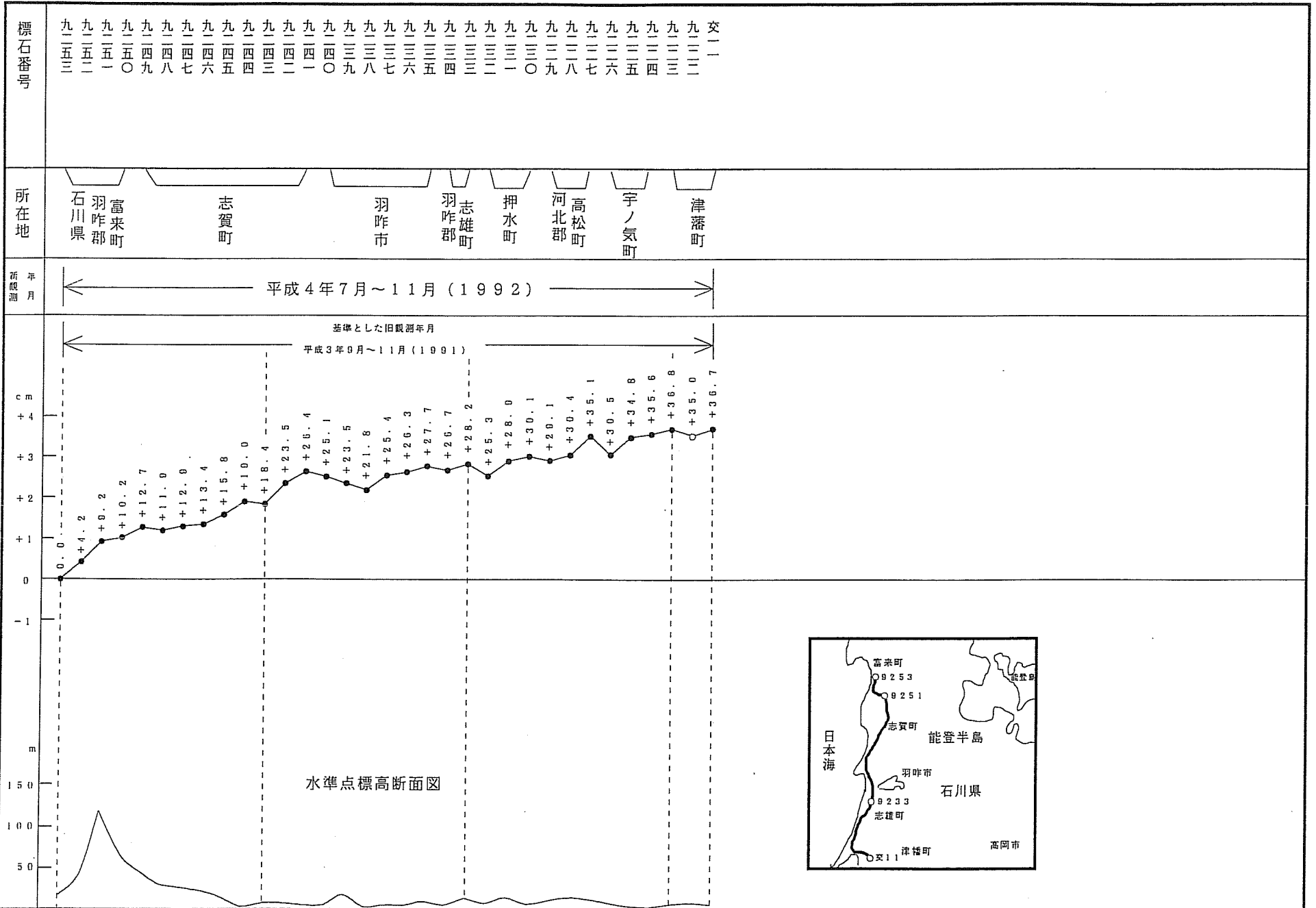
4-22-I 自 新潟県糸魚川市 至 富山県富山市

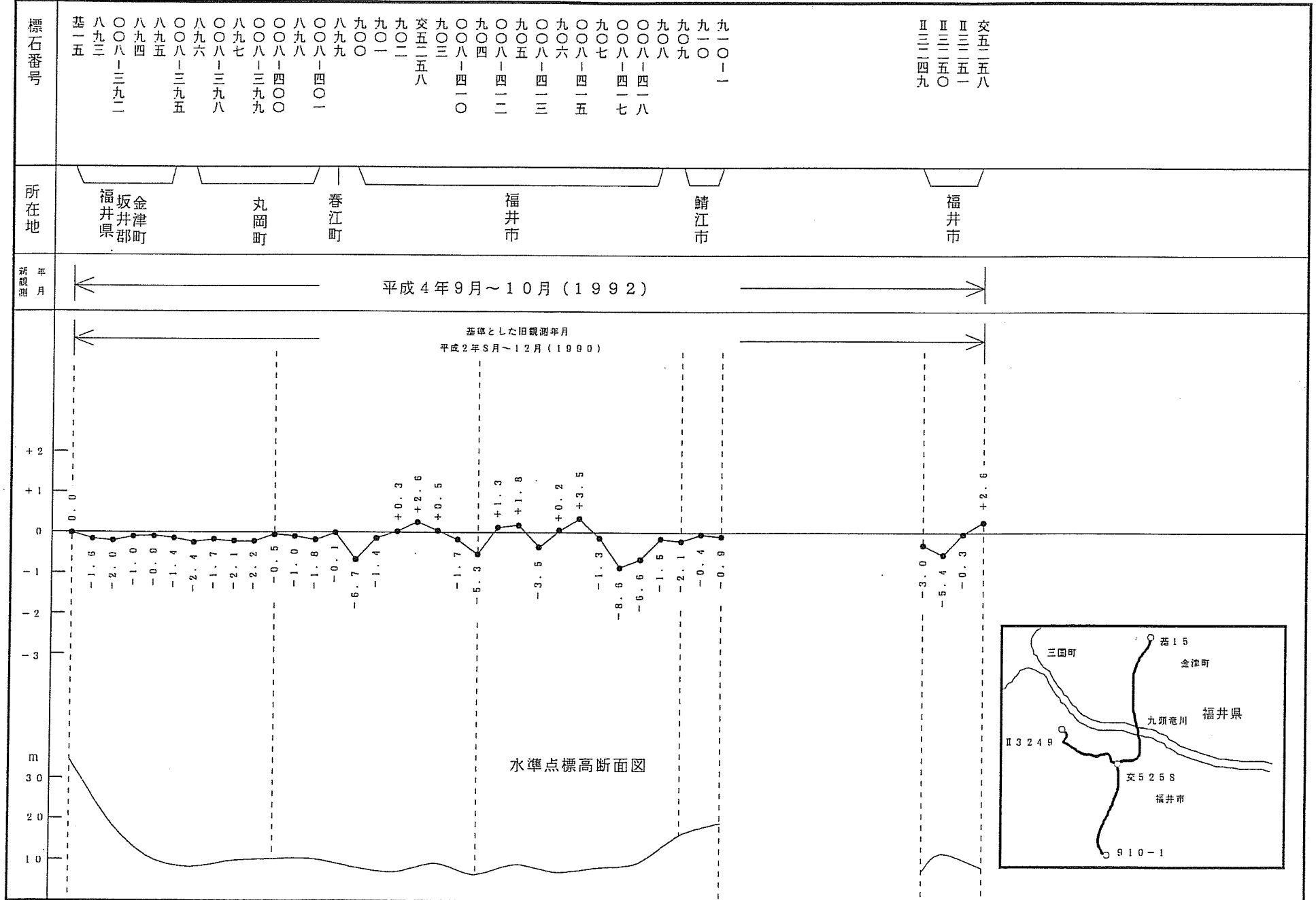


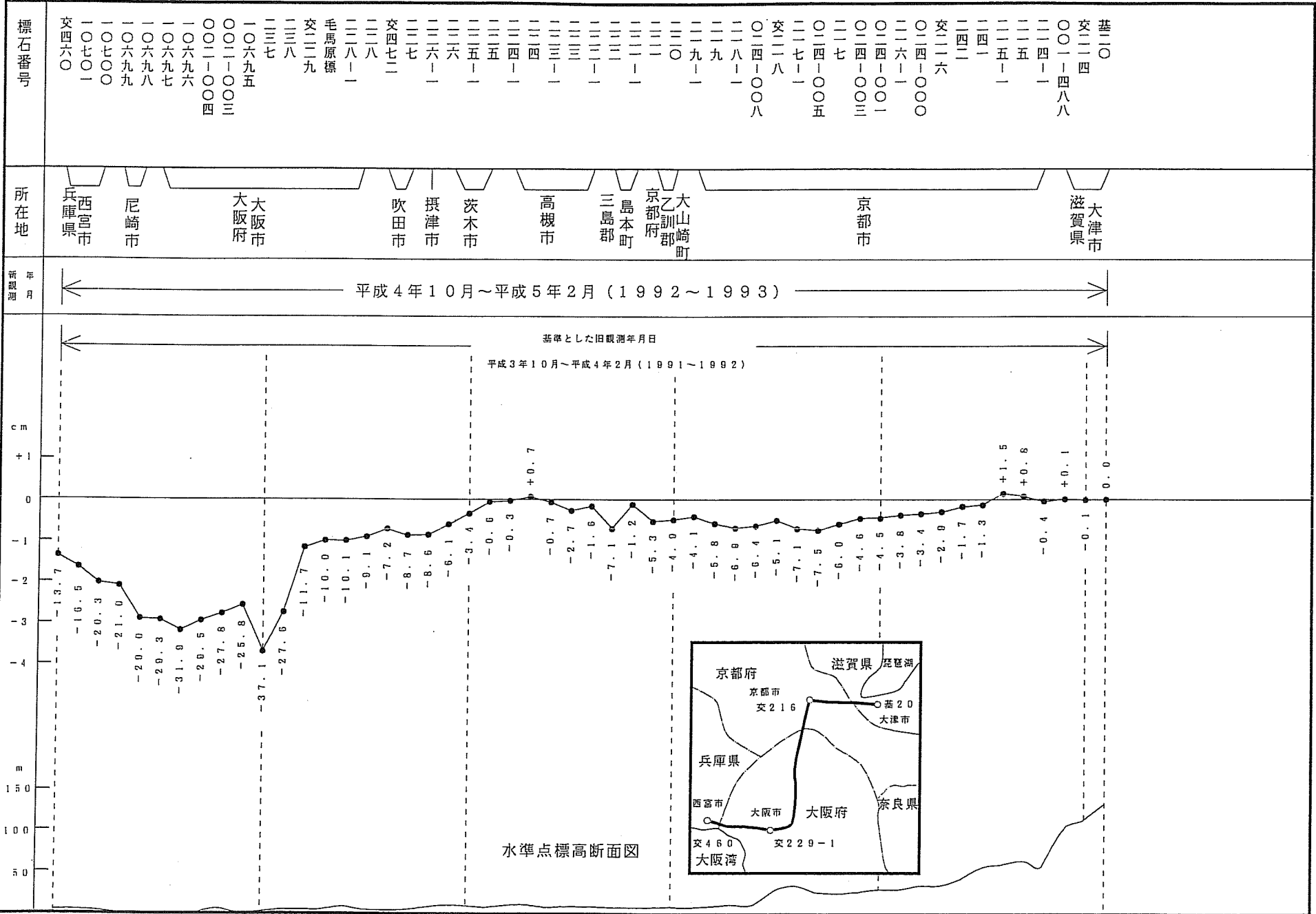
4-22-II 自 新潟県糸魚川市 至 長野県松本市

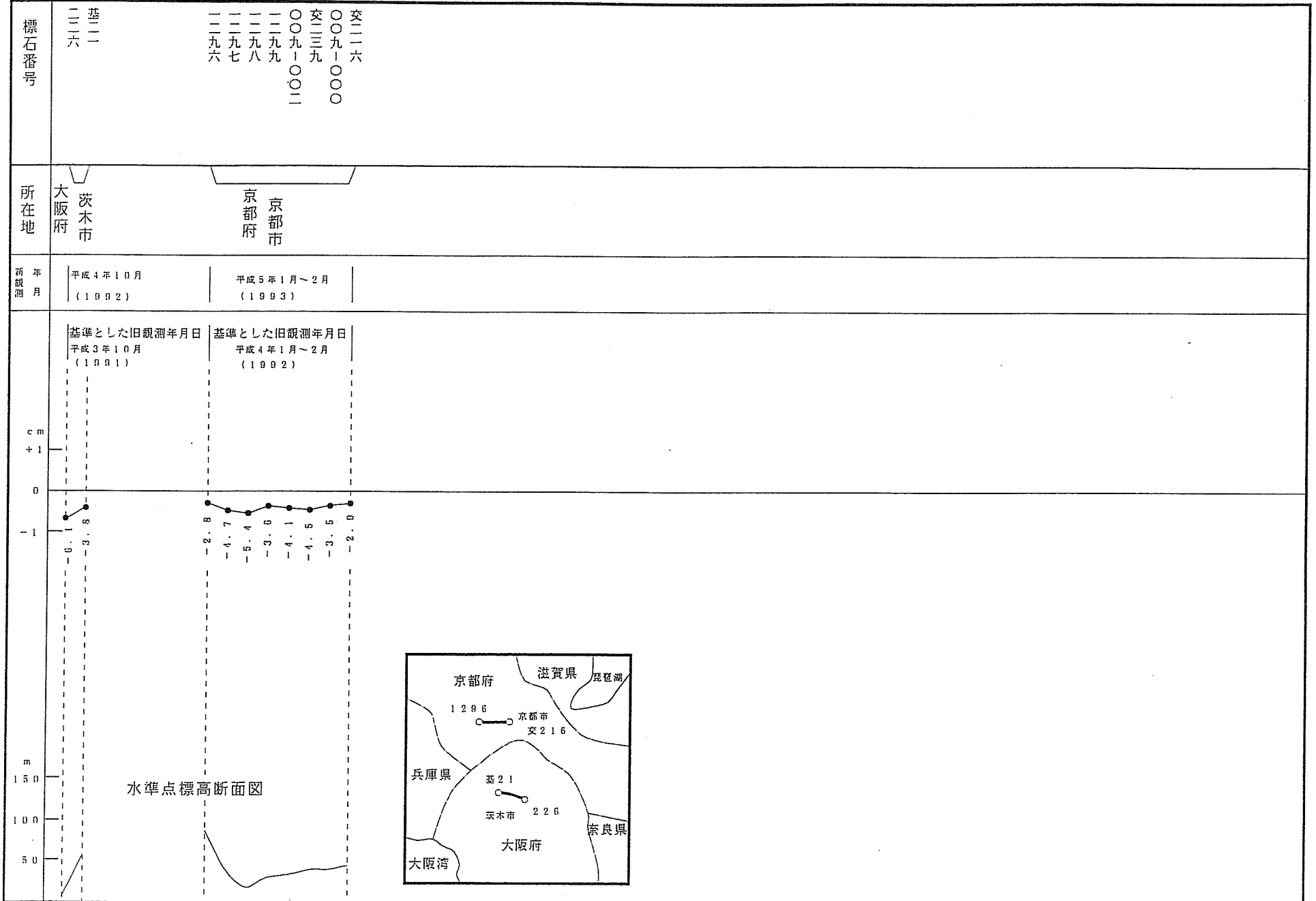


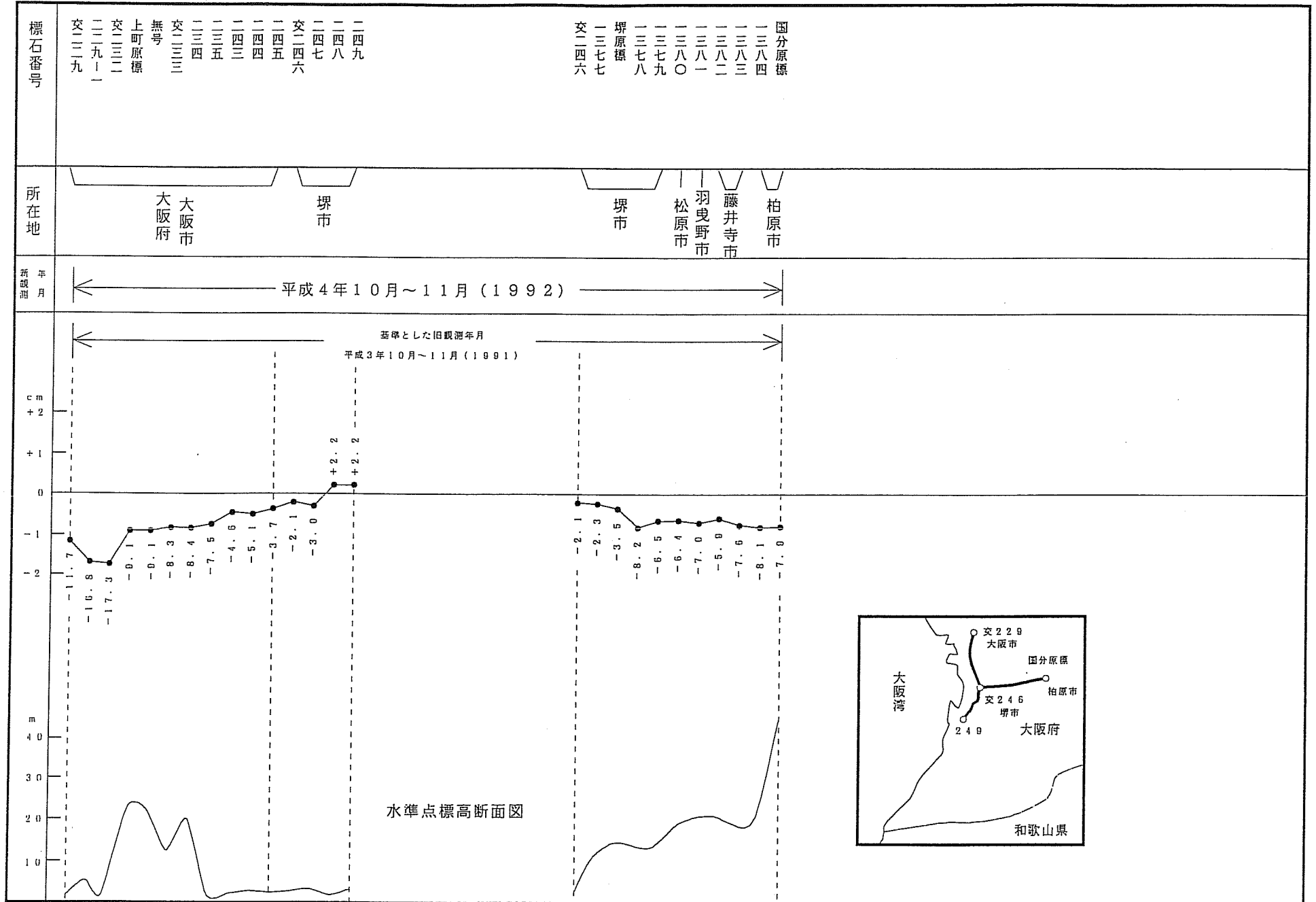
4-23 自 石川県羽咋郡富来町 至 石川県河北郡津幡町

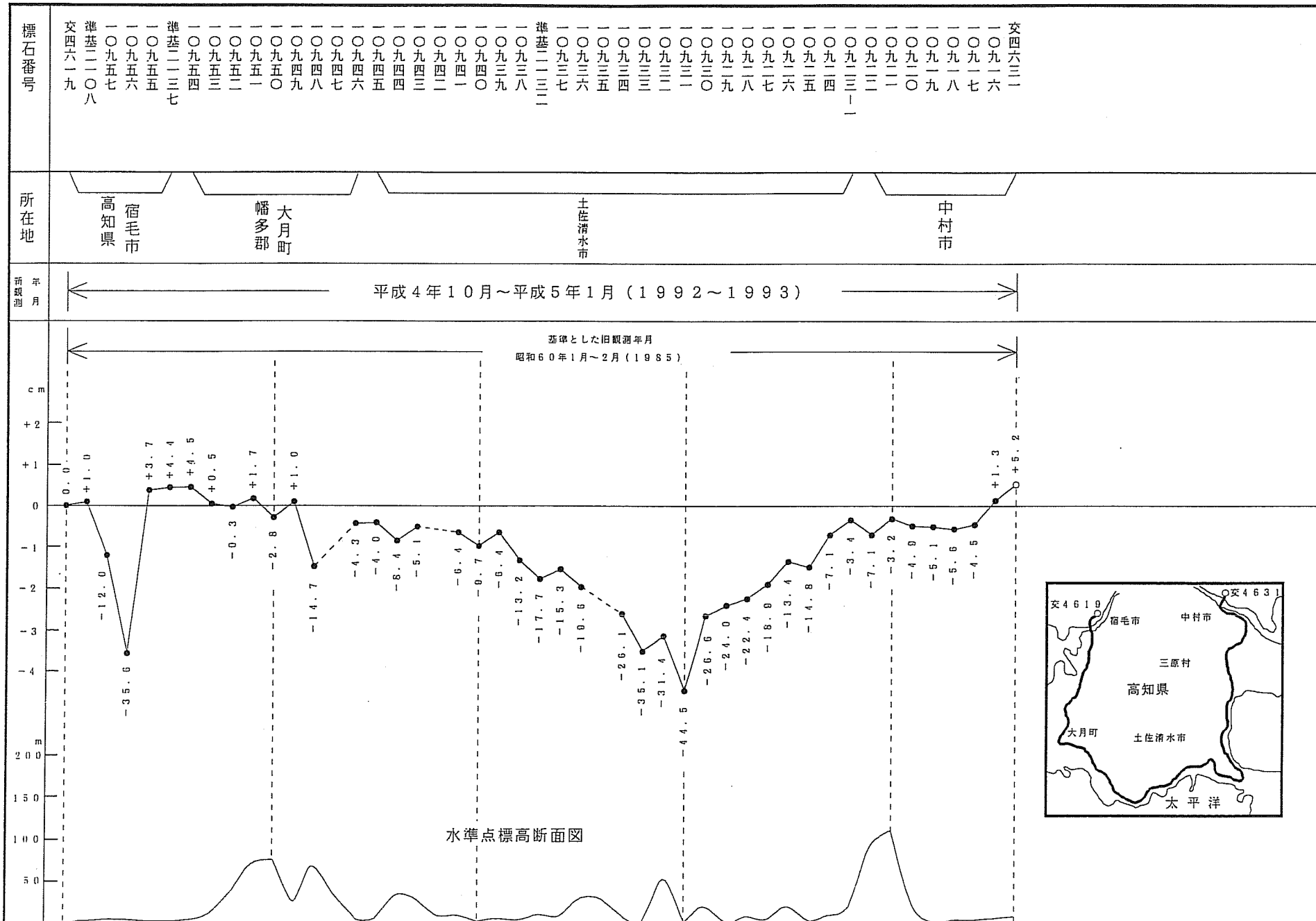


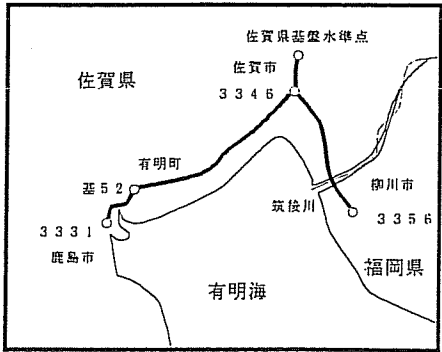
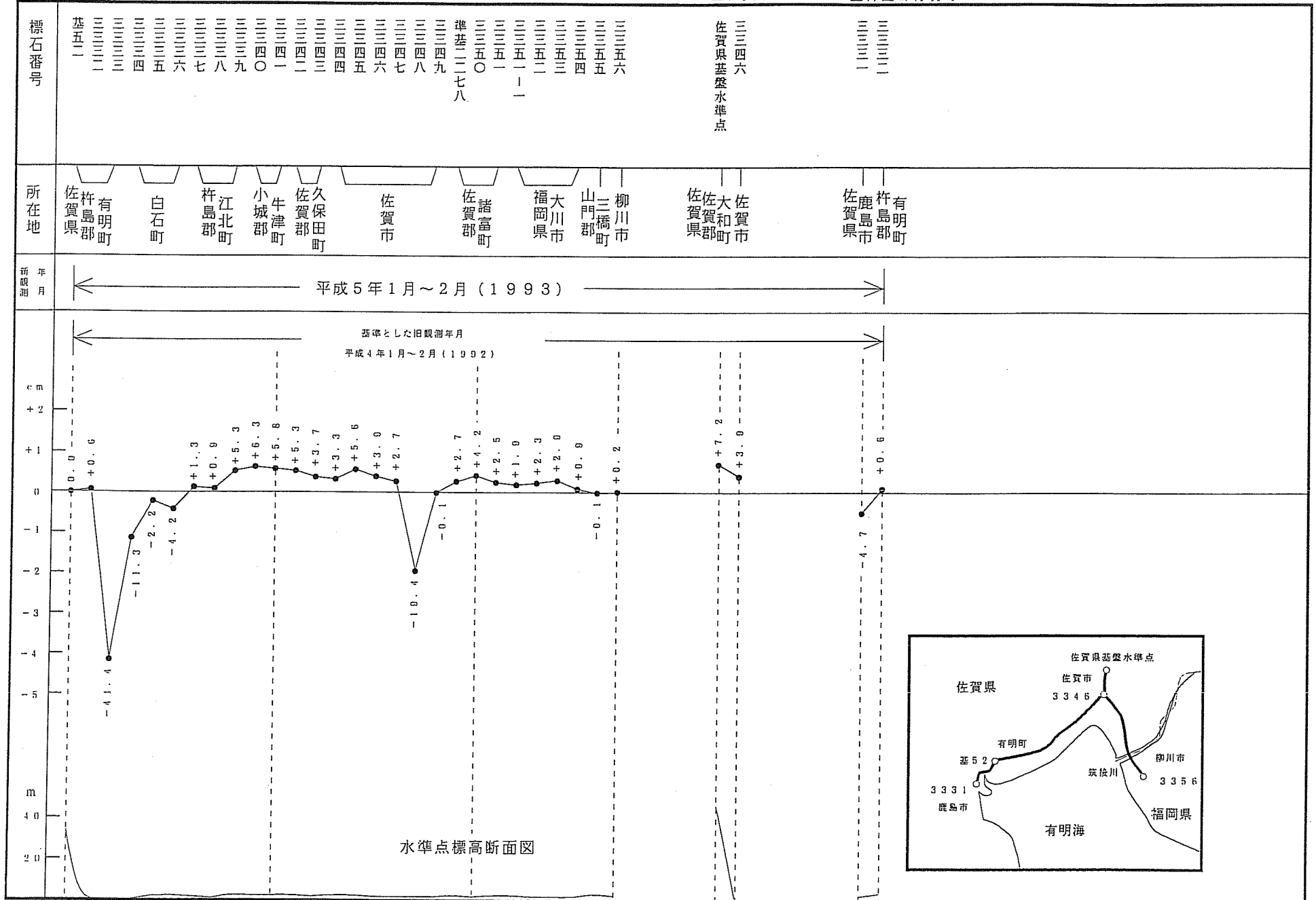




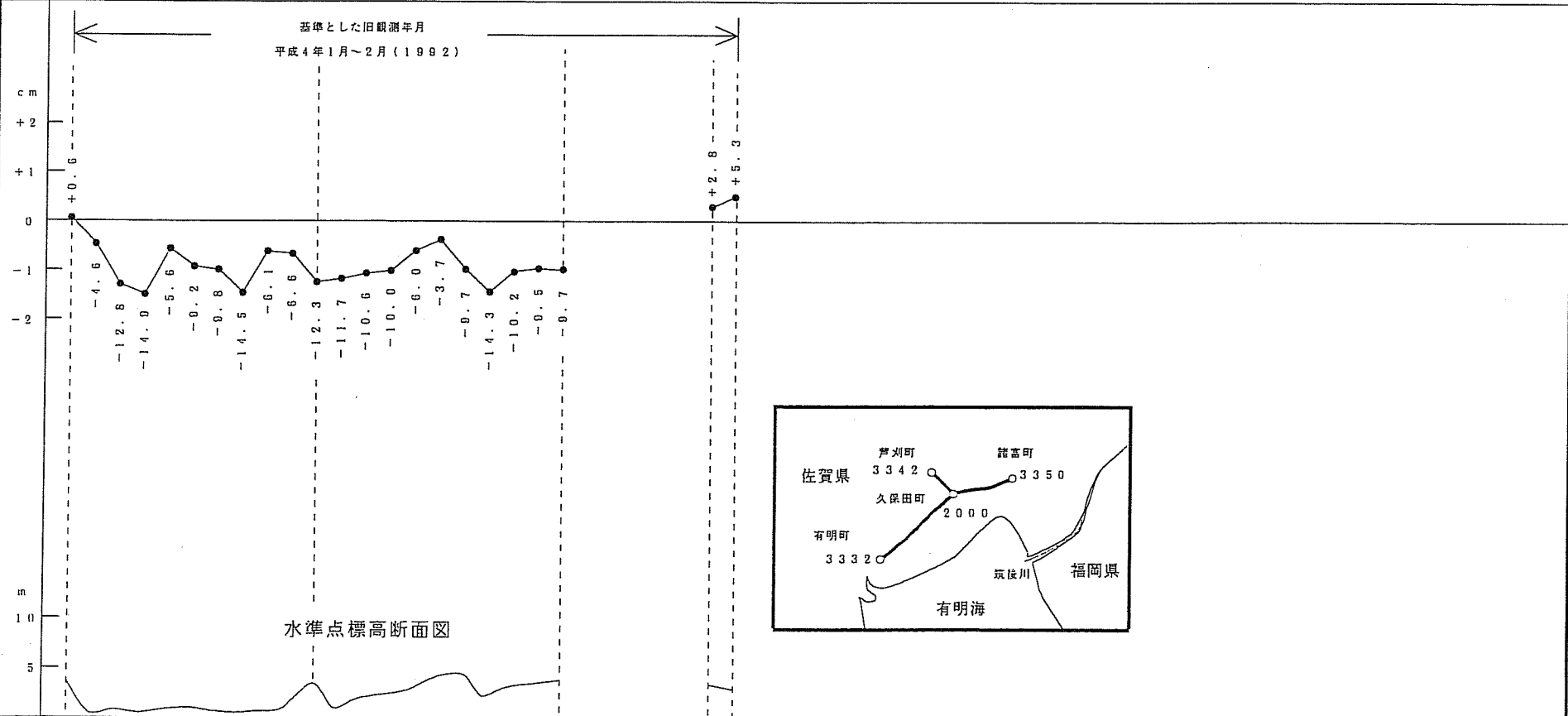




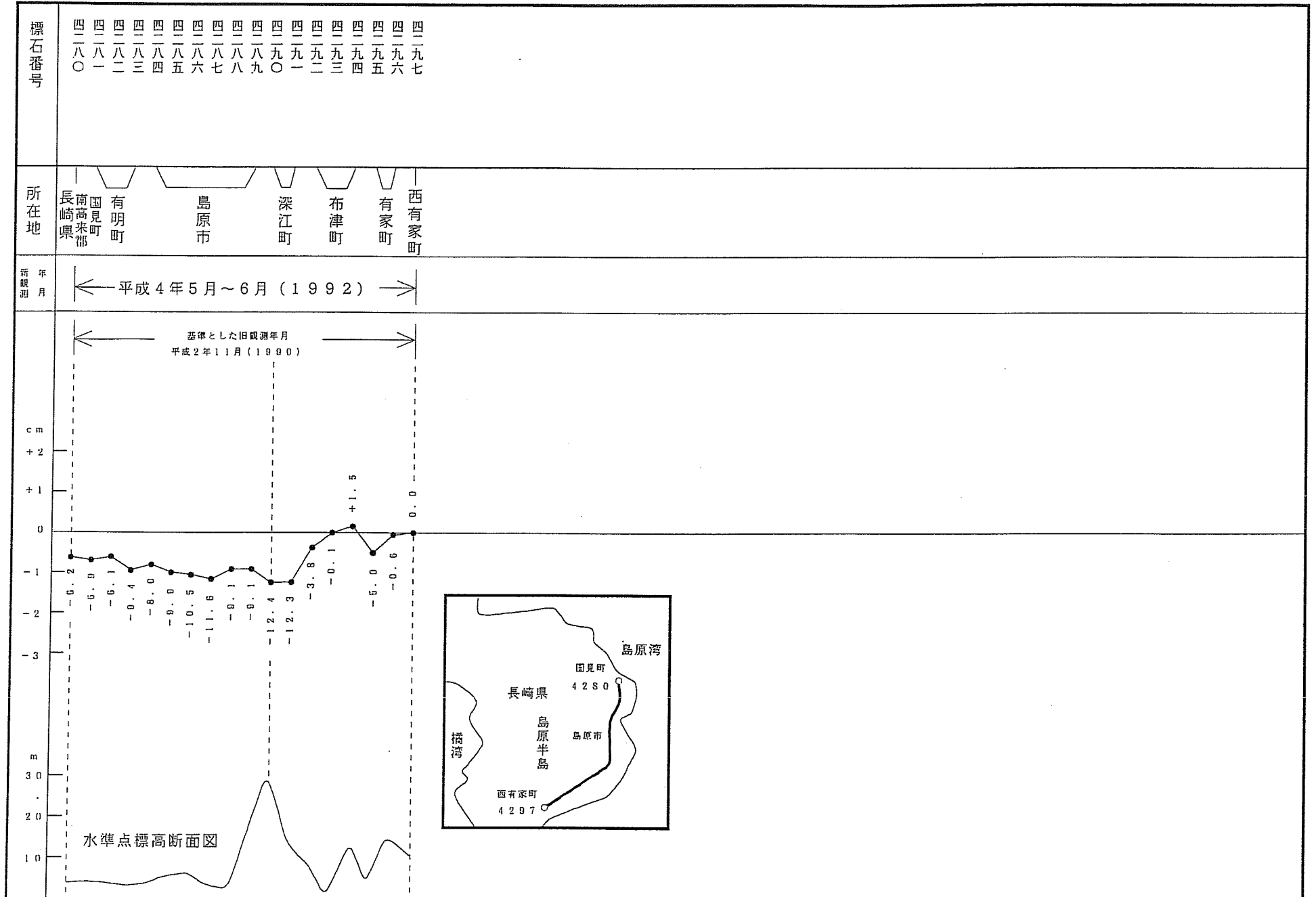




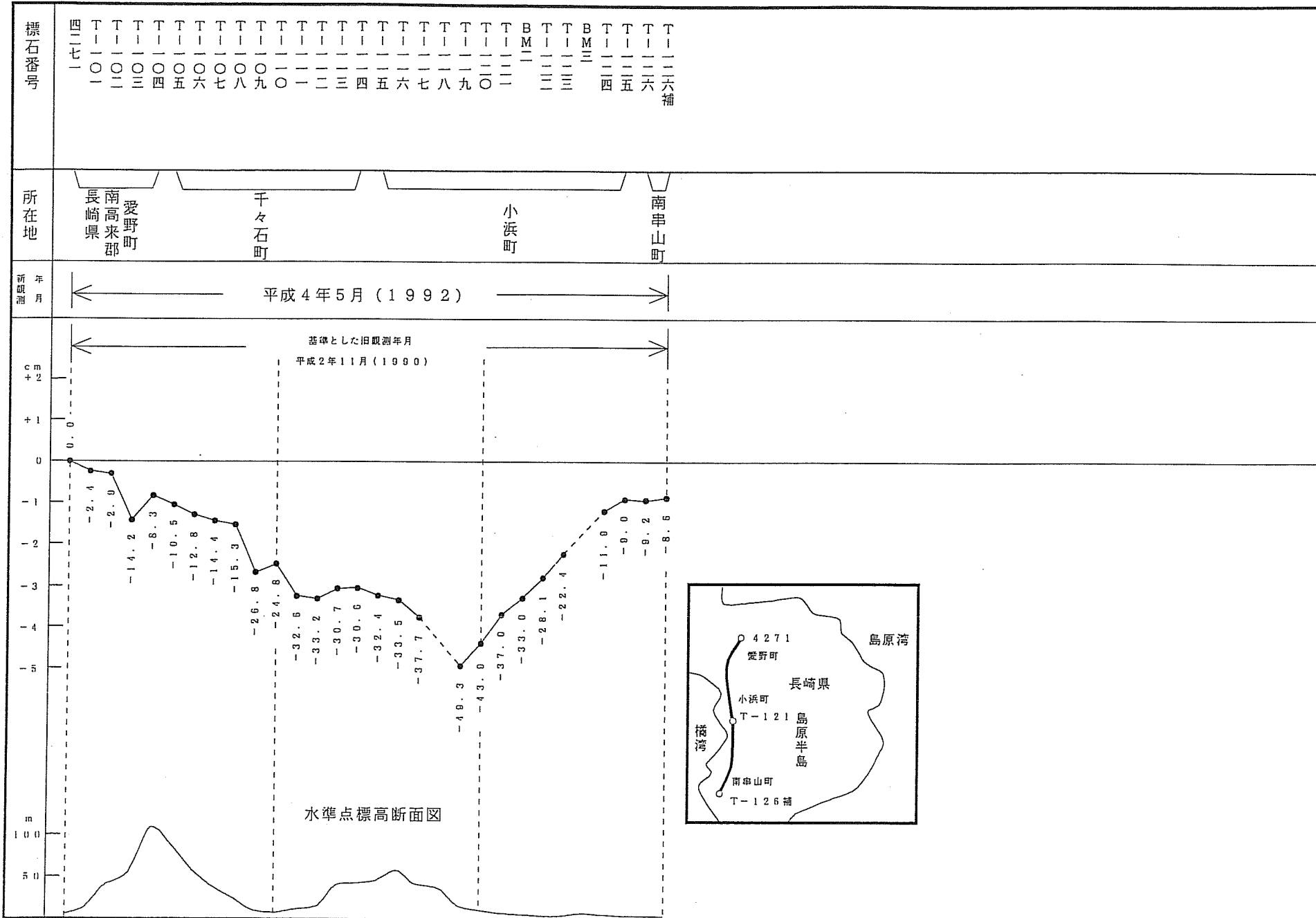
標石番号	三三三二一 二二〇〇八 二二〇〇七 二二〇〇六 二二〇〇五 二二〇〇四 二二〇〇三 二二〇〇二 二二〇〇一 二一九九九 二一九九八 二一九九七 二一九九六 二一九九五 二一九九四 二一九九三 二七八四二 二一九九一 三三五〇	所在地	佐賀県杵島郡有明町 白石町 福富町 小城郡芦刈町 久保田町 佐賀市 佐賀郡東与賀町 川副町 諸富町 小城郡芦刈町 佐賀郡久保田町
------	--	-----	--



4-28-I 自 長崎県南高来郡国見町 至 長崎県南高来郡西有家町



4-28-II 自 長崎県南高来郡愛野町 至 南高来郡南串山町



4 - 2 9 自 沖縄県国頭郡大宜味村 至 国頭郡国頭村

標石番号 九六九七 九六九七 九六九七 九七〇四 九七〇四 九七〇五 九七〇五 九七〇六 九七〇六 九七〇七 九七〇七 九七〇八 九七〇八 九七〇九	
所在地 沖縄県 国頭郡 大宜味村 国頭郡 国頭村	
新設 年月 平成4年6月(1992)	
水準点標高断面図 cm +2 +1 0 -1 -2 -3 -4 -5 -6 m 10 5	基準とした旧観測年月 昭和54年5月~6月(1979)

